

長久手市行政評価票

事業番号	1	事業の名称	市表彰条例による表彰事業	担当部署	部	課
					市長公室	政策秘書課

事業の目的・概要	長久手市表彰条例に基づいて、長年市政の振興に寄与した、又は市民の模範と認められる善行があった市民・団体の表彰を行います。 事業所管の長等及び自治会連合会長・区長から、表彰条例に基づく表彰対象者の推薦を受け、表彰審査委員会にて審議・決定した被表彰者に対して、表彰状と記念品の贈呈を行います。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	(平成25年度実績) 瀬戸市…公益功労者6人、市政功労者5人表彰 尾張旭市…一般表彰15人 豊明市…一般表彰6人 日進市…特別市政功労表彰4人、一般表彰20人、2団体 東郷町…6人。1団体
----------	---	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市政の振興に寄与又は市民の模範と認められる善行があった市民・団体				うち	一般財源	221	55	221	73	221													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	活動に対して敬意を表すとともに、長年の活動をねぎらう。					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
						その他	0	0	0	0	0													
						受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明						
		4月~	7月~	10月~	1月~																	
① 市表彰条例による表彰事業	市政の振興に寄与又は市民の模範と認められる善行があった市民・団体に	<table border="1"> <tr> <td>4月~</td><td>7月~</td><td>10月~</td><td>1月~</td> </tr> <tr> <td>推薦</td><td>審査</td><td>表彰</td><td></td> </tr> </table>	4月~	7月~	10月~	1月~	推薦	審査	表彰		各課等や自治会連合会長・区長からの推薦を受け、表彰審査委員会にて審議・決定した被表彰者を表彰することによって	活動に対して敬意を表すとともに、長年の活動をねぎらう	個人3人 団体1団体	受彰を承諾した表彰候補者の割合	100.0 80.0 100.0	%	表彰されることで個人・団体の励みとなる とともに、活動自体への関心や理解が深まるため、対象者には受彰を承諾してもらうことが望ましい。	221 221 221	55 73	委員報酬 37千円 賞状筆耕 9千円 記念品 27千円	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
4月~	7月~	10月~	1月~																			
推薦	審査	表彰																				
②																						
③																						
④																						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	2	事業の名称	政策調整業務	担当部署	部	課
					市長公室	政策秘書課

事業の目的・概要	<p>市政運営の基本方針である第5次総合計画及び市長の施政方針である「新しいまちづくり行程表」に基づく市政運営を推進します。                  第5次総合計画については、その事業計画である実施計画(3カ年)を作成し、また、毎年度見直しを行うことで、計画的な市政運営を行います。                  また、「新しいまちづくり行程表」については、掲載された事業の半期ごとの進捗を確認することで、計画的な市政の推進を行います。</p>	<p>他市町の実施状況                  (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)</p>	<p>近隣市町においても、実施計画を策定。</p>
----------	---	--	---------------------------

事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の行政運営										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施政方針に基づいた計画的な市政運営を進める										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
					うち	一般財源	0	0	0	0	0
						国費・県費	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0
						受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H24実績	単位		H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~			H25実績	目標値		H25予算	H25決算		成果				
① 実施計画策定事業	実施計画事業担当課に	<table border="1"> <tr> <td>事業査定</td> <td>公表</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業査定	公表			<p>毎年実施計画の見直しを行い、実施計画事業の進捗管理を行うこと</p>	<p>施政方針に基づいた計画的な行政運営を進める</p>	<p>実施計画掲載事業33事業</p>	<p>計画通りに進化した事業の割合</p>	85.7	%	<p>事業計画通りに事業が進捗することが、施策推進に望ましいため。</p>	0	0		A	<p>維持</p> <p>維持</p> <p>現行どおり実施していく。</p>
事業査定	公表																	
② 新しいまちづくり行程表進行管理事業	取組実施担当課に	<table border="1"> <tr> <td>進捗確認</td> <td>公表</td> <td>進捗確認</td> <td>公表</td> </tr> </table>	進捗確認	公表	進捗確認	公表	<p>半期ごとに各取組の進捗管理を行うこと</p>	<p>施政方針に基づいた計画的な行政運営を進める</p>	<p>新しいまちづくり行程表掲載事業数66事業</p>	<p>年次計画通り取組が開始された事業割合</p>	104.9	%	<p>全ての事業が実施されることが、施策推進に重要であるため。</p>	0	0		A	<p>維持</p> <p>維持</p> <p>現行どおり実施していく。</p>
進捗確認	公表	進捗確認	公表															
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	3	事業の名称	公共交通利用促進事業	担当部署	部	課
					行政経営部	経営管理課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市地域公共交通総合連携計画の目標「みんなで支える 人と環境にやさしい公共交通」を具現化するため、公共交通の利用促進により、過度に車に依存しないエコモビの推進を図る。 (概要) 長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、愛知県とリノモ沿線市との共同で沿線の施設とリノモを使ったイベントを実施したり、リノモウォーキングを実施することで交通手段としてのリノモをPRする。さらに市民目線による公共交通に関するかわら版(タイトル、市民協力者(執筆者)を公募)を発行することで親しみのある公共交通への醸成を図る。また、住民団体の地域づくり活動への支援をすることで、リノモ沿線の活性化を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る市もある。また、民間路線の廃止に伴い、金銭補助や移動手段確保のためにコミュニティバスを導入・拡充している自治体もある。																																				
	事業期間	事業開始年度	平成18年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)																																		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民			総事業費	<table border="1"> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,359</td> <td>2,179</td> <td>5,714</td> <td>5,591</td> <td>4,852</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>						一般財源	2,359	2,179	5,714	5,591	4,852	国費・県費	0	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	受益者負担額	0	0	0	0	0	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
一般財源	2,359	2,179	5,714		5,591	4,852																																			
国費・県費	0	0	0	0	0																																				
地方債	0	0	0	0	0																																				
その他	0	0	0	0	0																																				
受益者負担額	0	0	0	0	0																																				
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	移動手段を車から公共交通に、普段公共交通を利用しない人が乗るような利便性の高い公共交通体系の展開。																																								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H25目標値		H26目標値					H25目標値		H26目標値		H25目標値		H26目標値				
① 地域公共交通会議 運営事業	市内外の住 民に	●	●	●	●●	住民満足度の高い市 内公共交通機関の ネットワークを構築す る。	会議を5回 開催し、N ーバス運行 経費補助申 請手続やか わら版を発 行	公共交通利用者 数	リノモ:19,060人 Nーバス:563人 名鉄バス:2,222人 リノモ:19,800人/日 Nーバス:601人/日 名鉄バス:2,111人/日 リノモ:18,150人 Nーバス:495人 名鉄バス:2,464人	人	地域公共交通総合 連携計画で目標と して定められた数値 (H25年度にH20年 度比10%UP)	1,734	1,554	5,089	4,966	4,227	会議運営費4,725千 円、委員報酬241千 円	A 維持 削減	現行どおり実施していく。また、平成26年度は長 久手市第2地域公共交通総合連携計画を策定 し、新たな取組みとして、公共交通シンポジウムの 開催を予定しており、その事業費を予算計上して います。今後も本市の公共交通を維持・確保して いくためにも事業を継続する。
② リノモ夏休みイベント 開催事業	市内外の住 民に	→	→	→	→	イベントに参加しても らい、その後もリノモ を使用して沿線施設 を利用してもらう。	27回開催 延参加者数 2,359人	7~8月リノモ利 用者数	千人	リノモ利用者数前年 同時期実績(7~8 月)から6%の増加 (過去3年間の毎年 の伸びが約6%)	500	500	500	500	500	負担金500千円 (愛知県、名古屋市、 瀬戸市、豊田市、日 進市で構成する東部 丘陵線連絡協議会 全体事業費6,700千 円)	B 拡充 維持	目標値には達していないが、前年より期 間中のリノモの利用者が増加している。 今後も参加者アンケートなどを参考に、 内容改善を図ったり、体験型のイベント を増やすなど、参加者により満足してい ただけるイベントを目指し、継続して事 業を実施する。	
③ リノモウォーキング開 催事業	市内外の住 民に	→	→	→	→	魅力あるリノモ沿線 施設をPRし、交通手 段としてのリノモを知 り、利用してもらう。	13回開催 延参加者数 16,100人	ウォーキング参 加者数(1回あた り)	人	前年度実績を目標と した。	1,369	—	1,238	—	1,369	—	—	B 維持 維持	前年に比べ、参加者が減少している。 そのため、リノモ沿線で開催されるイベ ントと協力したり、他事業でのウォーキ ングイベントと開催が重ならないよう日 程調整など、事業費をかけない方法で 改善を行う。
④ リノモ沿線地域づくり 活動促進事業	市内外の住 民に	→	→	→	→	リノモを積極的に活 用した沿線の地域づ くりに取り組むことで、 沿線の活性化を図 る。	4件の事業 を支援	リノモ年間利用 者数	千人	リノモ利用者数前年度 実績から5%の増加 (過去3年間の毎年 の伸びが約5%)	6,959	125	125	125	125	125	負担金125千円(愛 知県、瀬戸市、豊田 市、日進市で構成す るリノモ沿線地域づ くり調査研究会 全体 事業費2,000千円)	B 拡充 維持	支援事業の応募団体が固定化しつつあ ったため、平成25年度は新事業を検討し、リ ノモ利用者の多くを占める大学生に着目し、 沿線大学の、リノモを対象とした活動グル ープを支援することとした。直接の効果は見え ないが、活動内容の周知やイベント等の実 施しており、年間のリノモ利用者は前年 より増加している。

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	③	リノモウォーキング開 催事業		ウォーキングの利用者を増やすため、立ち寄りスポットの新規開拓を行う。
④	リノモ沿線地域づくり 活動促進事業	活動促進事業の応募条件として、継続支援は行わないこととし、新たな活動団体への支援を目指す。	公共交通シンポジウ ムの開催	本市の公共交通の新たな活動として、市民の公共交通に対する意識の醸成、公共交通の情報発信の場として、公共交通に関するシンポジウムを開催する。

長久手市行政評価票

事業番号	4	事業の名称	職員の人材育成に関する事務事業	担当部署	部	課
					行政経営部	人事課

事業の概要	・職員研修計画等に基づき研修を実施し、人材の育成を図る。 ・人事評価制度の本格導入に向けて、統一的な評価ができるよう評価者研修等を実施するとともに、人事評価の運用を通して人材の育成につなげていく。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・係長級までの階層別研修については、尾張東部職員研修協議会で協力して実施。 ・その他の研修については、ほぼ同様の研修を実施している。 ・人事評価については、尾東地区の市町においても実施している。							
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市職員				総事業費	うち	一般財源	4,125	3,222	5,650	5,042	5,413	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前例を踏襲し、ただ仕事をこなしていくのではなく、現場に出向き自らの目で見て、考え、市民と協働して仕事を する人材の育成					国費・県費							
						地方債							
						その他							
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算			
① 職員研修	市職員						人事課主催7回、尾東研 主催6回、県 研修セン ター全20科 目、その他 団体主催9 団体	アンケートで研 修効果ありと回 答した割合	91	57	%	受講者の7割が効果 を感じることに。	3,225	2,370	研修旅費2,616 研修負担金1,263 研修委託料82	A	人材育成として研修は必要であるた め、引き続き実施していくこととする。公 募している研修については、満足度が 高かったが、人事評価の研修など公募 以外の研修を実施した場合の満足度が 低いため、研修の目的等をしっかりと して周知していきたい。
② 人事評価制度支援 業務委託	市職員						人事評価実 施、評価者 研修2回、被 評価者研修 5回	アンケートで人 事評価必要性あ り回答した割合	-	12	%	受講者の半数が必要 性を感じることに。	900	852	委託料998	B	制度として形はできたので、今後は職 員により改善しながら制度を浸透させ ていくこととし、委託は行わない。
③																	
④																	

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
	② 人事評価制度			委託をやめ、職員による周知・啓発を図る。	

長久手市行政評価票

事業番号	5	事業の名称	職員の福利厚生に関する事務事業	担当部署	部	課
					行政経営部	人事課

事業の概要	・健康診断等を実施し、職員の健康保持を図る。 ・職員互助会へ補助をすることで福利厚生事業を実施し、職員の公務能率の維持促進、元気回復等を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	本市以外の団体においても、職員に対する福利厚生事業は、実施されている。							
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市職員、職員互助会			うち		一般財源	9,758	8,931	9,321	9,251	10,214	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	職員の健康保持、公務能率の維持促進、元気回復等を図る。			国費・県費								
				地方債								
				その他								
				受益者負担額	5	5	5	5	5	5		

事業を構成する事務事業	対象 (だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
					H25実績				H25予算	H25決算				
① 職員健康診断	市職員	4月~7月~10月~1月~	健康保持を図る	人間ドック受診者数245人 健康診断受診者数315人	20	%	前年度実績(平成24年度)から10%増	7,751	6,920	健康診断3,382 人間ドック3,794	A	現行どおり実施していく。 H26年度も市役所を会場として共済組合から職員を派遣してもらい、特定指導健診を実施するとともに、用精密検査対象者の医療機関の再受診を指導していく。		
② 職員互助会への補助	職員互助会	職員互助会に対して補助金を交付し、市職員への福利厚生事業を実施することで	公務能率の維持促進、元気回復等を図る	補助額 2,054,400円	1,518	人	前年度実績(平成24年度)から5%増	2,007	2,011	428人×400円×12月=2054千円	A	現行どおり実施していく。 割引事業の有効活用を啓発しながら、職員アンケートも利用し、職員の福利厚生を増進していく。		
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	6	事業の名称	広報事業	担当部署	部	課
					行政経営部	情報課

事業の概要	市民に行政情報を提供するため、広報紙を毎月1回発行し、全戸配布している。また、市ホームページにより、リアルタイムの情報提供を行っている。また、市の取組に興味を持ってもらうため、ひまわりネットワークのケーブルテレビで、30分の情報番組(1日4回以上、月曜日に内容更新)及び特別番組(30分、年2回)を作成、放映することで、市の事業に対して市民の興味を喚起する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全ての行政機関で実施している								
	事業期間	事業開始年度	-		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民			総事業費	うち	一般財源	44,649	44,887	47,830	47,136	54,353	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	長久手市について深く知ってもらおう					国費・県費							
						地方債							
						その他							
				受益者負担額									

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~												
① 広報紙発行	市民	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	毎月1回、広報紙を全戸配布することで *新たな市民記者制度も始める	12回発行	広報紙の内容に関する不満足度を目標値以下とする(市政・広報e-モニターへのアンケート調査)	—	1.5	%	市政情報の提供について市ホームページとの連携も図り、モニターへの総括的なアンケートにより把握する	21,549	21,787	印刷製本費 14,406 配布委託料 6,582	A 維持 増加	行政からの情報をすべての市民に知らせるために必要であり、確実に全戸に配布される紙媒体であり、手段として最適なものであるため。成果については目標値を大きく上回る結果であり、引き続き多くの市民に読まれるような広報作成に努めていく。
② 市ホームページ運用 *ホームページ リニューアル (年末まで)	インターネット 接続可能な 市内外の住 民					今年度は、約5年ぶりにリニューアルし、魅力あるホームページとすることで、市民に対しては自分の必要な行政情報をいつでも取得できる状態に、市外の方に対しては当市に興味を持ってもらう状態にする。	随時	ホームページへの不満足度(見やすさ・検索性)を目標値以下にする(市政・広報e-モニターへのアンケート調査)	—	2.3	%	必要な情報に直感的にたどり着くよう工夫し、不満足度を減らしていく。モニターへの総括的なアンケートにより把握する	2,835	3,048	管理委託 3,048	A 維持 維持	ホームページの内容が多くなり、知りたい情報にたどり着くまで手間がかかることがある。内容の整理が必要である。今年度は12月よりリニューアルを行ったが、情報にたどり着くまでの道筋を複数用意し、検索性をより向上させる必要性がある。
③ 市政情報番組制作	ひまわりネットワークの ケーブルテレビ事業加入者					動画ならではの特性を活用し、市の催し等に興味を持ってもらう。 *市若手職員によるレポート等番組内容を刷新している。	1日9回、年末年始の2週間を除きおおよそ3,150回程度放映	視聴者へのアンケートによる視聴頻度	—	39.4	%	同じ内容を1週間で80回程度放映しており、一般的な「視聴率」は計上不可能であるため、アンケート調査を実施する	23,100	23,100	番組制作委託 23,100	B 拡充 増加	今年度より番組内容を刷新し、職員をレポーターとして起用したり、広報ナビゲーターである「クーテンガーナ」を取り入れた番組構成とし、親近感を向上させた。より多くの市民に視聴いただけるよう、番組の効果的な周知方法の検討が必要である。
④											%						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② 市ホームページ運用			・検索性向上のための複数ルートでのつながりの確保 ・スライドショー部を頻繁に更新し、いつでも新鮮な情報に接することができるというイメージをもたせる	
③ 市政情報番組制作		現在番組を視聴できるのはCATV契約世帯に限られているため、番組内主要コンテンツをストリーミング配信し、インターネット環境があれば視聴できるようにし、より多くの市民に視聴いただけるようにする。			



長久手市行政評価票

事業番号	8	事業の名称	常時・選挙時選挙啓発活動	担当部署	部	課
					総務部	行政課

事業の概要	各種選挙での投票率の向上を図ることを目的に、長久手市選挙管理委員会・明るい選挙推進協議会合同会議にて通常時及び選挙時の啓発活動について検討し、投票への意識を高め、投票率の向上を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全市町村が実施している。																																												
事業期間	事業開始年度	昭和59年度	終了(予定)年度	—																																											
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民																																														
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	選挙に対する関心を高め、投票行動につなげる。																																														
<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総事業費</td> <td>総事業費 (単位:千円)</td> <td>H24予算</td> <td>H24決算</td> <td>H25予算</td> <td>H25決算</td> <td>H26予算</td> </tr> <tr> <td>うち</td> <td>222</td> <td>162</td> <td>222</td> <td>118</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>70</td> <td>24</td> <td>70</td> <td>18</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>152</td> <td>138</td> <td>152</td> <td>100</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	うち	222	162	222	118	139	一般財源	70	24	70	18	36	国費・県費	152	138	152	100	103	地方債						その他						受益者負担額					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算																																								
	うち	222	162	222		118	139																																								
	一般財源	70	24	70		18	36																																								
	国費・県費	152	138	152		100	103																																								
	地方債																																														
その他																																															
受益者負担額																																															
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">評価の見方</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>					評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討																															
評価の見方																																															
A	現行どおり実施																																														
B	事業の改善																																														
C	他事業と統合																																														
D	運営主体の見直し																																														
E	事業の廃止の検討																																														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 期日前投票期間中の街頭広報啓発活動	市内の住民	●					(呼びかけ)6日間(1日当たり2時間)実施(配布)5箇所実施	当該選挙への投票行動投票率	参議院55.43 参議院59.66	%	同種選挙過去2回の平均投票率	152 103	100	消耗品100	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
② 明るい選挙啓発ポスター募集	市内の小中学生	●					小学生37人 中学生15人の参加	啓発ポスター募集への参加者	30 52 90	人	各小中学校10人ずつの参加	70 70 36	24 18	消耗品18	B 拡充 維持	参加者を増加させ、目標値が達成できるような周知方法を実施する。
③ 選挙出前トーク	市内の小学校6年生	←→					西小学校6年生76人に対し実施	参加校数	1 1	校	新規事業であり、まずは実施	0 0	0		A 拡充 維持	現行どおり実施していく。 参加校数が増加するよう教育委員会に働きかけていく。
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	9	事業の名称	検査管理事業	担当部署	部	課
					総務部	行政課

事業の概要	検査員の登録制を導入し、統一的な検査を実施することを目的とする。 建設工事の検査に関する事務について、検査員の登録制を導入し、検査員の選定を行い、検査を実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	検査課における検査及び成績評定実施 瀬戸市 500万円以上 尾張旭市 300万円以上 豊明市 250万円以上 日進市 130万円以上																		
	事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	設計価格250万円以上の建設工事(建築関連除く)				総事業費	うち	一般財源	0	0	0	0	0												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	工事目的物が契約書に基づき、適正に執行されているかを検査するとともに、品質の高いものを確保する。					国費・県費	0	0	0	0	0	0												
						地方債	0	0	0	0	0													
受益者負担額					その他	0	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算		H25決算		事業規模 事業費	
① 検査管理事業	設計価格250万円以上の建設工事(建築関連除く)に					適正に執行されているかを検査し、品質の高いものを確保する。	完了検査26件	工事成績評定の平均点	80.7	81.4	点	前年度実績(平成24年度)からの上昇	0	0	0	0	事業費なし	A	現行どおり実施していく。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)		H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	10	事業の名称	共用車・バス・安全運転管理	担当部署	部	課
					総務部	財政課

事業の概要	法令に基づく車検及び法定点検を実施して不具合箇所の早期修繕を行うことで、車両のコンディションを常時良好に保つ。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	事業所で車を管理する必要がある国・県・民間で必ず実施されている事業である。							
	事業期間	事業開始年度	昭和57年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	公用車、市公用バス			総事業費	うち	一般財源	3,935	2,741	3,492	3,545	4,514	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	車両のコンディションを良好に保つ。					国費・県費	0	0	0	0	0	
						地方債	0	0	0	0	0	
						その他	0	0	0	0	0	
				受益者負担額	0	0	0	0	0			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算			
① 共用車の安全運転管理	財政課が管理する共用車	→	→	→	→	→	→	11	11	回	前年実績等を基にした見込数値	3,935	2,741	17号車事故修繕196、15号車シートベルト修繕52、11号車リヤバンパー修繕48、法定点検等手数料1,730、重量税191、消耗品費861	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。	
② 市公用バスの安全運転管理	財政課が管理するバス	→	→	→	→	→	→	0	0	回	前年実績等を基にした見込数値	上記に含む	上記に含む	上記内訳に含む。	A	現行どおり実施していく。不具合箇所等については早期対応によって、修繕料の削減に努める。	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要



長久手市行政評価票

事業番号	12	事業の名称	長久手市サービスコーナー事業	担当部署	部	課
					総務部	市民課

事業の概要	市民課の出先機関としてアピタ長久手店2階に長久手市サービスコーナー(Nピア)を設置。住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本等の交付、市発行の書籍等の販売及び文化の家チケット等の販売を行っている。年末年始及びアピタ休業日を除き、市役所閉庁日を含め午前10時から午後7時まで営業しており、開庁時間に来庁出来ない市民等も利用することができる。また、市の行事のパンフレット配布など情報の提供も行っている。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:住民票、印鑑登録証明書の交付(宿直室:土日、祝日9時~17時) 東郷町:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付(住民課窓口:第2・4土曜日9時~正午) 瀬戸市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付(パルティセと市民サービスセンター:毎日8時30分~17時15分 菱野団地市民サービスセンター:水~日8時30分~17時15分) 豊田市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税(駅西口サービスセンター:毎日10時~19時) みよし市:住民票・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本の交付及び税関係証明書・納税(市民情報サービスセンター「サンネット」:月曜日除く10時~19時)						総事業費(単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度		-	9,329	8,707	9,232	8,948	9,700							
事業の対象(だれ、何に対して)	市内外の市民等				総事業費のうち	一般財源	9,329	8,707	9,232	8,948	9,700							
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	仕事、所用等で開庁時間に来庁できない市民等の利便性を図る。					国費・県費												
						地方債												
受益者負担額					その他													
						受益者負担額	2,647	3,079	2,857	3,697	3,078							

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績			H25実績	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明	
					4月~7月			10月~1月		H25目標値	H25予算		H25決算		事業規模
① 各種証明書の交付及び書籍チケット等の販売業務	市内外の市民等	閉庁日や夜間に各種証明書等の交付や、市発行の書籍等の販売、文化の家チケット等の販売も行うことで	仕事、所用等で開庁時間に来庁できない市民等の利便性を図る。	各種証明書発行18,872件 書籍、チケット等販売463件	各種証明書の発行件数及び書籍、チケット等の販売件数	15,550 19,335 17,500	件	人口が伸びていることと10月に長湫南部の地番変更が実施されることにより申請件数の増加が見込まれる。前年度実績×平均伸率12.4%(過去5年間)	9,329 9,232 9,700	8,707 8,948	報酬3,595、賃金2,800、需用費187、役務費41、委託料43、使用料及び貸借料2,072、備品購入費210	A 維持 維持	年末年始及びアピタ休業日を除きほぼ毎日営業しており、閉庁日にも住民票・印鑑登録証明書・戸籍等抄本等を交付できることから好評を得ている。		
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	13	事業の名称	長久手市コミュニティ活動事業費補助金	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	自治会連合会・区(会)が主体となって、地域の課題を自ら解決するための事業費を補助する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	南木曾町 区長設置要綱、区運営交付金要綱 宮城県富谷町 行政区長に関する規則(非常勤職員)、地域振興費補助金 日進市 市民参加及び市民自治活動条例、自治基本条例(第16条)、区長設置条例、市民自治活動推進補助金								
	事業期間	事業開始年度	平成24年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	地縁組織(自治会連合会・区)			総事業費	うち	一般財源		7,000	6,999	7,045	7,026	7,049	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市の施策を補える自立的なコミュニティの形成を目指し、地縁組織への関心を高めて自治会加入率を向上させる。				国費・県費								
				地方債									
				その他									
				受益者負担額									

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)				評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
														H26予算			事業規模 事業費			
① 長久手市コミュニティ活動事業費補助金	地縁組織(自治会連合会・区)に					市の施策を補える自立的なコミュニティの形成を目指し、地縁組織への関心を高めて自治会加入率の向上をさせる。	補助金額 7,026千円	自治会加入率	58.99		前年実績+5% (加入世帯数そのものが増加傾向にあるため)	7,000	6,999			長小(防災訓練)、西小・北小(防犯講演会、夏祭り)、南小(防犯カメラ設置、防災講習会)、市が洞(防犯カメラ設置、夏祭り)、岩作(あんどん展示場修繕)、前熊(太鼓修繕)、大草(祭り備品購入)、北熊(祭り衣装クリーニング等)	B	市民の地域活動への参加意識を生み出し自治会加入率の向上を図るには、補助制度の効果が具体的に住民にわかるようにする必要がある。具体的には、補助金の使途が地域の課題解決に直結している内容かどうかの明確化や実施された事業を評価して次年度につなげていく仕組みづくりを進める。		
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 長久手市コミュニティ活動事業費補助金	現行の補助金交付要綱では、対象とならない経費が列記されているのみであり、フレキシブルな補助金の活用ができる反面、地域の課題解決に直結している使途なのか判断することが難しいため、申請の段階で補助対象事業の明確化ができるように交付要綱を一部改正する。			

長久手市行政評価票

事業番号	14	事業の名称	協働まちづくり事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	長久手市地域協働計画の基本理念は「みんなが進める共助と自治のまちづくり」であり、市民自らが「まちづくりの主役」であることを認識して、様々な人との関わり合いの中で、学びあい、育ち合う取り組みを進め、市民主体のまちづくりの実践活動が活性化することを目的とする。また、まちづくり活動・交流拠点施設としてのまちづくりセンターの機能の充実、強化により、市民活動がしやすい環境を整えて、市民活動の活性化を図るとともに、新たに活動を始めようとする人にも活動がスムーズに行えるよう様々なサポートを行うことを目的とする。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市：市民参加及び市民自治活動条例(公募提案型協働事業) 豊明市：協働推進委員会(市民提案型まちづくり事業) 東郷町：町民活動団体まちづくり協働事業(NPO公募提案型事業)																																																			
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—																																																		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民活動に関心のある、また現在市民活動を行っている市民																																																					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	広く市民に活動に参加する動機づけを行い実践活動に結び付ける。すでに活動に取り組んでいる市民には、さらなる意欲を持ち、協働の意識を持った活動ができる状態としたい。																																																					
<table border="1"> <tr> <th rowspan="5">総事業費</th> <th colspan="6">総事業費(単位:千円)</th> <th rowspan="5">評価の見方</th> </tr> <tr> <td></td> <th>H24予算</th> <th>H24決算</th> <th>H25予算</th> <th>H25決算</th> <th>H26予算</th> <td rowspan="5"> <b>A</b> 現行どおり実施  <b>B</b> 事業の改善  <b>C</b> 他事業と統合  <b>D</b> 運営主体の見直し  <b>E</b> 事業の廃止の検討                 </td> </tr> <tr> <td>うち</td> <td>一般財源</td> <td>1,000</td> <td>904</td> <td>1,100</td> <td>930</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>国費・県費</td> <td></td> <td>904</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					総事業費	総事業費(単位:千円)						評価の見方		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討	うち	一般財源	1,000	904	1,100	930	1,100		国費・県費		904					地方債							その他							受益者負担額					
総事業費	総事業費(単位:千円)						評価の見方																																															
		H24予算	H24決算	H25予算		H25決算		H26予算	<b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討																																													
	うち	一般財源	1,000	904		1,100		930		1,100																																												
		国費・県費		904																																																		
		地方債																																																				
	その他																																																					
	受益者負担額																																																					

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		7月~	10月~	1月~												
① 協働まちづくり事業 活動助成金	市民活動を実施する団体に	●	→			応募15団体 採択14団体	応募数	13団体 15団体 15団体	団体	前年度実績+2団体	1,000 1,100 1,100	904 930	はじめの一步助成 :169千円 元気な地域づくり助成 :751千円 (新設)まちづくり人材育成助成 :10千円	B 拡充 増加	地域課題解決に向けた市民団体の取組が活性化し、助成申請団体が増加している。今後、多様な市民活動団体同士の連携による事業実施を促す。また、行政との協働をさらに進めるため必要な制度の見直しを行う。	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 協働まちづくり事業 活動助成金	市民活動団体同士の連携を促進するための「市民団体交流会」の実施		行政提案型協働事業

長久手市行政評価票

事業番号	15	事業の名称	男女共同参画推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	(目的) 男女共同参画基本計画2017(DV防止基本計画を含む)に基づき、長久手市内の男女共同参画の推進を図る。 (概要) 男女共同参画の視点に立った取組を実施し、市内の環境整備を図る。情報紙作成、PR事業等を実施し、市民(企業)・市役所双方で、男女共同参画社会の実現を目指す。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 第2次男女共同参画基本計画*DV基本計画含む(H24~28) 尾張旭市 男女共同参画プラン(H17~26) 豊明市 第2次男女共同参画プラン(H19~26) 日進市 第2次男女平等推進プラン(H23~32) 東郷町 男女共同参画プラン(H20~29)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
	評価の見方																						
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算												
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民・市内の企業等団体及び市役所内			うち		一般財源	91	79	448	209	191												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	男性と女性が性別にとらわれず能力を発揮し、互いを尊重しつつ責任をわかちあうまちづくりを進める。					国費・県費																	
						地方債																	
						その他																	
						受益者負担額																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 男女共同参画講演会	市民に					男女共同参画に関する理解を深めるために身近な話題の講演会を実施することで	参加者数 84人(大人49人、子ども35人)	参加者数	-	84	人	前回実績+5%増	-	-	299	55	講師報償金 44千円	D	講演会には30代主婦の参加者が多く、満足度も高い。講演後の交流会でも活発な意見交換が行われた。現在、市が運営を担っているため、市民が主体となった運営に移行することを目指す。
② 男女共同参画情報紙発行事業	市民に					一般向けと中学生向けの男女共同参画情報紙を発行することで	一般向け3,000部及び中学生向け2,000部発行	男女共同参画情報紙発行部数	4,000	5,000	部	・一般向け「コモン」3,000部 ・中学生向け「自分らしく」2,000部	91	79	133	118	印刷製本費 108千円	D	中学生向けの情報紙を増刷し、市内全中学生に配布することで、多くの子ども達や教職員に対し、男女共同参画への理解を深めるきっかけとなった。現在、市が企画・編集を担っているため、市民が主体となって企画・編集できるように移行することを目指す。
③ 男女共同参画標語・川柳募集事業	市民(小学5年以上)に					男女共同参画に関する標語・川柳を募集することによって	小中学生の部58人 一般の部11人 計69人	応募人数	-	69	人	今年度から取り組む事業で、他課の俳句等募集の実績から目標を設定	-	-	16	36	参加記念品 36千円	A	小中学生及び一般合わせて、69人で計88点の応募があり、男女共同参画への理解・関心を深めるきっかけとなったため、今後も継続する。
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			男女共同参画出前講座	男女共同参画の啓発事業として、企業、地域団体、学校等を対象とした男女共同参画の意識啓発を目的とする出前講座を実施する。

長久手市行政評価票

事業番号	16	事業の名称	長久手市観光交流推進事業補助金	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	新たな観光交流のにぎわいを作るため、観光施設や事業者、各種団体、行政等が観光資源の紹介や宣伝、催事等に参加することで、観光交流人口の増加、市の活性化を目指す事業に補助する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	本市の観光交流推進会議の役割にあたる団体として他市において観光協会を設置している。しかし、その運営主体は多くの市町が行政指導で行っている。																																					
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	—																																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民及び来訪者																																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	本市を訪れる観光交流人口を増加させる。																																							
総事業費																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>総事業費 (単位:千円)</th> <th>H24予算</th> <th>H24決算</th> <th>H25予算</th> <th>H25決算</th> <th>H26予算</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>19,400</td> <td>18,560</td> <td>14,200</td> <td>14,165</td> <td>12,700</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>17,100</td> <td>16,601</td> <td>11,900</td> <td>11,970</td> <td>10,400</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,500</td> <td>1,315</td> <td>1,500</td> <td>1,505</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td>800</td> <td>645</td> <td>800</td> <td>690</td> <td>800</td> </tr> </table>					総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	一般財源	19,400	18,560	14,200	14,165	12,700	国費・県費	17,100	16,601	11,900	11,970	10,400	地方債						その他	1,500	1,315	1,500	1,505	1,500	受益者負担額	800	645	800	690	800
総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算																																			
一般財源	19,400	18,560	14,200	14,165	12,700																																			
国費・県費	17,100	16,601	11,900	11,970	10,400																																			
地方債																																								
その他	1,500	1,315	1,500	1,505	1,500																																			
受益者負担額	800	645	800	690	800																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>					評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討																								
評価の見方																																								
A	現行どおり実施																																							
B	事業の改善																																							
C	他事業と統合																																							
D	運営主体の見直し																																							
E	事業の廃止の検討																																							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
①	市内外の住 民	観光交流推進会議会員に、公 募の市民も加えた実行委員会 を立ち上げ、企画・広報・イルミ 協働の各部会で実施に向けた 検討を行うことで	→			実行委員会 4回開催、 各部会計 9回、 会長会議4 回開催	観光交流人口	355	358	350	万人	観光交流基本計画 (H19策定)に基づ き、前市政策指針目 標値からの継続目標	6,500	5,731	6,500	6,521	5,500	D	実行委員会には市民及び大学生も参 加し、協働という観点から向上がみられ たが、イベントへの参加者数は例年通り だった。今後市の事務局主導から民間 主導の実行委員会へ運営主体を見直 す。	
②	市内外の住 民	HP, Facebookの更新、マッ プ類の作成、雑誌掲載への協 力等を行うことで	→			まちあるき マップ隔月 発行、雑誌 「Kelly」掲載 など	観光交流人口	355	358	350	万人	観光交流基本計画 (H19策定)に基づ き、前市政策指針目 標値からの継続目標	4,500	4,429	3,500	3,444	3,500	A	まちあるきMAP等の発行、HPの活用及 び雑誌KELLY等への制作協力を行う 等、観光PRに努めた。今後会員へホー ムページ等への投稿を呼びかけ、内容 を充実する。	
③	市内外の住 民	観光PR隊「長久手歴史トラベ ラーズ」の活動に区切りをつけ る「長虎合戦祭」を開催すること で	→			6件の市内 外のイベン ト、また活動 の集大成と なる「長虎合 戦祭」を開 催	観光交流人口	355	358	350	万人	観光交流基本計画 (H19策定)に基づ き、前市政策指針目 標値からの継続目標	8,400	8,400	4,200	4,200	3,700	D	約2年継続してきた観光PR隊「長久手 歴史トラベラーズ」による観光PRは一定 の効果を得て事業を修了した。今後、 「長久手歴史トラベラーズ」に替わる新 たな観光PR事業を検討する必要がある。	
④																				

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①			
②				
③				
④				



長久手市行政評価票

事業番号	18	事業の名称	住民プロジェクト推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	地域の課題を地域で考え地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」をつくるために、市民や市職員を対象とした勉強会やワークショップを開催し、市民力及び職員力の向上を図ることを目的とする。 職員勉強会:対象職員25人、全5回開催 市民ワークショップ:各回市民35人・職員18人程度、全2回開催				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	広島県福山市:中心市街地賑わい創出活動支援事業(福山市若手職員F-Netによるワークショップ運営) 新潟県燕市:つばめ若者会議(燕市の次世代リーダー育成、若手市民の主体的まちづくり活動の推進)							
	事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度		平成26年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民及び市職員				うち	一般財源		-	-	4,898	4,348	5,229	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民ワークショップを通して、市民や市職員の地域づくりの当事者としての意識を高め、地域のことを地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」ができてくる。					国費・県費				4,898	4,348	5,229	
						地方債							
						その他							
						受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25実績	H25目標値				H25予算	H25決算
① 職員勉強会運営事業	市職員					職員勉強会5回実施	地域づくりへの参加意識	-	%	職員勉強会後に市民ワークショップへの参加の意向を確認						A	職員勉強会参加メンバーを中心にして市民ワークショップを継続して実施することにより、職員の地域づくりへの参加意欲を高める。平成26年度は実施しない。	
② 市民ワークショップ運営事業	市民及び市職員				●●	市民ワークショップ2回実施	地域づくりへの参加意識	72	%	事業実施後にアンケート等で参加意識調査実施。継続的な活動への参加意向を参加者のうち、8割程度が示すことを目指す。	継続中		4,898	4,348	住民プロジェクト推進事業業務委託 4,348千円		A	市民ワークショップを通して、地域づくりへの参加意識を高め、地域課題に対応できる人材の発掘及び育成を図る。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	② 市民ワークショップ運営事業	市民ワークショップの運営及び市民協働プロジェクトの立ち上げを参加メンバーが自主的・主体的に行えるように課題テーマに即したチームづくりを促す。			協働の新しい仕組みの検討

長久手市行政評価票

事業番号	19	事業の名称	地域共生ステーション事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	たつせがある課

事業の概要	地域住民・住民団体・事業者・市職員が気軽に集まり、語り、地域のための様々な取り組みを行うための拠点となる地域共生ステーションを小学校区ごとに整備します。 現在先行して、西小学校区で第1ステーションを整備し、ステーションのソフト事業として、地域の課題を市民自らが解決するためのきっかけとして、地域の市民が考えた地域独自プログラムを市民の手で実施していくことを目指します。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	【瀬戸市】 地域交流センター 運営主体:地域力推進協議会(指定管理者)								
	【高浜市】 ふれあいプラザ 運営主体:まちづくり協議会(指定管理者・管理委託)												
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象(だれ、何に対して)	市民					うち	一般財源	0	0	7,978	5,970		10,398
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	小学校区ごとに地域共生ステーションを整備し、地域組織による運営を通して、地域の課題を地域住民自らが考え地域で取り組むことができるようにする。						国費・県費	0	0	7,978	5,970		10,398
							地方債						
						その他							
						受益者負担額							

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 地域共生ステーションづくりワークショップ運営事業	市民	小学校区ごとの地域の状況に応じた地域共生ステーションづくりを主体的に進めることができるようになる。				西小校区部会8回実施 北小校区部会7回実施 その他校区3回実施	ワークショップ参加者数	305	人	西小校区7回:140人(開設前) 北小校区12回:240人 その他校区3回:60人	0	0	0	D	現在、市職員が主として担っているワークショップの運営を市民等で構成する運営団体に移行する。	
		地域共生ステーションについて考え、実践するワークショップを小学校区単位で実施することで					346			0	0		維持			
② 地域共生ステーション運営事業	市民	地域の課題を地域住民自らが発掘し解決に取り組む。				実施プログラム数9回	地域の課題解決のためのプログラム実施数	-	回	現在、地域で話し合っている地域テーマ(子育て・生きがい・ケア)で地域プログラムを実施予定(月2回実施×5か月)	7,978	5,970	0	A	地域住民が主体となって、地域課題を見出し、解決の糸口となる数々のプログラムが提案された。共生ステーションの3つのテーマである子育て、生きがい、ケアごとに部会も立ち上がったため、各部会が相互に連携したプログラムの実施を目指したい。	
		西小校区共生ステーションの運営を行うことで					10			10,398		(人件費)コーディネーター450千円 臨職996千円(管理費) 需用費965千円(施設賃借料)2,973千円	維持			
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 地域共生ステーションづくりワークショップ運営事業	各小学校区単位で、ワークショップの運営や地域の取組のコーディネートを行う「運営チーム」づくりを行う。			

長久手市行政評価票

事業番号	20	事業の名称	交通安全啓発事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	交通安全思想の普及・啓発のため、交通安全街頭活動やキャンペーンの実施、高齢者や自転車利用者ほか市民を対象とした交通安全教室の開催等により、市民の交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナー向上を推進し、交通事故防止を図る。 ・交通安全啓発活動事業 交通安全街頭啓発活動(延44日、うち交通安全県民運動期間20日)、交通安全教室、啓発キャンペーン等 ・幼児・児童・生徒に対する交通安全教育 交通安全教室(幼児、児童)、児童自転車交通安全教室、指導者研修会(市内の幼稚園・保育園の保護者対象。幼児交通安全指導者育成を目的開催)、黄帽子・ランドセルカバーの配布(新入学児童対象) ・交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。																	
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度		-	総事業費(単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業の対象(だれ、何に対して)	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)				総事業費	うち	一般財源	3,505	2,831	3,202	2,605	3,300											
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づける。					国費・県費																	
						地方債																	
						その他																	
					受益者負担額																		

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明	
										H25目標値	H25予算		H25決算		事業規模
① 交通安全啓発活動事業	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)に	交通安全街頭活動への参加、交通安全教室の開催、キャンペーンの実施することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	県民運動期間中の街頭活動延べ参加者3,514人、交通安全教室延べ参加者249人	人身事故発件数	404 414 392	前々年度実績(平成23年:430件)から前年実績(平成24年:404件)が6%減少しているが、400件とした目標が達成できなかったため、前年実績から3%の減少	3,505 3,202 3,300	2,831 2,605	啓発用消耗品代2,427、のぼり旗設置・撤去作業業務委託179	B 維持 削減	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要がある。			
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	長久手市民(在学者含む)に	交通安全教室や指導者研修会の開催、交通安全黄帽子等の配布することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全教室等延べ参加者1,356人、黄帽子等の配布計775組	人身事故発件数	404 414 392	前々年度実績(平成23年:430件)から前年実績(平成24年:404件)が6%減少しているが、400件とした目標が達成できなかったため、前年実績から3%の減少	※上記に含む ※上記に含む ※上記に含む	※上記に含む ※上記に含む	※上記事業費に含む	B 維持 維持	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要がある。			
③ 交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業	長久手市立小中学校生に	夏休みを利用し交通安全ポスターや標語など交通安全啓発グッズのデザインを募集し、受賞発表後に啓発グッズを作成することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全啓発グッズデザインコンクール応募者310作品	応募件数	498 310 523	児童生徒の交通安全意識の高揚を応募総数で測ることとし、前年度実績(延べ498作品)の5%の増加	※上記に含む ※上記に含む ※上記に含む	※上記に含む ※上記に含む	※上記事業費に含む	B 維持 維持	応募総数が減少していることから、応募総数を増加させ目標数が達成できるような事業改善を実施する。			
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 交通安全啓発活動事業	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、自転車利用の多い大学生に対し、大学の協力を得て交通ルール遵守、マナーアップの周知啓発を継続する。			
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、学校区単位で学校及び児童を取り巻く地域住民団体との連携を図る部会を立ち上げるなどし、地域性に応じた交通安全の普及促進に努める。				
③ 交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業	応募総数を増やすため、児童生徒の交通安全意識を高める必要がある。具体的には、小中学校での交通安全教室を増やすなどし、児童生徒が交通安全について考える機会を増やす。				

長久手市行政評価票

事業番号	21	事業の名称	巡回バス運行事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	「公共施設の利便性向上」「高齢者や子ども等交通弱者の社会参加促進」及び「市内の交通空白地帯の解消」「子育て支援」「通勤・通学の利便性の向上」を目的に、市所有の小型バス5台で、市内を7ルート、82便/日で運行する。 また、モバイル利用者の多い学生や一般利用者の利便性向上を図るため、携帯端末を利用したバスの運行状況の情報提供を行うバスロケーションシステムの導入を、運行委託者と進める。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成24年5月1日現在、県内において、54市町村のうち49市町村(約91%)でコミュニティバス(自主運行バス)が運行されている。								
	事業期間	事業開始年度	平成10年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民			総事業費	うち	一般財源	93,617	88,226	86,114	84,947	95,452		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の市内交通の利便性の向上					国費・県費							
						地方債							
						その他							
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~	7月~	10月~	1月~			H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H25目標値			H25予算	H25決算				
① N-バス運行事業	全市民に	 市民の市内交通の利便性の向上を図る。				利用者数 215,788人(うち 有料乗車人数 42,065人)、運 行日数359日 (平均乗車数 601人/日) 運行負担金 84,806千円	年間利用者数	202,117 215,788 210,000	人	平成23年度のバス路線再編後、平成24年度利用者数は前年比3.6%増加したため、平成25年度は4%増加を目標値とした。	93,617 86,114 95,452	88,226 84,947	運行業務負担金84,806、代車用マグネットシート70、乗継券印刷63	A 維持 維持	引き続き利便性向上に向けた取組を進めるとともに、N-バスの周知・PRにより、市民の足となるよう努める。	
② バスロケーションシステムの導入	全市民に	 市民の市内交通の利便性の向上を図る。				H26.3.1 ~ H26.3.31の間にN-バスの遅延に関する問合せ0件	N-バス遅延の問合せに対する、折り返し電話の件数。	- 0 0	件	バスロケーションシステムを導入することにより、正確な運行状況を利用者へ提供できるようになるため、問合せに対して即時回答ができるとして、0件とした。	- N-バス運行事業費を含む。 N-バス運行事業費を含む。	- N-バス運行事業費を含む。		A 維持 維持	平成26年度以降は、通信費のみの負担となる。本システムの周知・PRにより一層の活用を促す。	
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① N-バス運行事業	N-バスの路線等の見直しを行うワーキング等を行い、さらなる利便性の向上を目指す。			N-バス購入事業
			N-バス運行計画検討調査事業	平成23年4月1日に一部路線再編して以来、すでに3年が経ち、新たなニーズに対応する必要性が高まっていることから、見直しを行うワーキング等を行い、市民の意見を反映させた路線の再編案を作成する。	

長久手市行政評価票

事業番号	22	事業の名称	セーフティステーション・防犯パトロール事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	犯罪の防止及び交通安全対策に努め、住民意識の高揚を図ることにより、安心で安全なまちづくりを推進するため、セーフティステーションに職員を配置し、防犯や交通安全に関する相談・指導などの窓口対応及び青色回転灯付きパトロールカーでのパトロールを行う。また、子どもを巻き込む犯罪を防止するため、下校時間帯を中心に学校、公園の周辺及び通学路を青色回転灯付きパトロールカーで、防犯広報を行いながら市内パトロールを行う。 ・セーフティステーション事業 開所：月水金 午前10時～午後10時、火木土日祝日 午後1時～午後10時、年末年始を除く361日間。 ・防犯パトロール事業 セーフティパトロール(午後1時～午後10時の間に昼間・夜間の2回、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)及び、セーフティパトロール(子ども)(平日概ね午後2時から4時過ぎまで(下校時間帯)に、市内を3地区に分け、セーフティパトロールカーにて巡回)を実施。				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 日進市ひまわりステーション：赤池駅前 H17.4～、日進駅前 H18.11～、月13～21時、火～金14～21時、 (他に市役所内勤及びパトロール担当で1名) 警察官OB3名で青パト3台 みよし市安心ステーション：H22.11～、9～17時、土日祝・12/29～1/3休、 警察官OBを含む3名を交通防犯指導員として配置。青パト1台 幸田町地域安全ステーション：H20.4～ 平日7～17時、青パト1台		
	総事業費(単位：千円) H24予算 12,723 H24決算 12,502 H25予算 16,561 H25決算 16,269 H26予算 15,003 うち 一般財源 12,723 12,502 16,561 16,269 15,003 国費・県費 地方債 その他 受益者負担額	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討					
事業期間	事業開始年度	平成17年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象(だれ、何に対して)	全市民						
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	住民の防犯・交通安全意識の向上。児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。						

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位：千円)			評価		
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位：千円)	評価	評価の説明		
										H25目標値	H25予算				H25決算	事業規模
① セーフティステーション事業	全市民に	4月～7月～10月～1月～	セーフティステーションを開所し、相談・指導などの業務を行うことで	住民の防犯・交通安全意識の向上を図る。	相談受付・指示事項等延べ件数1,725件(ステーション98件、パトロール1,627件)	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	件	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年:962件)から1%の減少	12,723	12,502	16,561	16,269	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。
② 防犯パトロール事業	全市民に	4月～7月～10月～1月～	セーフティパトロール及び、子ども安全パトロールを実施することで	市内の街頭犯罪の防止及び児童が街頭犯罪に巻き込まれるのを防ぐ。	パトロール実施日数年361日、子ども安全パトロール実施日数 年218日	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	件	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年:962件)から1%の減少	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	A	パトロールを中心に職員配置を取っているが、警察官OBとしてのスキルを多方面に活用し、交通安全教室、防犯講習会等の事業への積極的な登用や防犯ボランティア団体活動等へ積極的に参加、指導・助言を行う。
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	23	事業の名称	防犯啓発事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	防犯意識向上の普及・啓発のため、街頭活動やキャンペーンの実施、児童、高齢者、市民を対象とした防犯教室の開催等により、市民の防犯意識の啓発、地域の絆づくりを推進し、犯罪抑止に努める。また地域の自主防犯ボランティア団体の設立支援、育成を行い、地域防犯を推進する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。								
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民			総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	犯罪被害に遭わないよう、防犯意識の向上。				一般財源	934	682	712	601	809	
					国費・県費	934	682	712	601	809	
				地方債							
				その他							
				受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
① 防犯啓発事業	全市民に					防犯意識の向上	防犯教室延べ参加者 619人、キャンペーン実施回数延べ 3回	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	950	件	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年:962件)から1%の減少	687	599	544	590	565	A	時代の情勢により様々なに変化する防犯上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要があるため、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、警察、地域ボランティアと連携を図り、地域住民の防犯意識向上、啓発に努める。
② 子どもの防犯啓発事業	長久手市民 (在園、在学者含む)に					防犯意識の向上	防犯ブザー 692個、啓発冊子 692冊 配布	刑法犯の犯罪発生状況	962	885	950	団体	県下で大幅に減少した前年実績(平成24年:962件)から1%の減少	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	※上記事業費に含む	A	現行どおり実施していく。
③ 自主防犯活動支援事業	自主防犯ボランティア団体をはじめとする市民に					自主防犯活動の活性化、地域との連携強化	自主防犯ボランティア連絡会議の開催(1回、参加11団体)、団体会議への職員の出席26回、防犯ボランティア養成アカデミーの開催(1回、参加者44人)、活動支援資機材の提供	市自主防犯ボランティア登録団体数	18	20	20	団体	地域住民と市と連携し、活発な自主防犯活動を期待できる目安の数	247	83	168	11	244	A	連絡会議やボランティア養成講座等で、積極的な団体の活動紹介事例に触発される他団体がいた。資機材貸与充実、防犯情報提供、地域会合への職員の積極的参加、他機関との仲介等で、世代交代に悩む団体のフォローをしつつ、新たな地域ボランティア立ち上げを支援する。
④																				

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	24	事業の名称	防犯街路灯整備事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	女性や高齢者が一人でも安心して街を歩ける安全なまちづくりを推進する。防犯施設の充実と共に住民の自主防犯意識の高揚を図ることを目的に、市内の適正箇所に防犯街路灯の設置、また既設の維持管理を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、東郷町においては、行政が防犯街路灯の整備・維持管理を行っている。豊明市においては、地元で設備・維持管理を行い、行政が事業に対して補助金を出している。								
	事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	全市民				総事業費	うち	一般財源	20,260	18,714	22,203	21,439	21,842		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防犯街路灯の整備によって、市民の生活の安全を守るための環境を整える。						国費・県費							
							地方債							
							その他							
						受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績			H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
					4月~			7月~	10月~		1月~	H25目標値			
① 防犯街路灯維持管理事業	全市民に	 市民やセーフティパトロール等からの防犯街路灯の修繕依頼に対し、契約業者へ修繕を指示することで	防犯街路灯を適切に管理することにより、市民の生活の安全を守るための環境を維持する。	・球切:264件 ・器具取替:240件 ・点滅器不良:20件 ・機器移設:10件 ・撤去3件 ・単価外修繕1件	修繕依頼数に対する修繕数の割合	100	100	%	前年度実績	17,925	16,569	主な修繕費の内訳 ・球切:1,092 ・器具取替:6,238 ・点滅器不良:95 ・機器移設:177 光熱水費11,586	A	古いタイプの防犯街路灯をLEDタイプの防犯街路灯に取り換えることにより、球切れ件数が昨年度の約半数となった。今後も、修繕費や光熱費といった維持管理費の削減するため、省エネ・長寿命であるLEDタイプの防犯街路灯の設置を進めていく。	
② 防犯街路灯整備事業	全市民に	 (要望受付) (現地調査(設置工事)) (即時設置)	必要とされる場所に防犯街路灯を設置することにより、市民の生活の安全を守るための環境をつくる。	防犯街路灯新規設置本数:80灯	地域住民からの要望数に対する新規設置数の割合	92	90	%	全ての要求に対し、なるべく応えたいため、高い数値で目標設定した。	2,335	2,145	新規設置工事費:2,226(80灯)	A	市民の要望には設置基準や要件を満たすものについて全て対応できた。今後も宅地開発等により防犯灯設置必要箇所の増加が考えられるため、設置を進めていく。	
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	25	事業の名称	尾張市町交通災害共済加入促進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	市民の生活安定と福祉増進への寄与のための交通災害に関する相互共済制度の普及のため、交通災害に備え、市民の共済加入を促進するとともに、事故に遭いやすい高齢者や児童に対し共済会費を市が負担する。なお、民間保険の普及や子ども医療費無料対象の拡大に伴い、市負担について見直しを行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・尾張市町交通災害共済加入市町11市町(北名古屋、岩倉、扶桑、豊山、豊明、東郷、日進、尾張旭、清須、大口) ※補助制度:北名古屋(中学生以下と70歳以上に半額補助)、岩倉(75歳以上と身体障害者手帳又は療育手帳所持者に全額補助)、扶桑(小中学生と70歳以上、身体障害者手帳所持者に半額補助)、豊山(中学生以下と70歳以上に半額補助) ・新城北設交通災害共済(新城市)…掛金 一人年額360円						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	昭和46年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	住民基本台帳に記載されている人			総事業費	うち	一般財源	5,325	4,945	5,380	5,166	5,549
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	加入率の向上と制度の利用促進。					国費・県費	5,325	4,945	5,380	5,166	5,549
						地方債					
						その他					
					受益者負担額						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段					H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~								10月~	1月~				H25目標値	H25予算	H25決算
① 尾張市町交通災害共済加入促進事業	住民基本台帳に記載されている人	全世帯に申込書を送付するとともに、広報ながくての折込みチラシ、市内回覧等によるPRを実施。また、小学生及び70歳以上の高齢者については、市が掛金を負担する。		加入率の向上と制度の利用促進。	加入者数 14,839人、共済掛金総額 7,414,000円、うち市補助金額 4,419,000円、見舞金給付件数 37件、支給額 3,030,000円	加入率	28.0	27.9	28.0	%	加入率は年々減少しているため、前年度(平成24年度)実績を維持	5,325	4,945	5,380	5,166	5,549	B 維持 維持	加入率はほぼ横ばいで推移している一方、市が扶助する対象者は年々増加している。近年の行政が掛金負担をする市町村の減少、民間の保険制度が充実するなか、本市の補助制度を見直す必要がある。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 尾張市町交通災害共済加入促進事業			未加入者への周知と併せて、加入者に向けて積極的な制度の活用を周知する。補助制度の見直しを行うため、近隣市町の状況を把握する調査、検討を行う。	

長久手市行政評価票

事業番号	26	事業の名称	防災訓練実施事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全

事業の概要	市民1人1人が防災意識を高めるとともに、関係機関等の連携を確認し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑えることを目的とする。 市民に防災意識を高めていただくため、企画段階から市民や防災関係機関等に関わっていただき、市内一斉に避難訓練や避難所運営訓練を市民参加型で行う。また市役所は災害対策本部を立ち上げるとともに、会場となる避難所との情報伝達訓練などを行い、市民、関係機関、行政が連携した訓練とする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、東郷町で同様の訓練を実施。尾張旭市では、自主防災組織に救助救出訓練に参加していただいたり、消防・警察・自衛隊などが連携して事前に訓練内容を知らせずに行うブラインド訓練を実施している。日進市では、地区の訓練を持ち回りで実施している。 また、みよし市では1つの中学校区で市主導の総合防災訓練を行うほか、その他の地区では自主防災会が中心となり個別に自主的な防災訓練を実施している。 岡崎市では、過去の災害の教訓から、全市一斉の防災訓練を行い、全ての避難所を開設し、市民は避難訓練や避難所運営訓練を実施している。							
	事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体				うち	一般財源		594	512	935	856	848	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民や各種団体、市職員それぞれの立場で防災意識を高め、災害時に応急対応を行うことができるようにする。					国費・県費		594	512	935	856	848	
						地方債							
						その他							
						受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			H25実績			H25予算	H25決算			
① 市内一斉防災訓練実施事業	市民、市職員、企業、消防・防災関連団体、ボランティア団体	4月~	7月~	10月~	1月~	参加者 3,327人	訓練参加者数	850 3,327 1,750	人	長小校区200人 東小校区150人 西小校区400人 南小校区400人 北小校区300人 市が洞小校区300人	594 935 848	512 856	防災訓練に使用する啓発品 440千円 防災訓練に使用する事務用品 174千円 訓練災害補償掛金 52千円	A 拡充 増加	初めて実施した、市内一斉の防災訓練であったが、予想を超える3,327人の参加があった。参加者からの改善・要望などを、十分に検証して今後の防災訓練などに反映させていきたい。
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	27	事業の名称	防災市民講座実施事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全

事業の概要	市民1人1人が防災意識を高めるとともに、地域における自主防災活動を活性化し、今後懸念される大地震で被害を最小限に抑えるため、防災活動を中心的に行う人材を育成することを目的とする。今後本市を含めた広い地域で甚大な被害が出ると懸念されている、南海トラフにおける巨大地震の発生に備え、自主防災活動を活性化させる必要がある。地震を防ぐことは不可能であるが、地震による被害を最小限に食い止めるため、自主防災活動を活性化させ、自分のまちは自分で守るという自助・共助の意識を高めていくため、市民を対象に防災講座を開催する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市では同様の研修を実施しているほか、県内では武豊町、一宮市、田原市などで毎年カリキュラムを組み、スキルアップ的な講座を実施するなど先進的に取り組んでいる。							
	事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				総事業費	うち		一般財源	120	186	60	45	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民1人1人の防災意識を高め、自主防災活動を活性化するとともに、防災活動を中心的に行う人材を育成する。					国費・県費							
						地方債							
						その他							
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				H26予算		
① 防災市民講座フォローアップ講座	平成24年度 市民講座修了者	→				参加者30人	修了者数	0	人	30	42	0	0	0	45	0	C	今後は、自主防災組織が構築されている自治会から各2名ほどの参加を募り、防災リーダーとしてのスキルアップを図る講座を実施する。
② 防災市民講座実施事業	市民		→			実施せず	修了者数	61	人	0	61	120	186	60	0	60	C	今後は、自主防災組織が構築されている自治会から各2名ほどの参加を募り、防災リーダーとしてのスキルアップを図る講座を実施する。
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	28	事業の名称	自主防災活動支援事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全

事業の概要	自主防災組織を設立した地区及び設立を目指す地区が行う自主防災活動を支援することを目的とする。自主防災組織や自治会等からの防災講習会の申込みに基づき、市職員及び防災関連団体(防災ボランティア、日赤、消防団等)を派遣し、各地区の地元で防災講習会を実施する。また、新たに自主防災組織の設立を目指す地区について、①自治会単位での防災講習会または防災訓練を年間3回以上実施、②参加者が概ね世帯数の3分の1以上または30名以上、などの一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の市町村で同様に自主防災活動の支援を実施している。																	
	事業期間	事業開始年度	不明	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業の対象 (だれ、何に対して)	自主防災組織や自治会等				総事業費	うち	一般財源	3,862	2,294	5,555	5,697	5,600											
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。						国費・県費		1,448	2,295	2,150	2,750											
							地方債																
							その他																
					受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H24実績 H25実績 H25目標値	単位			成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明		
									4月~7月~10月~1月~	H25目標値				H25予算	H25決算
① 防災講習会実施事業	自主防災組織や自治会等に	市職員及び防災関連団体を派遣し、各地区の地元で防災講習会を実施することで	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。	2,404	人	昨年度並みの参加者数 平成24年度 2,404人 平成23年度 1,800人	0	40		B	前年度に比べ、講習会回数、参加人数とも減少したが、今後も引き続き自主防災活動を援助していきたい。なお、将来的には、市職員に頼らず講習会を実施できるように防災リーダーの育成などをしていきたい。				
② 自主防災資機材貸与事業	自主防災組織の設立を目指す地区に	一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与することで	防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。	33.3 (33/99)	%	99自治会のうち、35地区が組織化することを目標設定の根拠とした。組織率(35/99)=35.3%	3,862	3,702		A	防災講習会の実施を促進し、貸与条件を満たす地区を増やすことで今後も組織率の向上を目指す。				
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	29	事業の名称	太陽光発電システム設置補助金	担当部署	部	課
					くらし文化部	環境課

事業の概要	長久手市環境基本条例の本旨に基づき、環境への負荷の少ない循環型社会に変革する環境保全意識の高揚を図るため、住宅用太陽光システムを設置しようとする者に対し、予算の範囲内において交付する。 (設置する太陽電池の最大出力について20千円/kw、上限4kw80千円を補助)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国:35千円/kw(上限10kw未満) 県:4千円/kw(上限4kw)市の補助金を含む 名古屋市:20千円/kw(上限10kw未満) 瀬戸市:20千円/kw(上限4kw) 尾張旭市:20千円/kw(上限4kw) 日進市:20千円/kw(上限4kw) 豊明市:20千円/kw(上限4kw) 東郷町:30千円/kw(上限4kw)																
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	-															
事業の対象 (だれ、何に対して)	自ら居住する市内の住宅(店舗等との併用住宅を含む。)に新たにシステムを設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築に合わせてシステムを設置するもので、かつ、市税の滞納がないもの。																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	環境への負担が少ない自然エネルギーの利用を促進するとともに、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止へ寄与する。																		
総事業費																			
総事業費(単位:千円)		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																			
A	現行どおり実施																		
B	事業の改善																		
C	他事業と統合																		
D	運営主体の見直し																		
E	事業の廃止の検討																		
うち		一般財源	3,536	3,543	3,646	3,414													
		国費・県費	464	322	354	570													
		地方債																	
		その他																	
		受益者負担額																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
①	長久手市住宅用太陽光発電システム設置整備事業補助金	自ら居住する市内の住宅に新たにシステムを設置するもの及び市内に自ら居住するための住宅の新築に合わせてシステムを設置するもので、かつ、市税の滞納がないもの。	→	→	→	→	環境への負担が少ない自然エネルギーの利用を促進するとともに、温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止へ寄与する。	H25.6.17予算満額に達したため終了(60件補助金交付)	施設出力 133.34kw (1件当たり3kw)	156.58 237.73 133.34	kw	予算の範囲内で助成可能な出力数の上限	4,000 4,000 4,000	3,865 3,984	4,000 3,984	太陽光発電システム設置補助金3,984	A 維持 維持	予算満額まで交付申請があり、需要は高い。		
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	30	事業の名称	自然環境調査事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	環境課

事業の概要	第3次環境基本計画の3つの柱の一つ「多様な生物が人と共存する自然共生社会の構築」を目指し、市内の自然環境データを蓄積する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:平成13年度～平成14年度 尾張旭市:平成11年度 春日井市:平成18年度～平成21年度 豊田市:平成13年度～平成15年度								
	事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				うち	一般財源				3,500	3,444	2,376		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然環境データの蓄積を図る。					国費・県費		12,390	12,384					
						地方債								
						その他								
						受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～											
① 平成25年度長久手市自然環境保全基礎調査業務委託	市内の生物	→				自然環境データを継続して蓄積し、市内の希少な動植物について把握する。	現地踏査 市民参加調査 シンポジウム開催	生物データ件数	1,092 1,378 1,300	件	市内の自然環境の指標となる生物のデータを蓄積する	12,390 3,500 2,376	12,384 3,444	平成25年度長久手市自然環境保全基礎調査業務委託 3,444千円	A 維持 維持	平成24年度から平成25年度までの調査結果を「長久手市生きものマップ」として作成し、シンポジウムを開催して公表した。今後は、希少種の保全と市東部の自然が残る地域の追跡調査を行いながら、市西部の外来種について市民へ啓発していきたい。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)			H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	31	事業の名称	卯塚墓園整備事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	環境課

事業の概要	新しい市民の定住化による墓地需要に対応し、将来にわたり安定した墓地供給ができるよう卯塚墓園の拡充整備を進める。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)																																				
事業期間	事業開始年度 平成24年度 終了(予定)年度 平成46年度	<table border="1"> <tr> <td>総事業費 (単位:千円)</td> <td>H24予算</td> <td>H24決算</td> <td>H25予算</td> <td>H25決算</td> <td>H26予算</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,207,242</td> <td>1,200,242</td> <td>36,488</td> <td>6,374</td> <td>303,460</td> </tr> <tr> <td>うち 国費・県費</td> <td>7,242</td> <td>242</td> <td>36,488</td> <td>6,374</td> <td>460</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>1,200,000</td> <td>1,200,000</td> <td></td> <td></td> <td>303,000</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	一般財源	1,207,242	1,200,242	36,488	6,374	303,460	うち 国費・県費	7,242	242	36,488	6,374	460	地方債	1,200,000	1,200,000			303,000	その他						受益者負担額					
総事業費 (単位:千円)	H24予算		H24決算	H25予算	H25決算	H26予算																																
一般財源	1,207,242		1,200,242	36,488	6,374	303,460																																
うち 国費・県費	7,242		242	36,488	6,374	460																																
地方債	1,200,000	1,200,000			303,000																																	
その他																																						
受益者負担額																																						
事業の対象 (だれ、何に対して)	墓地を必要とする市民																																					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する墓地需要に対し、墓地供給ができるようにするため、市営の墓園として整備する。																																					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												
① 卯塚墓園整備事業	墓地を必要とする市民	<p>平成24年度に土地を購入平成28年度までに墓園として整備する。</p>				基本設計作成	供給可能区画数	0	区画	整備を予定している墓地の区画数	1,207,242	1,200,242	7,000	6,374	卯塚墓園基本設計委託(6,374千円)	A	平成25年度繰越明許予算により基本設計を作成し、公表した。平成26年度は、実施設計を作成後、整備工事に着手する。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	32	事業の名称	一般廃棄物処理基本計画策定事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	環境課

事業の概要	現在の一般廃棄物処理基本計画が平成25年度で終了するため、平成26年度から平成35年度の計画を策定する。また、ごみ・資源の排出は生活や企業活動と密接な関係があり、昨今の経済状況や社会情勢の変動を大きく受けるため、現在の状況・ニーズに合わせた計画をする必要があり、十分な検証・分析をしていく。平成24年度に、市民・事業者アンケートやごみの組成調査を実施し、基礎調査資料を得るとともに、基本計画の素案を作成。平成25年度は、市民研究会等を実施し、ごみ問題に関する啓発を行うとともに基本計画の策定を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:同時期に策定 尾張旭市:同時期に策定																		
	事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度		平成25年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民、事業者				総事業費	うち	一般財源	2,500	2,457	2,500	2,457	-												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	計画的なごみ処理、ごみの減量化・資源化を図る。					国費・県費																		
						地方債																		
					その他																			
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
①	市民研究会の実施	市内に暮らす大学生に	 長久手市のごみ問題の現状や今後の課題、情報発信等の仕方を検討する会議を実施することで				学生のごみ出しルール、マナーを徹底させ、ごみ問題に対する意識の向上を図る	H25.9~ H26.3実施	市民研究会の開催数	回	ごみ問題の現状の体験や学生に向けた情報発信の仕方を検討するために必要な回数	6	4	2,500	2,457	2,500	2,457	一般廃棄物処理基本計画策定業務委託 2,457	A	一般廃棄物処理基本計画は策定したが、今後、大学生のごみ減量プロジェクトとして活動を続けていく。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	



長久手市行政評価票

事業番号	34	事業の名称	草刈機貸出事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	農地の適切な管理をしようとする農家の方々に草刈機を貸し出し、良好な営農環境の維持をしていただく。また、貸し出される草刈機の修理の委託を行い草刈機の管理をしていただく。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	一部市町で実施																
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																					
A	現行どおり実施																				
B	事業の改善																				
C	他事業と統合																				
D	運営主体の見直し																				
E	事業の廃止の検討																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	農地の適切な管理をしようとする市内農家等			総事業費	うち	一般財源	82	82	82	82	85										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	各農家の方々に、農地の適切な管理をしていただく				国費・県費																
					地方債																
				その他																	
				受益者負担額																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	
		4月~	7月~	10月~	1月~															事業規模
① 草刈機貸出事業	農地の適切な管理をしようとする市内農家等	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	貸出件数 116件	貸出件数	117	116	120	件	前年実績	82	82	82	82	85	草刈機管理委託82	A	前年度貸出件数とほぼ同程度の実績であるため、この事業規模を維持する。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	35	事業の名称	有害鳥獣捕獲事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	各業者に有害鳥獣の駆除及び処理を委託し、有害鳥獣による農作物被害の減少を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村全てで実施								
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	各農家が管理している農地等										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	有害鳥獣の捕獲等により農作物被害の減少を図るとともに、安心安全な営農活動を維持する										
総事業費				総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討	
				うち	一般財源	240	240	265	300		290
					国費・県費	240	240	265	300		290
					地方債						
					その他						
	受益者負担額										

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~										
① 有害鳥獣捕獲事業	各農家が管理している農地等	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	農作物被害面積 35,300㎡	農作物被害面積	1,100 35,300 1,000	㎡	前年度実績からの減少	240 240 240	240 240 240	有害鳥獣捕獲事業委託240	A 維持 維持	被害面積の把握方法を変更したため、前年度より大幅に増加した。統一的手法により把握に努める。
② 有害鳥獣捕獲処理謝礼金	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲をし処理をした方				●	イノシシ捕獲頭数(謝礼金対象)12頭	イノシシの捕獲頭数	6 12 5	頭	前年度実績	0 25 50	0 60 60	有害鳥獣捕獲処理謝礼金60	B 拡充 増加	除外していた猟期中における捕獲分についても謝礼金の対象となるように要綱の改正を行い、予算についても増額とした。
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	36	事業の名称	米政策対策推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	需給にあった主食用米の生産や耕作放棄地の減少を目的としている。転作を希望し種子配布希望の申請のあった農家に対して種子の配布を行い、転作を行った農家に対しては、米生産調整推進対策補助金の交付を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	米政策対策推進に係る種子配布事業は一部市町村で実施。米生産調整推進対策補助金に関しては近隣市町村全てで実施。																		
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農家				総事業費	一般財源	1,207	929	1,262	1,108	1,164													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	需要にあった主食用米の生産と適切な営農活動					国費・県費																		
						地方債																		
					その他																			
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~7月~10月~1月~						成果指標	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績			H25目標値	H24予算	H24決算	H25決算	H26予算					
①	米政策対策推進に係る種子配布事業	転作を希望する農家	●	4月の生産組合長会議にて、組合長に転作用種子配布申込書を各農家に配布していただくよう依頼し、希望者より申込書を提出してもらうことで	転作することにより、需給にあった主食用米の生産をしていただく	大豆896㎡ コスモス29,904㎡ レンゲ626㎡ そば150㎡	転作種子使用水田面積	25,330	31,576	㎡	前年度実績	259	242	米政策改革対策推進事業 大豆種子代 3 コスモス種子代 280 レンゲ種子代 3 そば種子代 0.5	A 維持 維持	前年度実績と同等数の希望があったので、現行通り実施していく。	
②	米生産調整推進対策補助金	転作した農家	●	現地確認を行い、転作されている面積若しくは出荷数量に応じて補助金を交付することで	需給にあった主食用米の生産へ協力しようとする意欲を増す	農協管理転作推進費補助金11,191㎡ 重点作物転作推進費補助金68,265㎡ 一般作物転作推進費補助金48,157㎡	補助金給付水田面積	112,824	127,613	㎡	前年度実績	948	687	農協管理転作推進費補助金12 重点作物転作推進費補助金596 一般作物転作推進費補助金193	A 維持 維持	現行通り実施していく。	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	37	事業の名称	農業用施設維持管理事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	農業従事者に農業用水の安定的供給性を確保し、農業生産性の向上を図るための農業用施設を年に2回草刈りやフェンス修繕、余水吐等の修繕を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も同様に農業用施設を維持管理している。																		
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	農業従事者				総事業費	うち	一般財源	5,677	5,677	5,896	5,832	5,000												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	農業用水を安定的に供給する						国費・県費																	
							地方債																	
							その他																	
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 農業用施設修繕工 事	農業従事者	●	●			1箇所	修繕箇所	2	前年実績	5,677	5,677	5,896	5,832	工事費5832	A	農業用施設を維持管理するため必要なため、現行通り実施する。			
								1							維持				
								前年実績		5,000					維持				
②																			
③																			
④																			

事務事 業の改 善内 容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	38	事業の名称	緑化関係補助金に関すること	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	利用者の負担を軽減しながら緑化を推進する。 生垣設置補助金は、戸建て住宅等(4,000円/m、上限150,000円)、集合住宅等(3,000円/m、上限150,000円)、分譲住宅(2,000円/m、上限60,000円/宅)を助成。 屋上・壁面緑化助成金は、20,000円/m又は補助対象経費の1/2のうち少ない方の額(上限500,000円)を助成。 あいち森と緑づくり事業補助金(愛知県)は、あいち森と緑づくり税を活用して行う民有地の緑化に対し、間接補助を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)  瀬戸市:生けがき設置奨励補助事業 設置距離×9千円(既存ブロック塀を取壊して生垣設置:上限12万円、ブロック塀以外の取壊し又は生垣設置のみ:上限6万円) 尾張旭市:生垣設置助成金 設置距離×3千円(上限9万円)(生垣新設のみ 設置距離×2千円(上限6万円)) 日進市、豊明市、東郷町:なし あいち森と緑づくり事業については、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、豊川市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、田原市、清須市、みよし市、あま市、長久手市、東郷町、東浦町、武豊町、扶桑町の34市町にて実施。																																				
	事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度		—																																			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				総事業費 (単位:千円) <table border="1"> <tr> <td>一般財源</td> <td>9,800</td> <td>6,322</td> <td>7,300</td> <td>1,671</td> <td>4,300</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>1,300</td> <td>153</td> <td>1,300</td> <td>162</td> <td>1,300</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>8,500</td> <td>6,169</td> <td>6,000</td> <td>1,509</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	一般財源	9,800	6,322	7,300	1,671	4,300	国費・県費	1,300	153	1,300	162	1,300	国費・県費	8,500	6,169	6,000	1,509	3,000	地方債						その他						受益者負担額					
一般財源	9,800	6,322	7,300	1,671		4,300																																			
国費・県費	1,300	153	1,300	162		1,300																																			
国費・県費	8,500	6,169	6,000	1,509	3,000																																				
地方債																																									
その他																																									
受益者負担額																																									
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる				評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討																																				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績		H25目標値	H24予算	H24決算			
① 屋上・壁面緑化助成事業	市民	[進捗表]				みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数0件	緑化面積	0		昨年度の実績がないため、H21からH23年度の平均値を目標とする。	1,000	0	1,000	B	実績が目標に満たなかったため、B評価とし、成果も拡充とした。	
		5	80	1,000	0				拡充								
② 生垣設置補助事業	市民	[進捗表]				みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	申請件数2件	生垣延長	46		過去3年間の平均値を目標とする。	300	153	300	B	実績が目標に満たなかったため、B評価とし、成果も拡充とした。	
		43	75	300	162				拡充								
③ あいち森と緑づくり事業	市民、事業所	[進捗表]				みどりの育成を推進し、緑化面積を拡大させる。	緑の街並み推進事業1件 県民参加緑づくり事業1件	緑化面積	1,584		実績のあるH23,H24年度の平均値を目標とする。	8,500	6,169	6,000	B	実績が目標を下回ったため、B評価とし、成果も拡充とした。	
		101	271	6,000	1,509				3,000	1,509		拡充					
④		[進捗表]															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	39	事業の名称	商工振興に関すること	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者が、事実上必要とする資金の融通を円滑にすることにより、市内の商工業を振興に資することを目的として、愛知県と市が協調し、覚書を締結している資金を金融機関に預託し、中小企業者への融資を促す。また、愛知県信用保証協会を経由して融資を受ける中小企業に対して、保証料の一部を補助する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町村とも同様の制度を設けている。						
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の中小企業者				一般財源	59,000		52,909	55,200	54,511	53,500	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市内の中小企業者が必要とする資金の融通を円滑にする。				国費・県費	59,000		52,909	55,200	54,511	53,500	
					地方債							
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H25目標値			H26予算							
① 小規模企業等振興資金	中小企業者	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	年間を通して随時融資の受付を行うこと	融資決定件数35件	融通決定率 (融通決定件数/融通申込件数)	90	%	全ての申込みにについて融資決定を目標	50,000	50,000	50,000	50,000	小規模企業等振興資金 50000	A	市内の中小企業者が必要とする資金の融通を円滑にするため、現行どおり実施する。	
② 信用保証料補助事業	中小事業者	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	年間を通して随時融資の受付を行うこと	補助件数58件	補助件数	53	件	前年度実績件数程度を見込む	9,000	2,909	5,200	4,511	3,500	信用保証料補助金 4511	A	市内の中小企業者が必要とする資金の融通を円滑にするため、現行どおり実施する。
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	40	事業の名称	消費者行政に関すること	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	適切な情報の提供や相談業務の充実により、消費生活における被害防止を図り、市民一人一人が正しい知識を持ち、安心して安全な消費生活をおくることを目指すことを目的に、消費生活相談窓口や消費生活に関する講座を開催し、市民の消費生活の知識を向上を図り、消費生活に関する被害を防ぐ。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も消費生活相談窓口を開設している。市町村の規模によって、毎日開催している市町村や週に1、2回開催している市町村がある。																		
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				総事業費	うち	一般財源	750	720	750	720	1,674												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の消費背活に関する知識の向上を図り、消費生活における被害を防ぐ。					国費・県費							1,674											
						地方債																		
						その他																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H25目標値			H26予算							
①	消費者生活相談事業	市民	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の消費者被害を防ぐ	相談件数 159件	相談件数	199	159	件	前年実績を見込む	720	720	720	720	消費生活相談員報酬720	A	市民の消費生活に関する相談を解消するため、現行どおり実施する。	
			●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の消費者被害を防ぐ	毎月6回開催することで		199				720	720	720	720		拡充		
			●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の消費者被害を防ぐ	相談件数0件						1,644					維持		
②	消費者生活講座事業	市民		●	消費生活に関する知識を学ぶ	満足度90%	受講者アンケートの満足度	79	90	%	多くの受講者に満足してもらえる内容とする。	30	0	30	0		A	前年実績を上回ったためAとした。	
				●	消費生活に関する知識を学ぶ	満足度90%		100				30		30			維持		
				●	消費生活に関する知識を学ぶ	満足度90%											維持		
③	多重債務相談事業	市民	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の消費者被害を防ぐ	相談件数0件	相談件数	3	0	件	各回1回以上の相談の確保(前年度実績)	0	0	0	0		B	事業の周知が必要だと考えられるため、Bとした。	
			●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の消費者被害を防ぐ	相談件数0件		0				0	0	0	0		維持		
			●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の消費者被害を防ぐ	相談件数0件		6				0					維持		
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	41	事業の名称	2013ながくて市民まつり事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	急激な人口増加を続ける本市においては、市民相互の交流や連帯意識の希薄化が懸念される。このため、市民相互のふれあいの場の創出を目指し、また、地域文化、産業の発展・向上を目指すために市民が主体となって実行委員会を組織し、まつり全体の企画・運営を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村も同様のまつりを開催している。																		
	事業期間	事業開始年度	昭和59年度	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				総事業費	一般財源	2,950	2,815	3,025	2,852	2,854													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民相互のふれあいの場を創出し、地域文化、産業の発展・向上を目指す。					国費・県費																		
						地方債																		
						その他																		
							受益者負担額																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 市民まつり	市民			●		市民相互のふれあいの場を創出し、地域文化、産業の発展・向上を目指す。	来場者数 17000人	来場者数	16,000	17,000	人	前年度実績を上回る	2,950	2,815	3,025	2,852	市民まつり実行委員会補助金2741 消耗品28 役務費83	A	市民主体である実行委員会形式で現行どおり実施していく。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	42	事業の名称	都市公園及び緑地の管理に関すること	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	都市公園及び緑地の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具や水景施設の保守点検、定期的なトイレの清掃やゴミ収集及び施設の修繕を行う。 また、都市公園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:都市公園54施設を指定管理者で管理 尾張旭市:直営で管理 日進市:直営で管理(総合運動公園、上納池スポーツ公園のみ指定管理者にて管理) 東郷町:直営にて管理(愛知池運動公園、境川緑地公園多目的広場及びテニスコート、東郷町ふれあい広場のみ指定管理者にて管理)							
	事業期間	事業開始年度	昭和54年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			うち	一般財源	64,635		63,100	67,226	66,884	72,079	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に都市公園・緑地を利用できるようにする。				国費・県費							
					地方債							
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような 手段を使って)	意図 (対象をどのような 状態にしたいか)	H24実績 H25実績 H25目標値	単位			成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明		
														4月~	7月~
① 指定管理者制度事業	都市公園	●●●●●●●●●●●●●●●● 都市公園の指定管理者を選定し、定期的な除草、草刈、剪定、トイレ清掃、広場清掃及び電球交換等の簡易な修繕を行うこと	安心して快適に都市公園を利用できるようにする。	除草1~4回/年 草刈1~4回/年 施肥1回/年 清掃1~2回/月 トイレ清掃1回/週 剪定1回/年 水景清掃1~2回/月	都市公園に対する苦情件数	29	件	過去3年の伸び率の平均は1%のため、目標値は、伸び率1%以下とする。	44,100	44,100	指定管理者協定46,600	A	現行どおり実施していく。事業費は、管理する都市公園数が増加するため、増加とした。		
				33	46,600	46,600			維持						
				29	47,932				増加						
② 緑道管理委託事業	緑道・緑地	●●●●●●●●●●●●●●●● 定期的な除草、草刈、剪定、トイレ清掃、広場清掃を行うこと	快適に緑道・緑地を利用できるようにする。	除草2~3回/年 草刈2回/年 施肥1回/年 清掃6~12回/年 トイレ清掃1回/週 剪定1回/年	緑道・緑地に対する苦情件数	6	件	過去3年の伸び率の平均は77%のため、目標値は、前年度実績以下とする。	14,368	13,545	緑道管理委託14,826	A	現行どおり実施していく。		
				5	14,826	14,826			維持						
				7	16,860				維持						
③ 遊具保守点検委託事業	都市公園・緑道	●●●●●●●●●●●●●●●● 定期的な遊具点検を行うこと	安全に遊具を利用できるようにする。	劣化診断1回/年 規準診断1回/年 通常点検11回/年	遊具点検で改善が必要とされた箇所(B評価以上)のうち、改善を実施した割合	37	%	指摘をうけた箇所のうち、遊具に関するものは全て修繕する。	2,359	2,266	遊具保守点検委託2,267	A	現行どおり実施していく。事業費は、管理する遊具数が増加するため、増加とした。		
				28	2,267	2,267			維持						
				60	2,609				増加						
④ 水景施設保守点検委託事業	都市公園・緑道	●●●●●●●●●●●●●●●● 定期的な水景施設の点検、清掃を行うこと	快適に公園・緑道を利用できるようにする。	保守点検2~4回/年 清掃7~12回/年	修繕が必要と指摘された箇所のうち、修繕を実施した割合	100	%	指摘を受けた箇所は、全て修繕する。	1,934	1,460	水景施設保守点検委託1,540	A	現行どおり実施していく。		
				94	1,739	1,540			維持						
				100	2,672				維持						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	42	事業の名称	都市公園及び緑地の管理に関すること	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	都市公園及び緑地の環境維持のため、樹木の剪定や除草、遊具や水景施設の保守点検、定期的なトイレの清掃やゴミ収集及び施設の修繕を行う。 また、都市公園の清掃活動を行う愛護会への報償金の支払いや掃除道具の支給を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市:都市公園54施設を指定管理者で管理 尾張旭市:直営で管理 日進市:直営で管理(総合運動公園、上納池スポーツ公園のみ指定管理者にて管理) 東郷町:直営にて管理(愛知池運動公園、境川緑地公園多目的広場及びテニスコート、東郷町ふれあい広場のみ指定管理者にて管理)							
	事業期間	事業開始年度	昭和54年度	終了(予定)年度		—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				うち	一般財源		64,635	63,100	67,226	66,884	72,079	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安全で快適に都市公園・緑地を利用できるようにする。					国費・県費							
						地方債							
						その他							
							受益者負担額						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算	H26予算	
①	水景施設水質検査 業務事業	都市公園・ 緑道					安全に公園・緑道を利用できるようにする	6~9月の毎月1回(6項目) 桜ヶ根公園の残留塩素は6~9月の毎日(日曜日を除く)	水質基準を超えた回数	5	回	水質基準を超えないよう管理する。	574	549	574	550	水景施設水質検査業務550	A	現行どおり実施していく。
②	公園愛護会報償金 交付事業	愛護会					快適に都市公園を利用できるようにする	愛護会の管理する児童遊園数26箇所	愛護会数	26	団体	既に活動している団体の確保を目標とする。	1,300	1,180	1,220	1,101	報奨金1,101	B	愛護会の団体数の減少があったため、B評価とした。成果についても、愛護会団体数の増加を目指すことから、向上とした。
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)		H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	43	事業の名称	遊休農地活用事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	要綱に基づく前熊堀越地区の農地の幹旋、「長久手給食食材生産会」の運営支援等を行うことで、新規就農及び既存農家の農地拡大の推進並びにあぐりん村や学校給食への出荷を促進し、遊休農地を減らしていく。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:農地バンク制度 東郷町:農地バンク制度						
	事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農業者				総事業費	うち	一般財源					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	前熊堀越地区を地産地消農産物の生産拠点とする。					国費・県費						
						地方債						
					その他							
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算			
① 「長久手市農地活用支援に関する要綱」による農地の幹旋	市内農業者	[手段: 幹旋]				前熊堀越地区の遊休農地を増やし市内農産物の生産量を増加させる。	幹旋を受けた農家が地域の中心農家になり、独自に規模拡大している。	前熊堀越地区の遊休農地面積	32,483		m <sup>2</sup>	前熊堀越地区の遊休農地の減少状況	0	0	[評価: A]	現行どおり実施していく。幹旋対象区内の遊休農地が着実に減少している。	
		要綱に基づき、遊休農地を幹旋することで							28,128		0		0	維持			
									30,000		0		0	維持			
② 「長久手給食食材生産会」の運営支援	市内農業者	[手段: 栽培会議]				学校給食への地元農産物の納入量を増やす。	農業者間の連絡調整の活発化	学校給食への納入実績	2,505		kg	これまでの納入実績の最大値(H22、8,393kg)	0	0	[評価: A]	今後も、安心安全な市内産野菜の学校給食への納入を増やしていく。	
		学校給食への納入品目、数量等を決定する栽培会議を給食センターも交えて開催し、連絡調整を活発にすることで							3,889		0		0	維持			
									8,000		0		0	維持			
③ N-GAP(※)の実施 (※)長久手版の農作物工程管理のこと。	市内農業者	[手段: N-GAP]				生産する農作物の質を向上させ、安心・安全な長久手産野菜を消費者にむけてアピールする。	N-GAP看板製作 N-GAPシールの作成	N-GAP認証圃場面積	50,374		m <sup>2</sup>	前年度実績(50,374 m <sup>2</sup> )	0	0	[評価: A]	制作したN-GAPのロゴマーク等を活用して、看板・シールを作成。	
		給食食材生産にN-GAP(安心・安全な農作物を生産するための工程管理手法)を導入することで							50,374		0		0	維持			
									50,374		0		0	維持			
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	44	事業の名称	有機栽培推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	有機、無農薬栽培等に有効な資材の適正な使用方法及びその効果の実証展示を行い、市内農家への普及を図る。また市内在住の家族を対象とした有機野菜の収穫体験を実施することにより、消費者への普及も図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	特になし																		
	事業期間	事業開始年度	平成21年度	終了(予定)年度		平成25年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内農家及び住民				総事業費	うち	一般財源	537	100	402	180	-												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	有機栽培への理解及び食の安心安全に対する理解を深める。						国費・県費	537	100	402	180	-												
							地方債																	
							その他																	
						受益者負担額	42	43	42	40	-													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~																
①	ほ場における実証展示	市内農家	ほ場において、有効な資材の適正な使用方法及びその効果の実証展示を行うこと				防虫資材の利用拡大	有機栽培に取り組む農家数	10	10	15	戸	10	10	0	100	180	170	10	E	4年にわたり、有機栽培の実証展示を行い、有機野菜を栽培する農家が増え、一定の成果は見られた。今後は、市内農家が個々に有機栽培を継続していけるよう、支援方法を検討する。
②	有機野菜の収穫体験	市内家族	有機野菜の収穫体験を行うこと				20家族(約90名)	応募組数	33	30	33									E	同様の事業を市内の法人も実施しており、市として、有機野菜の普及啓発における一定の役割は果たすことができたと考える。今後は、目的を農業体験機会の提供とし、農楽校事業での展開を検討する。
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)		H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	45	事業の名称	農楽校事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	農業を行うにあたっての基本的な知識と技術を学ぶ「基礎コース」と、より実践的な知識と技術を習得する「農力向上コース」に分かれ、週1回の実習及び年8回の講義を実施する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:日進アグリスクール(初、中、上級コース) 東郷町:東郷農学校、東郷軽トラ市 瀬戸市:せと農業塾(担い手コース)									
	事業期間	事業開始年度	平成16年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	受講生			総事業費	うち	一般財源		1,695	1,413	1,579	1,732	1,965		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多様な担い手として、農業に従事してもらおう。				国費・県費									
					地方債									
					その他									
				受益者負担額		420	420	420	456	510				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算			
① ほ場実習の実施	受講生	[Progress bar: 4/4]				農業に対する理解、関心を深め、就農のきっかけとしてもらう。	約50回実施	農学校をきっかけに、今後何らかの形で農に携わりたいと答えた受講生の割合	100	100	%	全受講生(100%)	1,631	1,349	農楽校講師報償金(実習コーチ分) 623 消耗品費 602 光熱水費 276	A	現行どおり実施する。全体として受講生の満足度は高いが、実習の管理体制や運営方法について、予算はそのまま、よりよい方法を模索する予定。また、修了後の就農支援の方法についても検討するとともに、修了生の就農状況も調査していく。
② 講義の実施	受講生	[Progress bar: 4/4]				農業の幅広い知識を習得し、実習に役立ててもらおう	12回実施	講義が役に立つと答えた受講生の割合	97	83	%	全受講生(100%)	64	64	農楽校講師報償金(座学講師分) 48	A	現行どおり実施する。実習に、よりリンクした講義を目指す。
③ 野菜販売実習	受講生	[Progress bar: 4/4]				出荷の際に必要な作業等を学び、野菜の栽培から販売までの一連を学んでもらう	2回開催	販売実習が今後役に立つと答えた受講生の割合	89	-	%	全受講生(100%)	0	20	収穫物売払い代 44	A	現行どおり実施する。農楽校のPRを兼ねて、受講生と消費者との交流を図ることができた。
④		[Progress bar: 4/4]															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			農産加工体験事業	実習で行ってきた味噌造り、漬け物づくり等の加工体験を一般市民向けの体験事業として実施する。
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	46	事業の名称	市民農園事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	1区画30㎡の農園66区画を、最長5年貸し出している。初心者でも気軽に農業を楽しめるよう、市内農家を中心とした「たがやっせサポートクラブ」のメンバーが、栽培指導、モデル農園の栽培管理及び年に2回栽培講習会を行っている。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町(20㎡・2,000円/年) 瀬戸市(20㎡・2000円/年) 日進市(30㎡・12000円/年)						
	事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	農園利用者				総事業費	うち	一般財源					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	初心者でも気軽に、楽しく野菜を栽培できるようにする。					国費・県費						
						地方債						
						その他						
					受益者負担額	660	660	660	663	660		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)		意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価									
		4月~	7月~			10月~	1月~	成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		H25目標値														事業規模 事業費					
① 長久手ふれあい農園 (市民農園)維持管理業務	農園利用者	●	●	●	●	年間を通しての農園の維持管理、利用者への栽培指導や栽培講習会、モデル農園の栽培管理を行うことで	初心者でも気軽に、楽しく野菜を栽培できるようにする。	・20種類の野菜を栽培 ・年間指導日数102日 ・講習会1回開催、参加者数約50人	貸出区画数	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	A	現行どおり実施していく。農園は適正に管理できている。また、各機会において、たがやっせサポートクラブと利用者、利用者同士のよきコミュニケーションが図られ、身近な農業体験の場として親しまれる人気の事業である。
②																					
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	47	事業の名称	長久手田園バレー基本計画改訂業務委託	担当部署	部	課
					くらし文化部	産業緑地課

事業の概要	長久手田園バレー基本計画は、平成14年3月の策定から11年が経過している。そこで、これまでの事業をふり返り、成果や課題を明らかにするとともに、今後の田園バレー事業の目指すべき姿や具体的な施策について、市民とともに検討し、長久手田園バレー基本計画を改訂する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	特になし																		
	事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度		平成25年度	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				総事業費	一般財源	0	0	2,500	2,499	-													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	共に作成した田園バレー基本計画をもとに、市民が主体的に活動を行う。					国費・県費	0	0	2,500	2,499	-													
						地方債																		
					その他																			
					受益者負担額	0	0	0	0	0	-													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H25目標値
①	長久手田園バレー基本計画の策定	市民	市民ワークショップにより、幅広く市民の意見を聞くことで、				計画に市民の意見を反映させる。	市民31人参加によるワークショップ5回開催	計画に意見が反映されたと答えた参加者の割合	-	92	%	事業の意図が、市民の意見を反映させることであるため。	0	0	2,500	2,499	田園バレー基本計画改訂業務委託 2,499	A	今回改訂した基本計画に基づき、次年度以降、重点プロジェクトを市民とともに実施する。このとき、関連する他の事業と連携することで個別プロジェクトのいっそうの推進を図る。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			個別プロジェクト推進支援業務委託	個別プロジェクトの推進に向けた各制度の構築、調査研究等支援
			H26以降新規に実施する事務事業	

事業番号	48	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施						
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度		-	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				一般財源	551		551	506	408	491	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。				国費・県費	551		551	506	408	491	
					地方債							
					その他							
					受益者負担額	436	465	459	675	432		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~			成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		H25目標値																	
① 旧街道探訪講座	市内在住、 在勤、在学 の方	●		●		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者58人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	97	97	%	申込者の多い講座であるので、募集定員の充足を目標とする。	144	144	144	144	講師料72千円×2回	A 維持 維持	文化財保護審議会の委員である小林元氏が講座を受け持ち、募集人数もほぼ確保していることから、市民の求める生涯学習講座のニーズに合っているため、現行どおり実施する。
② パソコン講座	市内在住、 在勤、在学 の方	→		→		生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者20人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	87	100	%	申込者の多い講座であるので、募集定員の充足を目標とする。	195	195	225	127	はじめてのパソコン講座講師料10千円×6回 初心者向けインターネット検索講座講師料10千円×6回 アシスタント1,200円×6回	A 維持 維持	人気講座で住民からの要望も多く、募集人員もほぼ確保していることから、市民の求める生涯学習講座のニーズに合っているため、講座内容の充実を図りつつ実施する。
③ 俳句講座	市内在住、 在勤、在学 の方		●			生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者7人	募集人数の確保 講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	33	29	%	申込者が少ない講座であるので、8割程度の定員充足率まで引き上げる。	60	60	60	60	講師料15千円×4回	E - -	広報・HPに加え、公共施設にチラシを設置し受講生募集を行った。しかし、平成24年度と比較しても、申込者は減少し、3割を下回ることから現在、市民が求める生涯学習講座のニーズに合っていないと判断し、事業廃止を検討する。
④ 自分で装うはじめての浴衣	市内在住、 在勤、在学 の方		●			生涯学習への関心を高め、学習意欲を持つきっかけとしてもらう	申込者10人	講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	33	67	%	申込者が少ない講座であるので、8割程度の定員充足率まで引き上げる。	32	32	32	32	講師料8千円×2回 ×2人	B 維持 維持	平成24年度と比較して受講希望者は増加しているため、引き続き日程や内容等を再検討し、募集人数確保に努めたい。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	④	自分で装うはじめての浴衣		住民からの要望が高い講座であるため、受講生が利用しやすい日程等を講師と調整する。また、市民に広く通知するためにも、広報・HPに加え公共施設にチラシの設置を依頼する。	

事業番号	48	事業の名称	社会教育事業・生涯学習推進事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。また、講座から自主的にサークルが立ち上がることを奨励しています。今年度は旧街道探訪講座2講座、パソコン講座2講座、俳句講座1講座、自分で装うはじめての浴衣1講座、茶道入門講座1講座及び市内史跡めぐり講座1講座を開催。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自に生涯学習講座を実施								
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度		-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				うち	一般財源		551	551	506	408	491		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	興味のある講座を開催することにより、市民が活動を始めるきっかけになることを意図しています。					国費・県費								
						地方債								
						その他								
						受益者負担額	436	465	436	675	432			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算			
⑤ 茶道入門講座	市内在住、 在勤、在学 の方	4回講座で15人募集すること で	→			講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	60	87	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	60	60	講師料15千円×4回	A	平成24年度と比較して大幅に募集人数 を確保できた。市民の求める生涯学習 講座のニーズに合っているため、今後 も募集人数確保を努めたい。	
⑥ 市内史跡めぐり講座	市内在住、 在勤、在学 の方	2回講座で20人募集すること で	●			講座申込者数÷ 募集定員の割合 (講座申込者数 /募集定員)	85	95	%	申込者の多い講座で あるので、募集定員 の充足を目標とする。	15	15	講師料15千円	A	平成24年度と比較して大幅に募集人数 を確保できた。市民の求める生涯学習 講座のニーズに合っているため、今後 も募集人数確保を努めたい。	
⑦																
⑧																

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	49	事業の名称	成人式事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	実行委員会を設置し、成人の日に文化の家森のホールで成人式の式典を開催する。式典後に、成人式の参加者を対象に茶話会を開催する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町村で実施							
	事業期間	事業開始年度	-		終了(予定)年度	-	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	新成人			一般財源	1,129	1,129		1,113	887	1,127		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	参加率を向上させ、より充実した成人式を開催する。			国費・県費	1,129	1,129		1,113	887	1,127		
				地方債								
				その他								
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価							
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明					
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算				H25決算	事業規模 事業費			
① 成人式	新成人	●			●	仲間づくりや成人としての自覚を持つ。また参加率を向上をめざし、より充実した成人式を開催する。	参加者数 345人/対象者 498人	参加率 (参加者/対象者)	73	69	75	%	毎年、より多くの新成人に参加してもらうこととし、前年度実績から参加率増を目標とする。	1,129	1,129	1,113	887	1,127	会場設営等 274 記念品 528 印刷費 21 その他 64	A	参加率は前年度を下回ったが、新成人としての自覚を持ち、社会に踏み出すために必要であるため、現行どおり実施する。	
②																						
③																						
④																						

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	50	事業の名称	青少年健全育成事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	市と市内保育園保護者会、幼稚園保護者会や市内小中学校PTAとの協働で講演会や勉強会等を開催し、親子のふれあい、保護者同士の交流を行い、家庭教育を推進していくことによって、明るく、楽しく、対話のある家庭づくりをめざす。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、東郷町、みよし市、豊明市ではほぼ同じ内容を実施。						
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	保育園保護者会、幼稚園保護者会、小中学校PTA				一般財源	510		485	540	498	540	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	家庭教育を推進していくことによって、明るく、楽しく、対話のある家庭づくりをめざす。				国費・県費							
					地方債							
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
									H25予算	H25決算		事業規模 事業費		
① 幼児家庭教育事業	保育園保護者会、幼稚園保護者会	4月~7月~10月~1月~	親子のふれあいや、保護者同士の交流の機会を提供し、明るく、楽しく、対話のある家庭づくりをする。	事業実施団体9団体 事業実施回数20回	協働事業の開催数	保護者会が主体的に計画的に事業を展開され、また明るい家庭づくりにつながる事業が実施されるを目標とする。(各団体2~3回実施)	270	270	推進事業講師謝金 270	A	各団体が明るい家庭づくりのための事業を実施することができた。			
		20					270	維持						
		21					270	維持						
② 小中学校家庭教育事業	小中学校PTA	4月~7月~10月~1月~	親子のふれあいや、保護者同士の交流の機会を提供し、明るく、楽しく、対話のある家庭づくりをする。	事業実施団体9団体 事業実施回数19回	協働事業の開催数	PTAが主体的に計画的に事業を展開され、また明るい家庭づくりにつながる事業が実施されるを目標とする。(各団体2~3回実施)	240	215	推進事業講師謝金 228	A	各団体が明るい家庭づくりのための事業を実施することができた。			
		19					228	維持						
		18					270	維持						
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	51	事業の名称	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	長久手の文化財等の資料や概要を紹介する長久手古戦場野外活動施設を適正に管理運営し、長久手の文化財や歴史の紹介を行う。また、郷土資料室等の施設の維持管理を行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で類似施設							
	事業期間	事業開始年度	昭和60年	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	野外活動施設を訪れる市民			総事業費	うち	一般財源	9,605	8,521	7,527	9,478	9,515	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	多くの人に訪れて貰い、施設の利用を増やす。					国費・県費	0		0	0	0	
						地方債	0		0	0		
						その他	0		0	0		
					受益者負担額	740	702	689	767	738		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~												
①	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業	野外活動施設を訪れる市民	郷土資料室の運営を行うことで				多くの人に訪れて貰い、施設の利用を増やす。	年間利用者数34,408人	1日あたりの利用者数 利用者数/開室日数	126 112 130	人	前年実績からの増加	9,605 7,527 9,515	8,521 9,478	光熱水費等2,091 警備費614 施設管理委託2,572 清掃委託799 修繕料533 消耗品212 その他2,657	B 維持 維持	野外活動施設として開館して29年が経過しており、施設が老朽化している。施設利用者もほぼ横ばい状態であるため、施設内容の見直しを検討したい。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			古戦場公園再整備 基本構想策定	野外活動施設を含め、古戦場公園一帯を有効活用するため、市民協働による基本構想を策定する。
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	52	事業の名称	文化・文化財事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	市民による実行委員会により古戦場桜まつりを開催し、長久手の史跡等のPRを行う。期間中(4月3日から4月9日まで)、古戦場公園の夜間ライトアップ7日間、郷土資料室の夜間開放を実施。事業集中日には、催事、芸能発表や模擬店が出店。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市、みよし市																			
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算														
事業の対象 (だれ、何に対して)	古戦場桜まつりに訪れる人と市民			総事業費	うち	一般財源	2,500	2,720	2,500	2,497	2,569	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	史跡のPRのため、多くの人に訪れて貰う。			うち	国費・県費	0	0	0	0	0														
				うち	地方債	0	0	0	0	0														
				うち	その他	0	0	0	0	0														
					受益者負担額	0	0	0	0	0														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H25目標値
① 長久手古戦場桜まつり	古戦場桜まつりに訪れる人と市民	●				史跡のPRのため、多くの人に訪れて貰う。	来場者数 8,000人	来場者数	8,000	8,000	人	より多くの方に利用してもらうことを目標に、前年度実績から増加する。	2,500	2,720	2,500	2,497	2,569	補助金2416 損害保険料52 施設夜間管理委託29	A	市民による実行委員会により古戦場桜まつりを開催した。史跡のPR方法については、検討する必要がある。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 長久手古戦場桜まつり			桜まつりのチラシに、史跡のPR内容を記述する。	

長久手市行政評価票

事業番号	53	事業の名称	色金山歴史公園茶室管理運営事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	色金山歴史公園茶室の維持管理をするとともに、茶室・和室の貸出や立礼式で抹茶サービスを提供する。また、文化協会と協働で毎月茶会を開催し、茶道を学ぶ機会を提供する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、モリコロパーク、愛知県陶磁資料館																			
	事業期間	事業開始年度	平成8年		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算												
事業の対象 (だれ、何に対して)	色金山歴史公園茶室の利用者			総事業費	うち	一般財源	10,478	10,478	11,029	11,029	10,747	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設の利用者を増やす。			国費・県費																				
				地方債																				
				その他																				
				受益者負担額	1,642	2,179	1,600	1,978	2,178															

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 色金山歴史公園茶室管理運営事業	色金山歴史公園茶室の利用者	→				施設の利用者を増やす。	年間利用者数11,153人/開館日数305日	1日あたりの利用者数(利用者数/施設開館日数)	38 37 40	人	利用者数は、ほぼ横ばい。文化協会と協働で毎月実施している茶会への参加者数も考慮し、約10%増をめざす。	10,077 9,997 10,747	10,478 11,029	光熱水費619 修繕料405 茶会委託料419 施設管理委託料3,428 賃金3,146 賄材料費1,402 その他1,610	A 維持 維持	利用者数は、前年度とほぼ変わっていないが、小牧・長久手の戦いを後世に語り継いでいくための施設であるため、現行どおり実施する。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	54	事業の名称	文化・文化財補助事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	補助金を交付することで、住民団体が行う社会教育のための事業の自主的な運営を支援する。社会教育団体が、社会教育のために行う事業に要する経費に対して補助金を交付する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)		近隣市町もほぼ同様に実施																	
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内で活動している社会教育関係団体				うち	一般財源	2,089	2,089	1,789	1,789	1,834													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	各団体の活動人数を増やし、活発な活動を促進する。					国費・県費																		
						地方債																		
					その他																			
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算
①	文化・文化財補助事業	市内で活動している社会教育関係団体	文化協会、前熊古典芸能、日本ボーイスカウト、小中学校PTA連絡協議会、郷土史研究会の団体に対して補助金を交付することで				5,235	団体会員人数	5,051	5,235	人	各団体の活発な活動の指標について、各団体の会員数に置き換え、前年度からの増加を目標とする。	2,089	2,089	文化協会700 前熊古典芸能69 日本ボーイスカウト50 小中学校PTA連絡協議会770 郷土史研究会200	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	55	事業の名称	地域社会体育事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強めることを目標とする。幅広い年齢層を対象として「歩く、走る、泳ぐ等」といった各種スポーツイベント及び教室を開催する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自にイベント等を実施							
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方			総事業費	うち	一般財源	6,165	4,977	4,709	4,912		4,966
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	スポーツイベントやレクリエーション活動を実施し、家族や仲間との交流を通して、絆を強める				国費・県費							
					地方債							
					その他							
				受益者負担額	969	1,119	781	914	943			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H25目標値	H25予算				H25決算
① 社会体育事業(教室等)	市内在住、 在勤、在学 の方	4月~7月~10月~1月~	スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生 活を送る。	91	参加者数 636人	教室申込者数÷ 募集定員の割合 (教室申込者数 /募集定員)	%	すべての教室で定員 以上の申込があり、 参加者全員に満足し てもらえる教室を目指 す。	2,568	2,106	スポーツ講師委託 1,144千円 消耗品費133千円	B	多くの教室の中には募集人数の減少が みられる教室もあるので、日程や内容 等を再検討し、募集人数確保に努めたい。		
		市内のスポーツ施設を使用し、 スポーツ教室を開催すること で、		85					1,752	2,226				維持	
				90					1,922					維持	
② 新春マラソン大会	走ることが好 きな人	4月~7月~10月~1月~	スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生 活を送る。	1,648	参加者数 1,399人	参加者数	人	参加者の増加を目標 とし、前年参加者数 1,648人×105%(過 去2年の伸び率平均)	829	752	医師報償費49千円 消耗品費81千円 印刷製本費98千円 大会会場設営委託 299千円	A	平成25年度は、低温の影響により参加 者の減少が見られたが、毎年多数の参 加者があるので、継続して進めていく。		
		愛・地球博記念公園を使用し、 新春マラソン大会を開催すること で、		1,399					794	677				維持	
				1,730					819					維持	
③ 学校プール開放事業	市内在住、 在勤、在学 の方	4月~7月~10月~1月~	スポーツを楽しむこと で、健康で元気な生 活を送る。	2,231	利用者数 2,194人	参加者数	人	参加者の増加を目標 とし、1日平均入場者 数の過去最高値(87 人)×27日(25年度 開放日)	2,768	2,119	プール開放管理委託 1,939千円 消耗品費70千円	A	平成23年度と比較しても順調に参加 人数も増加しているので、現状のように継 続していく。		
		夏休みの小学校のプールを開 放することで、		2,194					2,163	2,009				維持	
				2,350					2,225					維持	
④		4月~7月~10月~1月~													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 社会体育事業(教室等)	多くの教室の中には募集人数の減少がみられる教室もあるので、日程や内容等を再検討し、募集人数確保に努めたい。			

長久手市行政評価票

事業番号	56	事業の名称	総合型地域スポーツクラブ運営事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	地域と密着したスポーツ及びレクリエーション活動を通して、住民の健康づくり、地域社会の活性化に寄与することを目標とする。「いつでも、どこでも、誰でも」を合言葉に、子どもから高齢者、初心者から上級者まで参加できる各種スポーツ教室やイベントを開催する総合型地域スポーツクラブ(会員は会費を支払い、自立した運営をめざすクラブ)を運営する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	各市町で独自にクラブ運営を実施							
	事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学の方				総事業費	うち	一般財源	3,634	3,321	4,099	3,269	4,296	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	スポーツを通じて、地域の新たな仲間と街づくり					国費・県費							
						地方債							
						その他							
						受益者負担額	3,031	3,066	3,496	2,886	2,749		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~												
①	市内在住、 在勤、在学 の方	総合型地域スポーツクラブを運営し、スポーツ教室等を開催することで、				スポーツクラブ 会員数 655人	募集定員の充足 率(クラブ参加者 数/募集定員)	88	89	%	すべての教室で定員 以上の申込があり、 参加者全員に満足し てもらえる教室を目指 す。	3,634	3,321	クラブ運営委員報償 金 190千円 消耗品費234千円 クラブ教室等講師委 託 2,504千円	A	平成24年度に新たに立ち上げた事業 であり、事業拡充を行うとともに、将来自 主運営に向けての政策を進めていく必要 がある	
②																	
③																	
④																	

事務事業 の改善 内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要	
	①	総合型地域スポーツ クラブ運営事業		平成24年度に立ち上げた事業であり、市民に向けての事業PRを積極的に行うこと。併せて事業内容の検討や将来自主運営できる組織に育てていく必要がある。		

長久手市行政評価票

事業番号	57	事業の名称	社会体育関係団体補助事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	市内で活動している社会教育団体の活動を支援することで、スポーツに関わる人数を増やしていくことを目標とする。 生涯スポーツの振興及び啓発活動のため、社会教育団体に補助金を交付することで、安定的な運営がなされ、住民のためのより充実した質の高い事業を実施するようとする。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	体育協会 (日進市 4,600千円 ・東郷町 1,910千円 ・豊明市 2,673千円) レク協会 (日進市 1,000千円 ・東郷町 0千円 ・豊明市 495千円)						
	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算	評価の 見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討				
事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	-	うち	一般財源	7,252		6,850	7,072	6,928	6,985
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内で活動している社会教育関係団体、市内在住、在勤、在学の方				総事業費	国費・県費	7,252		6,850	7,072	6,928	6,985
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	生涯スポーツに関わる人数を増やしていく					地方債						
						その他						
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
										H25目標値	H25予算				H25決算
① 社会教育関係団体補助事業	市内で活動している社会体育関係団体	4月~7月~10月~1月~	各団体に安定して大会や教室等を開催してもらう。	(補助額) 体育協会 2,500千円 レク協会 150千円 小学校区運動推進委員会 1,920千円	各団体が開催した大会や教室等の回数	96	前年実績(例年並み)	4,570	4,570	体育協会2,500千円 レク協会 150千円 小学校区運動推進委員会1,920千円	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。			
		雨天のため中止	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	(補助額) 体育協会 1,000千円	参加者	800	より多くの方に参加してもらうことを目標とし、参加者の過去最高数(H22)	1,000	910	体育協会 1,000千円	A				
		スポーツの祭典を実施することで、	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	2,716人	利用者数	2,740	現状の事業規模を維持していくことを目標とし、過去5年間の利用者数平均	2,716	1,682	1,370	愛知医科大学 1,358千円		A		
② 社会体育事業補助事業(スポーツの祭典)	市内在住、在勤、在学の方	4月~7月~10月~1月~	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	(補助額) 体育協会 1,000千円	参加者	800	より多くの方に参加してもらうことを目標とし、参加者の過去最高数(H22)	1,000	1,000	体育協会 1,000千円	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。			
		雨天のため中止	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	2,716人	利用者数	2,740	現状の事業規模を維持していくことを目標とし、過去5年間の利用者数平均	2,716	1,682	1,370	愛知医科大学 1,358千円		A		
		スポーツの祭典を実施することで、	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	2,716人	利用者数	2,740	現状の事業規模を維持していくことを目標とし、過去5年間の利用者数平均	2,716	1,682	1,370	愛知医科大学 1,358千円		A		
③ 社会体育事業補助事業(愛知医科大学プール開放事業)	市内在住で高校生以上の方	4月~7月~10月~1月~	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	(補助額) 体育協会 1,000千円	参加者	800	より多くの方に参加してもらうことを目標とし、参加者の過去最高数(H22)	1,000	1,000	体育協会 1,000千円	A	補助金を交付することにより市内の社会教育団体を活性化させた。			
		雨天のため中止	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	2,716人	利用者数	2,740	現状の事業規模を維持していくことを目標とし、過去5年間の利用者数平均	2,716	1,682	1,370	愛知医科大学 1,358千円		A		
		愛知医科大学プール開放事業として、医大の運動療育センタープールを利用した場合、1人1回500円助成することで、	運動を通じて、健康増進と体のリフレッシュを図る。	2,716人	利用者数	2,740	現状の事業規模を維持していくことを目標とし、過去5年間の利用者数平均	2,716	1,682	1,370	愛知医科大学 1,358千円		A		
④		4月~7月~10月~1月~													
		雨天のため中止													

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	58	事業の名称	学校体育施設貸出事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	学校のスポーツ施設の有効利用を図る。 小学校の運動場、小中学校の体育館を開放し、市民にスポーツを行う場を提供する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	東郷町、豊明市																		
	事業期間	事業開始年度	昭和36年度	終了(予定)年度		-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住、在勤、在学で構成されている登録チーム(最低10人以上)				うち	一般財源	2,698	1,848	2,754	1,954	2,978													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	小中学校のスポーツ施設の有効活用					国費・県費																		
						地方債																		
						その他																		
					受益者負担額	823	692	903	712	757														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価									
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~																			
①	学校体育施設貸出事業	登録チーム					小中学校の指定されたスポーツ施設を市民に開放することで、	小中学校のスポーツ施設の有効活用	年間の使用件数 1,798件	使用件数/開放可能件数	%	68	76	85	2,698	1,848	2,754	1,954	2,978	<table border="1"> <tr><td>B</td></tr> <tr><td>維持</td></tr> <tr><td>維持</td></tr> </table>	B	維持	維持	使用率を向上させる
B																								
維持																								
維持																								
②																								
③																								
④																								

事務事業	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	①	学校体育施設貸出事業		できるだけ、開放枠を拡大できるよう調整を図ること。	

長久手市行政評価票

事業番号	59	事業の名称	平成こども塾事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	生涯学習課

事業の概要	平成こども塾事業推進のため次の事業を行う。 ・地域の環境や福祉についての学習活動 ・先の学習活動を通じた地域住民との交流 ・学校連携活動 ・その他平成こども塾の設置目的を達成するために必要な事業				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	周辺市町村での学校連携の実施や原体験教育活動ならびに子どもを主体として一年間を通じた食と農に関する取り組みを実践することについては他に例を聞かない。 全国的に見て多種多様な年間200回前後のプログラムを総合的に一つの施設で行っている例は聞かないが、個別に見れば類似事業はある。																		
	事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。				総事業費	うち	一般財源	3,484	3,429	3,484	3,509	4,030												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然・文化・環境・農業等に関わる活動に参加してもらい健全な心と身体を培う。					国費・県費	170	170	170	170	170													
						地方債																		
						その他																		
						受益者負担額	90	103	125	128	187													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				H26予算		
① 学校連携事業	主に長久手市内の6小学校の小学生(1人の児童あたり6年間に3回実施予定)	←————→ 小学校の授業時間を使い、年間を通じて57回計画することで				全員が体験しながら学んでもらい、健全な心と身体を培う。	63回実施、1,921人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	-	%	おおむね参加者の満足が得られる(満足度85%)	1,160	1,210	1,220	1,230	平成こども塾講師報酬金 1,210	A	現行どおり実施していく。
② 平成こども塾プログラム事業	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←————→ 年間を通じて8回計画することで				プログラム参加者に満足してもらう。	8回実施、215人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	93	%	おおむね参加者の満足が得られる(満足度85%)	240	135	180	195	こども塾自主プログラム 195	A	現行どおり実施していく。
③ 専門プログラム事業(日曜日特別プログラム委託、土曜日特別プログラム委託、ネイチャーゲームプログラム委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←————→ 年間を通じて18回計画することで				プログラム参加者に満足してもらう。	18回実施、705人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	99	%	おおむね参加者の満足が得られる(満足度85%)	845	845	941	941	日曜日特別プログラム委託 595、土曜日特別プログラム委託 250、ネイチャーゲーム事業委託 96	A	現行どおり実施していく。
④ サポーター事業(平成こども塾サポート隊委託)	長久手市民を主体とする、小中学生とその保護者。	←————→ 年間を通じて98回計画することで				プログラム参加者に満足してもらう。	110回実施、2,270人参加。	参加者に対する満足度。(プログラム終了後にアンケートを実施)	95	%	おおむね参加者の満足が得られる(満足度85%)	1,239	1,239	1,143	1,143	平成こども塾サポート隊委託 1,143	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	60	事業の名称	施設利用業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	地域文化の発展に寄与し、市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とし、住民の福祉を増進するため、文化の家の施設(ホール・アートリビング)の貸し館業務を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町の類似施設は、自主事業の実施が少なく貸し館業務を主体としているところが多い。また、指定管理者による運営施設が多い。																
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—															
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。																		
総事業費																			
総事業費 (単位:千円)		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																			
A	現行どおり実施																		
B	事業の改善																		
C	他事業と統合																		
D	運営主体の見直し																		
E	事業の廃止の検討																		
うち		一般財源	204,741	200,179	208,696	209,151													
		国費・県費																	
		地方債																	
		その他																	
受益者負担額			19,560	19,671	20,088	22,228	19,680												

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算		H25決算	
① 施設貸し館事業 (ホール)	市内外の住民に	 市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。施設予約システムにより利用状況を管理することで				H25年度開館日 248日	施設の稼働率	80.1	%	前年実績	204,741	200,179	需用費70,015 委託費135,208	B	実績向上につながる手段を検討する。	
							79.4			208,696	209,151	維持				
							80			206,551		維持				
② 施設貸し館事業 (アートリビング)	市内外の住民に	 市民が集う文化創造活動や情報・交流活動など多岐にわたる文化活動の拠点とする。施設予約システムにより利用状況を管理することで				H25年度開館日 299日	施設の稼働率	79.9	%	前年実績	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	B	実績向上につながる手段を検討する。	
							80.2			※上記に含む	※上記に含む	維持				
							80			※上記に含む		維持				
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 施設貸し館事業 (ホール)			H26にホームページをリニューアルし、施設の空き状況をネット上で見やすく改良する。	
② 施設貸し館事業 (アートリビング)		同上			

長久手市行政評価票

事業番号	61	事業の名称	チケット販売業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	文化の家の自主事業や提携事業等における入場料収入の確保と事業PRを行うため入場料のチケット販売及び情報提供を行う	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町は指定管理者による運営が多く、チケット購入についてインターネット予約やクレジット決済を実施しているところも多い。	
事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度	—
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民			
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自主事業等の情報を広く発信し、チケット購入の利便性を高め事業PRを行う。			
総事業費				
総事業費 (単位:千円)				
うち				
一般財源				
国費・県費				
地方債				
その他				
受益者負担額				
H24予算				
H24決算				
H25予算				
H25決算				
H26予算				
H26決算				
評価の見方				
A 現行どおり実施				
B 事業の改善				
C 他事業と統合				
D 運営主体の見直し				
E 事業の廃止の検討				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
													H25予算	H25決算		事業規模 事業費		
① チケット販売業務	市内外の住民					自主事業等の情報を広く発信し、チケット購入の利便性を高め、事業PRを行う。	自主事業19公演	チケット売上率	73	%	前年実績(平成24年度)からの約5%増加	464	377	328	353	チケットぴあ販売手数料 353	B	さらなるチケット販売向上の方法を検討する。
②																		
③																		
④																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① チケット販売業務	ネット予約できる期間を延長し、チケット売り上げ向上を目指す。			

長久手市行政評価票

事業番号	62	事業の名称	住民情報サービス業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	市役所閉庁時における市民サービスのため、住民票及び印鑑登録証明の発行を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全市町で実施している。																		
事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				うち	一般財源																		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	閉庁時等の市内の住民の利便性を高める。					国費・県費																		
						地方債																		
						その他																		
						受益者負担額	251	249	215	277	247													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 住民票発行業務	市民	[Progress Bar]				閉庁時等の市民の利便性を高める	発行件数 743件のうち、閉庁日 発行396件	発行件数	607	件	前年実績並み(平成 24年度)	0	0	なし	A	現行どおり実施していく。			
		住民票・除票・記載事項証明 等を発行することで															743	0	0
																	500	0	0
② 印鑑登録証明発行 業務	市民	[Progress Bar]				閉庁時等の市民の利便性を高める	発行件数 598件のうち、閉庁日 発行401件	発行件数	642	件	前年実績並み(平成 24年度)	0	0	なし	A	現行どおり実施していく。			
		印鑑登録証明を発行すること で															598	0	0
																	500	0	0
③ 地番変更証明発行 業務	市民	[Progress Bar]				閉庁時等の市民の利便性を高める	発行件数 168件のうち、閉庁日 発行85件	発行件数	257	件	前年実績並み(平成 24年度)	0	0	なし	A	現行どおり実施していく。			
		地番変更証明を発行すること で															168	0	0
																	500	0	0
④		[Progress Bar]																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	63	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。						
	事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民				一般財源	55,733		51,021	50,710	47,365	46,744	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。				国費・県費	36,026		28,857	34,252	26,670	30,286	
					地方債					551		
					その他	19,707	22,164	16,458	20,144	16,458		
					受益者負担額	15,260	20,784	16,458	18,144	16,458		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
①	ホール公演事業	市内外の住民に	年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの公演を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	公演48事業開催	各事業の定員充足率	81	72	76.99	%	過去3年の平均定員充足率	48,929	44,054	43,906	39,505	39,940	事業公演委託 31,219 出演者報償費 2,382 チラシ印刷 1,897 公演撮影委託 1,263 看板作成委託 236 著作権使用料 235 ほか	B	公演事業については、文化マスタープランに沿った事業展開をしていきます。
②	企画展示事業	市内外の住民に	年間を通して、さまざまな企画・展示会を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	9事業開催 延参加者数 18,548人	各事業の延参加者数	20,565	18,548	17,563	人	過去3年の事業平均延参加者数	2,000	2,114	2,000	2,483	2,000	チラシ等印刷 1,236 審査員等報償費 574 掲示物管理委託 323 看板作成委託 74 ほか	A	企画展示事業については、アートフェスティバルなど実行委員会と連携しながら事業展開をしていきます。
③	アートスクール(講座)事業	市内外の住民に	年間を通して、短期講座から長期講座まであらゆるジャンルを開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	長期講座17回、短期講座35回開催	各事業(講座)の定員充足率	95	90	95.81	%	過去3年の平均定員充足率	3,304	2,200	3,304	2,371	3,304	講師報償費 2,386 事業公演委託 1,063 大道具借上料 88 ほか	A	講座内容は、毎年検討を行い、事業展開をしていきます。
④	アウトリーチ事業	市内外の住民に	年間を通して、いろいろな場に出向き催し物を開催することで	市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした	ガレリアコンサート・アートデリバリー等 44回開催	各事業の延参加者数	4,572	3,833	4,915	人	過去3年の事業平均延参加者数	1,000	1,634	1,000	1,309	1,000	事業公演委託 530 巡回指導委託 500 出演報償費 252 ほか	B	ガレリアコンサート・アートデリバリーなど事業内容を検討しながら、行っていきます。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①	ホール事業		
②	アウトリーチ事業	学校関係は、参加校増加を推進し、アウトリーチでは福祉分野への充実を図る。	H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	63	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため、年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの舞台公演や企画展、講座(アートスクール)、映像鑑賞会の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。													
	事業期間	事業開始年度	平成10年度		終了(予定)年度	—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民			一般財源	36,026	28,857		34,252	26,670	30,286	国費・県費	551						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。			地方債								その他	19,707		22,164	16,458	20,144	16,458
				受益者負担額	15,260	20,784		16,458	18,144	16,458								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		H25実績			H25目標値						H24予算	H24決算	H25予算	H25決算							
⑤ 映像鑑賞会事業	市内外の住民に	年間を通して光のホール等で映像の上映を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動を誘発し、市民文化及び地域文化を活性化するための基礎作りとした。	映像鑑賞会 12回開催	各事業の定員充足率	55	62	53.59	%	過去3年の平均定員充足率	500	170	758	495	600	フィルム借上料 405 チラシ印刷 88 著作権使用料 2	A 維持 維持	現行どおり実施していく。 住民企画の要素を取り入れていく。
⑥																					
⑦																					
⑧																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	64	事業の名称	住民参画交流会議「夢さがし★発見★実現★文化の家プロジェクト」	担当部署	部	課
					くらし文化部	文化の家

事業の概要	文化の家の運営を、市民と行政と一緒に学びながら、企画・運営の課題を確認したり、具体的な改善策を考え、文化施設の新しい市運営形成に取り組みシビックプライドの向上を目指す。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	なし																																							
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	—																																						
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民																																									
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民にとって敷居が高い施設と思われがちな文化の家が、より市民にとって身近であり開かれた施設となることを目指す。																																									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総事業費</td> <td>総事業費 (単位:千円)</td> <td>H24予算</td> <td>H24決算</td> <td>H25予算</td> <td>H25決算</td> <td>H26予算</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">うち</td> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	一般財源	—	—	0	0	0	国費・県費						地方債						その他						うち		受益者負担額				
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算																																			
	一般財源	—	—	0		0	0																																			
	国費・県費																																									
	地方債																																									
	その他																																									
うち		受益者負担額																																								
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">評価の見方</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>					評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討																										
評価の見方																																										
A	現行どおり実施																																									
B	事業の改善																																									
C	他事業と統合																																									
D	運営主体の見直し																																									
E	事業の廃止の検討																																									

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算	事業規模 事業費
① ワークショップ	市内外の住民に	●	●	●	●	市民に交流の場所を提供し、市民のニーズを把握し、より身近な施設とする	実施回数2回	ワークショップ参加者数	77	90	人	昨年度の講演会における実績+伸び率5%	—	—	0	0	B	ワークショップとワーキンググループの位置づけを明確にし、有意義なものになるよう検討する。 (H25年度 ワーキンググループ10回開催)
② アイデンカフェ	市内外の住民に	→				市民が企画した事業の実施	実績回数7回	企画事業数	1	1	本	初年度としての目標値	—	—	0	0	B	7回の会議を開催。一本の事業を実施した後に、主要スタッフの半数が脱退。11月をもって休止した。テーマの設定やある程度の知識や枠組みが必要。
③ モニター制度	市内外の住民に	→				自主事業等の公演を鑑賞・体験してもらい、意見等をもらうことで事業企画・運営に反映させる。		参加人数	4	10	人	初年度としての目標値	—	—	0	0	B	モニターの人数確保が少なく、いただいた意見をすくい取る場もなかった。モニター会議の設定が必要
④ 舞台見学会	市内外の住民に	●	●	●	●	舞台について、市民の理解を深めるために、舞台の機構や裏側を公開する舞台見学会を実施する。	実施回数3回	舞台見学会参加者数	208	294	人	前年実績+伸び率5%	—	—	0	0	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① ワークショップ			有意義な話し合いとなるように、テーマを決めてH26年度からは、ワーキンググループをメインとして運営していく。	
② アイデンカフェ		映像鑑賞会やガレリアコンサート特定事業に絞って「新しい住民参画事業」を提案する			
③ モニター制度		モニター会議などを行い、モニター結果や意見などを反映できるシステムを構築する			

長久手市行政評価票

事業番号	65	事業の名称	地域福祉計画策定事業	担当部署	部	課
					福祉部	福祉課

事業の概要	この計画は、地域住民の皆さんの意見を十分に反映させながら策定する計画であり、今後の地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものであります。従来のような行政から支援を必要としている人への一方向のサービスの提供という形ではなく、地域と行政などが連携したネットワークシステムを作ることが大切となります。地域内のネットワークづくりや住民同士の支援活動を広げ、住民自治の実現を目指し、福祉施策の総合的な推進に資することができるようにします。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	この地域福祉計画の策定をしている全国の市区町村の割合は、平成24年3月31日現在において58.9% (1,742自治体の内1026)となっています。その内、町村部では41.4% (932自治体の内386) ですが、市区部では79.0% (810自治体の内640) という策定状況です。																		
	事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度		平成26年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				総事業費	うち	一般財源	2,100	166	2,100	947	0												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	計画策定に市民が主体的に携わることで、地域の意見を反映することができるだけでなく、地域のネットワーク、計画推進の担い手ができ、地域福祉の向上につながる。					国費・県費	7,145	7,145	0	0	0	0												
						地方債	0	0	0	0	0	0												
					その他	0	0	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~												
① 庁内プロジェクト・チーム会議	市職員	[Progress bar: 4/1 to 10/31]				庁内プロジェクト・チーム会議5回、勉強会1回、ヒアリング2回	会議・策定部会の開催回数	8	回	月2回×10月	20	0	200	0	200	A	現行どおり実施していく。計画策定後の庁内連携、情報共有についても検討を行う。
② 地域福祉推進のための講演会	市内の住民、福祉事業従事者ほか	[Progress bar: 4/1 to 10/31]				講演会3回開催	講演会の参加者数	530	人	100人×3回	300	0	747	0	747	A	現行どおり実施していく。計画策定後の地域福祉推進のための事業として継続する。
③ 地域福祉勉強会	市内の住民に(小学校区毎)	[Progress bar: 4/1 to 10/31]				勉強会9回開催	勉強会の参加者数	144	人	30人×6小学校区×2回	360	0	0	0	0	A	現行どおり実施していく。地区社協設置に向けた地域の話し合い、ネットワークづくりの場として継続的に取り組む。
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	66	事業の名称	社会福祉団体補助事業	担当部署	部	課
					福祉部	福祉課

事業の概要	社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会は、地域に暮らす地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生活することのできる「福祉のまちづくり」の実現をめざしたさまざまな活動をおこなっています。補助金交付により、社会福祉の推進が進み、より一層事業が充実し、住民の福祉の向上が図られるようになります。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	どの市町村でも行っている。						
	事業期間	事業開始年度	社協/昭和60年度 民協/昭和62年度	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				一般財源	55,554		52,318	67,692	67,619	92,307	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	それぞれの地域で安心して暮らせる。				国費・県費	55,554		52,318	67,692	67,619	92,307	
					地方債							
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25実績	H25実績				H25実績
① 社会福祉協議会補助金	市内の住民に	通年				地域の困りごとの相談役は社会福祉協議会であることを知ってもらう	相談件数 122件	相談件数	133	件	さらなる周知が必要であると考え、前年度の10%程度の増加。	51,634	48,557	職員設置費 運営費 事業費	A	現行どおり実施していく。地区社協の設置等、より地域に密着した活動を実施し、地域福祉の推進を期するため職員設置費等を増額した。
		地域に出向き活動することで														
② 民生委員児童委員協議会補助金	市内の住民に	通年				地域の困りごとの相談役として、地域に根差した存在になってもらう	活動日数 5,747日	委員の述べ活動日数	5,080	日	より活発な活動が必要と考え、前年度の10%程度の増加。	3,920	3,761	会議費 費用弁償 事業費 負担金	A	現行どおり実施していく。
		相談業務を行うことで														
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	67	事業の名称	障害者相談支援事業	担当部署	部	課
					福祉部	福祉課

事業の概要	障害者総合支援法に基づき、福祉の家に相談支援センターを設置し相談を受け付けたり、障がい者の虐待防止を目的に24時間365日受付可能な障害者の相談事業を委託する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	日進市:3障害と児童を対象に「障害者相談支援センター」に指定管理を行っている。正規職員5名で指定管理料18,145千円 東郷町:知的・身体を社会福祉協議会が担当し4,826千円、精神を地域活動支援センター柏葉が担当 瀬戸市:平成25年度から基幹相談支援センターを実施予定。正規職員2名事務職員1名委託料13,500千円 尾張旭市:委託料3,000千円でひまわりに委託 豊明市:基幹相談センターとして社会福祉協議会に委託正規職員3名19,000千円臨時職員1名3,150千円							
	事業期間	事業開始年度	平成19年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	障がい者とその家族、支援者等			うち	一般財源	11,200		11,000	11,200	11,269	11,200	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	障がい者の相談を通じて適切なサービスの利用につなげる。				国費・県費					8,539	6,776	
					地方債					2,730	4,424	
				その他								
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 一般相談支援事業	障がい者とその家族、支援者	福祉の家に相談支援センターを設置することで				支援を必要とする障がい者が適切な支援を利用し、自己実現ができる。	毎週火曜日から日曜日まで実施	相談支援事業の利用人数	2,544	4,434	人	前年度実績と同程度の相談件数(100人未満切上げ) 2,600人	11,200	11,000	11,200	11,269	人件費 運営費	A 拡充 維持	相談件数が増加しており体制強化していく。
② 障害者虐待防止センター事業	障害者とその家族	24時間365日受付可能なオンコール体制を実施することで				虐待の防止及び虐待防止の啓発を図る。		虐待通報に対する48時間以内の対応件数	100	100	%	48時間以内対応件数/虐待通報件数	①に含む	①に含む	①に含む	①に含む	人件費 運営費	A 維持 維持	現行どおり実施していく。
③																			
④																			

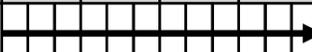
事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	68	事業の名称	長生学園	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	高齢者が住み慣れた自宅や地域で安心して暮らすことができ、生きがいを持って明るく元気に暮らせるよう、更に高齢者同士のつながりの強化、高齢者のいきがいきづくり及び外出の機会を拡充することを目的とし、高齢者を対象とした映画鑑賞会や防犯・防災などの講話を行う。また、県外への日帰り親睦旅行も行っている。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	実施なし
----------	---	------------------------------------	------

事業期間	事業開始年度	-年度	終了(予定)年度	-年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住のおおむね60歳以上の市民					うち	一般財源	1,891	1,528	1,198	1,189		1,316
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会を拡充させる。						国費・県費	0	0	0	0		0
							地方債	0	0	0	0		0
					その他	0	0	0	0	0			
					受益者負担額	0	0	0	0	0			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価				
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				H26予算	事業規模 事業費
① 長生学園事業	市内在住のおおむね60歳以上の市民	 外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会を拡充させる 文化の家及び福祉の家等でイベントを行うことで				23回	参加者数	773	人	1,891	1,528	1,198	1,189	1,316	委託料1,137、報償費52	A	昨年度の評価においてD判定であったため、運営主体の見直しを実施し、平成25年度から社会福祉法人に委託をした。来年度についても現行どおり実施するためA判定とする。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	69	事業の名称	敬老事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝うことを目的とし、敬老金(80歳、85歳、90歳、95歳は5,000円、数え99歳以上の方は10,000円)の贈呈を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市…敬老金10,000円:数え88歳、数え95歳、数え101以上歳 20,000円:数え100歳 東郷町…記念品(ひざかけ):満88歳、記念品(写真立て):満99歳(H25年実績。毎年2,000円前後の品) 尾張旭市…敬老金5,000円:数え88歳 敬老金10,000円:数え100歳 瀬戸市…敬老金5,000円:数え88歳 敬老金10,000円:数え100歳 豊明市…記念品(タオル):数え100歳以上(毎年1,500円程度の品)、敬老金5,000円:数え88歳、数え95~99歳 敬老金10,000円:数え100歳以上
----------	---	-----------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	-年度	終了(予定)年度	-年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の80歳、85歳、90歳、95歳、数え99歳以上の方					うち	一般財源	3,399	2,638	3,133	2,326		2,958
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	敬老金を贈呈し感謝の意を表すとともにその長寿を祝う。						国費・県費	0		0	0		0
							地方債	0		0	0		0
					その他		0		0	0	0		
						受益者負担額	0		0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明				
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算			H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 敬老の日大会事業	市内在住の80歳、85歳、90歳、95歳、数え99歳以上の方			●		感謝の意を表すとともにその長寿を祝う	配布人数 411人	配布人数	582	411	人	高齢者数増加から予想される数値	3,399	2,638	3,133	2,326	敬老金2,165、消耗品15、食糧費31、印刷製本115	A 維持 維持	H26年度については今年度と同様、事業は文化の家の自主事業で行い、式典はなしとする。 敬老金については長寿課で配布する。	
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	70	事業の名称	高齢者優待事業補助金	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコモ乗車券1枚(1,000円分)の交付。</li> <li>・年度の間に名都美術館に3回、トヨタ博物館に1回、無料で入館できる。</li> <li>・年度の間に10回、福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が無料で利用できる。</li> <li>・あつたかあどの発行(ござらっせ入浴料金の割引。福祉の家の福祉浴室、歩行浴室が200円で利用できる。Nバスが無料で乗車できる)</li> </ul>	他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	・リコモ乗車券交付…名古屋市敬老バスを実施							
事業期間	事業開始年度	20年度	終了(予定)年度	一年度						
事業の対象(だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民									
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	外出を促進し、つながりの強化、社会参加機会の拡充を目的とする。									
総事業費					総事業費(単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
					うち	一般財源	6,663	6,077	7,979	6,713
					国費・県費	0		0		0
					地方債	0		0		0
					その他	0		0		0
					受益者負担額	0		0		0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段(いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算	
① 高齢者外出促進事業	市内在住の満65歳以上の市民	 高齢者が外出の機会を増やすことで、社会的視野を広めるとともに、生きがいを得られる				3,519枚交付	発行枚数	3,417	3,519	枚	実績からの見込数	3,406	2,918	3,497	3,497	リコモカード購入3,497	A	現行どおり実施していく。事業費については、65歳以上の人口が増加しており、利用者数が増えているため、増加とした。
② 高齢者文化施設優待事業	市内在住の満65歳以上の市民	 文化施設優待カード(年度の間に名都美術館に3回、トヨタ博物館に1回、無料で入館できる)を配布することで				891枚交付	発行枚数	1,097	891	枚	実績からの見込数(一度発行すると6年間有効なため毎年度発行枚数は減少する)	406	512	450	591	文化施設優待事業入館料591	C	あつたかあどの統合を図る。65歳以上の人口が増加しており、利用者数が増えているため、事業費は増加とした。
③ 高齢者福祉浴・歩行浴優待事業	市内在住の満65歳以上の市民	 高齢者が温泉施設を利用することにより、高齢者の健康を増進すること及び楽しみを得て元気に暮らす				延人数4,993人	利用者数	5,016	4,993	人	実績からの見込数(※昨年度までは、成果指標を発行枚数としていたが、見直しを行い利用者人数とした)	62	17	66	0	-	A	平成25年度より、あつたかあどの提示と個人台帳による管理とし、来年度においても同様に実施する。
④ あつたかあど事業	市内在住の満65歳以上の市民	 外出を促進し、また、高齢者が温泉施設を利用することにより、高齢者の健康を増進すること及び楽しみを得て元気に暮らす				641枚交付	発行枚数	736	641	枚	実績からの見込数(一度発行すると5年間有効なため毎年度発行枚数は減少する)	2,789	2,630	3,966	2,625	ござらっせ入泉助成2,546、あつたかあど購入79	C	文化施設優待カードとの統合を図る。65歳以上人口の増加によりカードの購入枚数は増加すると見込んだ。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	71	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の自立支援事業…給食の宅配による栄養管理、安否確認を行う。</li> <li>・家具転倒防止事業…タンス、書棚等家具ひとつにつき器具2個を1組として設置する。</li> <li>・寝具洗濯乾燥事業…布団や毛布の洗濯乾燥し、直接利用者宅へ集配する。</li> <li>・ホームヘルパー派遣事業…調理、衣類の洗濯、住居等の掃除及び整理整頓、生活必需品の買物等を行う。</li> </ul>	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食の自立支援…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施</li> <li>・家具転倒防止事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし</li> <li>・寝具洗濯乾燥…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施</li> <li>・ホームヘルパー派遣事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、東郷町など同種事業実施</li> </ul>
----------	---	-----------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等				うち	一般財源	22,532	21,047	22,274	20,189	24,635													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等					国費・県費	0	0	0	0	0													
						地方債	0	0	0	0	0													
						その他	0	0	0	0														
						受益者負担額	5,308	5,321	5,652	5,282	5,961													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~												
① 食の自立支援事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯	調理等日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者等の健康の保持、食生活の改善、日常生活の助長を図るとともに、安否の確認を行う				登録利用者数133人	利用者数	129 月平均101 120	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	10,920 11,205 12,261	10,659 9,826	宅配給食15,116食分	B 拡充 増加	サービス内容の検討を行い、利用者数の向上を図る。		
② 家具転倒防止事業	・65歳以上の一人暮らしの者 ・75歳以上の者のみの世帯 ・身体障害者手帳2級以上の者 ・療育手帳B判定以上の者 ・精神障害者保健福祉手帳2級以上の者 ・要介護認定で要介護3以上の者	地震時の高齢者等宅において、家具等の転倒等による人的被害の発生を防止するため、市が家具等の転倒防止器具を取付けることで				利用者数6人	利用者数	7 6 45	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	338 271 140	64 47	防災器具取付 16組分、事前調査6件	B 拡充 維持	利用率数が伸びなかったため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。		
③ 寝具洗濯乾燥事業	・介護保険法第27条における要介護認定で要介護3以上の者又は認知症高齢者一人暮らし高齢者・重度身体障害者・後期高齢者世帯の世帯員	身体的な虚弱等の理由により、寝具を洗濯することが困難である人に対し、寝具洗濯乾燥サービスを行うことで				利用人数47人	利用者数	45 47 45	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	368 500 671	545 649	寝具洗濯乾燥649	B 拡充 増加	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。利用者数は毎年ほぼ同じくらいだが、石油の高騰や事業者の撤退により、年々クリーニングの単価が上がっているため事業費増加とした。		
④ ホームヘルパー派遣事業	・介護保険法第14条に規定する介護認定審査会において非該当と認定された者で、家族のみでは家族等を行うことが困難な者 ・緊急に家事援助が必要な者で介護保険を申請中の者	高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して生活を営むことができる				延人数 33人	利用者数	4 3 10	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	726 726 520	647 234 234	ホームヘルパー派遣	B 拡充 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 食の自立支援事業	給食宅配曜日の拡大(土日祝)を行う。		
② 家具転倒防止事業	各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
④ ホームヘルパー派遣事業	各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			

事業番号	71	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス事業…自宅からデイサービスセンターまで送迎し、日常動作訓練や趣味活動の提供を受け、身体的な機能の低下を防ぎ、生きがいのある生活を図る。</li> <li>・緊急通報システム事業…緊急時にボタンを押すだけで、通報センターから消防本部等に通報され、救助等を行う。</li> <li>・徘徊高齢者等家族支援事業…専用端末機を貸出し、徘徊時にその位置を検索し、早期発見及び保護を行う。</li> <li>・防犯対策事業…玄関前等にセンサーライトを取り付ける。</li> </ul>	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス事業…瀬戸市尾張旭市、日進市、豊明市など同種事業実施</li> <li>・緊急通報システム事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町で同種事業実施</li> <li>・徘徊高齢者家族支援事業…瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町など同種事業実施</li> <li>・防犯対策事業…近隣で同種事業を行っている市町村なし</li> </ul>																																					
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-																																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等																																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援と健康的な支援等																																							
総事業費																																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>総事業費 (単位:千円)</td> <td>H24予算</td> <td>H24決算</td> <td>H25予算</td> <td>H25決算</td> <td>H26予算</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>22,532</td> <td>21,047</td> <td>22,274</td> <td>20,189</td> <td>24,635</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td>5,308</td> <td>5,321</td> <td>5,652</td> <td>5,282</td> <td>5,961</td> </tr> </table>					総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	一般財源	22,532	21,047	22,274	20,189	24,635	国費・県費	0	0	0	0	0	地方債	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	受益者負担額	5,308	5,321	5,652	5,282	5,961
総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算																																			
一般財源	22,532	21,047	22,274	20,189	24,635																																			
国費・県費	0	0	0	0	0																																			
地方債	0	0	0	0	0																																			
その他	0	0	0	0	0																																			
受益者負担額	5,308	5,321	5,652	5,282	5,961																																			
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>					評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討																								
評価の見方																																								
A	現行どおり実施																																							
B	事業の改善																																							
C	他事業と統合																																							
D	運営主体の見直し																																							
E	事業の廃止の検討																																							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
⑤	デイサービス事業					生きがいのある生活と社会参加を促進し、高齢者福祉の増進を図る	利用者数 3人	延利用者数	3	1	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	875	1,177	977	デイサービス利用	B	利用者数が伸びなかったため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
⑥	緊急通報システム事業					日常生活上の不安を軽減し、円滑な救助及び援助を行い、もって福祉の増進を図る	利用者数 147人	利用者数	135	147	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	8,343	7,690	8,256	緊急通報システム委託料6,419 緊急通報システム保守料1,304	A	モバイル版を導入したことで、携帯電話のみの方でも利用いただけるようになり、利用者数が伸びた。また、今後センサー付き機器の導入も予定しているため、事業費は増加とした。	
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業					徘徊癖の見られる認知症の高齢者や知的障害者等を介護する家族及び保護者が安心して介護できる環境を整備する	利用人数 2人	利用者数	2	2	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	378	131	32	徘徊高齢者家族支援事業委託32	B	利用者数が少ないため、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
⑧	防犯対策事業					高齢者宅への侵入盗などによる犯罪被害を防止するため、高齢者の申請に基づき、市が防犯器具を取り付けることにより、高齢者が安心して生活できるまちづくりを推進する	利用者数 11人	利用者数	10	11	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	584	134	149	高齢者防犯対策委託149	B	市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数のさらなる向上を図る。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	⑤	デイサービス事業		
⑦	徘徊高齢者等家族支援事業	各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		
⑧	防犯対策事業	各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		

H26以降新規に実施する事務事業

事業番号	71	事業の名称	高齢者福祉事業	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	高齢者に対し、専門的な知識・技術を要しない軽度な日常生活支援等をワンコインで行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣で同種事業を行っている市町村なし
----------	---	------------------------------------	--------------------

事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の65歳以上の市民等						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援と日常的な支援等						
総事業費							
総事業費 (単位:千円)		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
うち		一般財源	22,532	21,047	22,274	20,189	24,635
		国費・県費	0		0	0	0
		地方債	0		0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
受益者負担額		5,308	5,321	5,652	5,282	5,961	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H25目標値
⑨	ワンコインサービス事業 <small>・満65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・満75歳以上のみの世帯</small>					住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整え、また、高齢者に対する経済的な負担の軽減を図る	延利用者人数62人	利用者数	-	62	人	実績による目標値	-	-	101	19	ワンコインサービス事業補助金19	B	事業が使いやすくなるようサービス内容や時間等を検討する。また、市民に対する周知方法の検討を行い、利用者数の向上を図る。	
⑩																				
⑪																				
⑫																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	⑨	ワンコインサービス事業		サービス内容の拡大や方法を検討する。各種郵送物にチラシを同封、及び地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。	

事業番号	72	事業の名称	高齢者日常生活補助金	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙おむつ助成…紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋等の購入費用を、年度上限額5万円までを助成する。</li> <li>住宅改修事業…手すりの取り付け等住宅の改修費用を補助する。</li> <li>家族介護慰労金支給事業…介護者に対し、10万円の慰労金を支給することで精神的、経済的負担の軽減を図る。</li> <li>訪問理美容サービス事業…在宅理美容サービス費用を助成する。</li> </ul>	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙おむつ助成…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、東郷町で同種事業実施</li> <li>住宅改修事業…豊明市で同種事業実施</li> <li>家族介護慰労金支給事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施</li> <li>訪問理美容サービス事業…尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市、東郷町で同種事業実施</li> </ul>																				
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-																			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等			総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援及び健康的な支援等			うち	一般財源	12,674	5,735	7,063	6,464	6,979													
					国費・県費	0	0	0	0	0													
					地方債	0	0	0	0	0													
					その他	0	0	0	0	0													
					受益者負担額	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H25目標値		H25目標値	H25目標値				H25目標値	H25目標値	H25目標値	H25目標値	H25目標値	H25目標値	H25目標値	事業規模 事業費	
① 紙おむつ助成	介護保険法で要介護2から5と認定され、本人所得金額200万円未満の者であり、介護保険施設に入所していない者	→				介護者と要介護者の健康的な生活を支援する。	事業利用申請者数 142人	助成金支給者数	120 128 155	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	4,708 4,089 4,450	3,479 4,323	助成支給額4,323	B 拡充 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。	
② 住宅改修事業	65歳以上で補助事業を実施しようとする住宅に居住し、申請時に市民税非課税世帯である者	→				対象者に安心、快適な生活を送れるようにする	助成金支給件数 7件	助成金支給件数	8 7 30	件	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	7,500 2,500 2,100	1,995 1,885	住宅改修費 1,885	B 拡充 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。	
③ 家族介護慰労金支給事業	介護保険法第19条に規定する認定を受けた被保険者の介護を家族介護者が担当する家庭において行っており、世帯構成員の中に在宅で介護している期間において要介護4又は要介護5の認定を受けた被保険者がいること、且つ、世帯構成員のうち世帯生活中心者が申請時において市民税非課税者であり、要介護認定を受けた被保険者が、介護期間において法第40条に規定する介護給付を1年間受給していること。	→				介護者の精神的かつ経済的負担の軽減を図る	利用者数 0人	利用者数	0 0 1	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	200 100 100	0 0		B 拡充 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。	
④ 訪問理美容サービス事業	介護保険で要介護3~5に認定された寝たきり状態、もしくは認知症高齢者の人・身体障害者手帳1級(内部疾患障がい者を除く)の人	→				ねたきり状態の高齢者及び重度身体障害者(児)の保健衛生を向上させる	利用者数 19人	利用者数	26 19 23	人	長久手市第6次高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画による目標値	180 288 288	261 216	高齢者訪問理美容サービス支給費	B 拡充 維持	市民に対する周知方法の検討を行い、利用率の向上を図る。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 紙おむつ助成	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。		
② 住宅改修事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
③ 家族介護慰労金支給事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			
④ 訪問理美容サービス事業	各種郵送物にチラシを同封、及び各地域包括等の団体へ情報を提供し、高齢者に対する周知を図る。			

事業番号	72	事業の名称	高齢者日常生活補助金	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	電磁調理器を1回に限り助成する。(所得制限あり)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市、瀬戸市、豊明市、日進市で同種事業実施
----------	--------------------------	------------------------------------	-------------------------

事業期間	事業開始年度	平成12年度	終了(予定)年度	一年度			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住の満65歳以上の市民等						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	高齢者等への経済的な支援及び健康的な支援等						
総事業費							
総事業費 (単位:千円)		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
うち		一般財源	12,674	5,735	7,063	6,424	6,979
		国費・県費	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		受益者負担額	0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
⑤	日常生活用具給付 事業	・満65歳以上の 寝たきりの人 ・満65歳以上の ひとり暮らしの 人 ・満75歳以上の みの世帯	→	電磁調理器を1回に限り助成 することで(所得制限あり)	日常生活の安全と利便 の向上を図る。	利用者	利用者数	0	0	人	前々年度実績	86	0	86	0		B	市民に対する周知方法の検討を行い、 利用率の向上を図る。	
⑥																			
⑦																			
⑧																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	①	日常生活用具給付 事業		
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	73	事業の名称	地域支援事業(介護予防事業)	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	市内在住の65歳以上の高齢者が、要支援・要介護状態になることなく元気でいきいきした生活を送ることができるよう、介護保険法に基づき運動、口腔、栄養、閉じこもり・うつ、認知の5項目に関連した介護予防事業を実施している。 平成25年度から社会福祉法人長久手市社会福祉協議会、愛知たいようの杜に委託。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町においても、介護保険法に基づき介護予防事業を実施している。				
事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	-			
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内在住で要介護認定を受けていない65歳以上の人						
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	要支援・要介護状態になることを防ぐ。						
総事業費							
		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
		うち	13,503	11,921	16,078	15,227	18,699
		一般財源	8,704	7,117	10,311	9,458	11,979
		国費・県費	4,799	4,804	5,767	5,769	6,720
		地方債					
		その他					
		受益者負担額	692	736	693	728	773

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
								H25目標値	H25目標値	H25予算	H25決算		事業規模 事業費	
① 介護予防事業	市内在住の65歳以上の 人	年間通し、福祉の家の各部屋 を利用して、運動や口腔、栄 養、うつ・閉じこもり、認知の5項 目に着目した教室を実施する ことで	要支援・要介護状態 になることを防ぐ	教室開催回 数300回 教室参加者 実人数257 人	教室参加率 (教室参加者/教 室参加者定員 数)	79.2 78.5 100.0	%	どれぐらいの65歳以 上の人、要支援・ 要介護状態になら ないように、介護予防に 取り組んでいるか確 認する		13,503 16,078 18,699	11,921 15,227	一次予防事業:6,858 二次予防事業:8,369	A 拡充 増加	昨年度の評価においてD判定であった ため、運営主体の見直しを実施し、平 成25年度から社会福祉法人に委託をし た。計画どおり実施できているため、A 判定とする。
②														
③														
④														

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要
	① 介護予防事業			平成25年度から改善し、社会福祉法人社会福祉協議会、社会福祉法人愛知たいようの杜に委託をした。平成26年度についても引き続き、委託する。	

事業番号	74	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。
----------	--	------------------------------------	-----------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
うち		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0
国費・県費		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
受益者負担額		3910	3758	3957	3609	3757

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 貸室(工房1)	市民	[手段の進捗表]				延利用人数 1,537人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	40.5	47.7	45.0	0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。	
		貸室を利用してもらうことで																		福祉の向上を図る
		[手段の進捗表]																		
② 貸室(工房2)	市民	[手段の進捗表]				延利用人数 120人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	12.7	5.6	10.0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率低下が見られるため、向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで																	福祉の向上を図る	
		[手段の進捗表]																		
③ 貸室(ITルーム)	市民	[手段の進捗表]				延利用人数 775人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	15.4	19.3	15.0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで																	福祉の向上を図る	
		[手段の進捗表]																		
④ 会議室	市民	[手段の進捗表]				延利用人数 3,333人	開館日に対する 利用日数の割合	%	開館以来の利用率推 移を参考として	62.7	66.3	60.0	0	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。		
		貸室を利用してもらうことで																	福祉の向上を図る	
		[手段の進捗表]																		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	74	事業の名称	施設の利用予約及びその管理業務	担当部署	部	課
					福祉部	長寿課

事業の目的・概要	福祉の家で実施している、住民を対象としたサービス業務(貸室、福祉浴室・歩行浴室、窓口での受付案内等)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	施設の運営管理業務は、全国の公共施設において一般的に行われている。
----------	--	------------------------------------	-----------------------------------

事業期間	事業開始年度	平成14年度	終了(予定)年度	-								
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民	総事業費			総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る。				うち	一般財源	0	0	0	0	0	0
					国費・県費	0	0	0	0	0	0	
					地方債	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0				
		受益者負担額	3910	3758	3957	3609	3757					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H25予算	H25決算		事業規模 事業費	
⑤ 集会室	市民	4月~7月~10月~1月~	福祉の向上を図る	延利用人数 13,930人	開館日に対する 利用日数の割合	87.3	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。 利用率を維持するための取組を継続する。
		貸室を利用してもらうことで			91.5		0	0				維持	
⑥ 機能回復訓練室	市民	4月~7月~10月~1月~	福祉の向上を図る	延利用人数 7,407人	開館日に対する 利用日数の割合	81.4	%	開館以来の利用率推 移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。 利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。
		貸室を利用してもらうことで			85.3		0	0				維持	
⑦ 歩行浴室	市民	4月~7月~10月~1月~	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る	延利用人数 9,389人	年間の延利用者 数	10,282	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。 利用率向上が見られるが、さらなる向上のための取組を行う。
		歩行浴室を利用してもらうこと で			9,389		0	0				拡充 維持	
⑧ 福祉浴室	市民	4月~7月~10月~1月~	福祉の向上並びに健康の維持及び増進を図る	延利用人数 7,318人	年間の延利用者 数	7,269	人	開館以来の延利用者 数推移を参考として	0	0	-	D	指定管理者制度の導入や業務委託などの運営主体の見直しを検討する。 利用人数の向上が見られるが、さらなる向上のため取組を行う。
		福祉浴室を利用してもらうこと で			7,318		0	0				維持 維持	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	75	事業の名称	交通児童遊園管理運営事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、児童の交通安全の知識及び能力の開発に寄与することを目的とする。 施設内の遊具等による児童への健全な遊び場の提供と、交通トレーニングコースを使用した正しい交通安全の知識を学び自己防衛能力を備える。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載) 瀬戸市交通児童遊園 「児童館」「交通コース」「あそびの広場」を設置、自転車の練習や交通安全教室を実施 春日井市交通児童遊園 「児童館」「交通トレーニングコース」を設置、子どもの健全育成と交通ルールを学ぶための施設																																									
	事業期間	事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度		—																																								
事業の対象 (だれ、何に対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童				総事業費 (単位:千円)	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討																																								
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。																																													
<table border="1"> <tr> <td>総事業費</td> <td>H24予算</td> <td>H24決算</td> <td>H25予算</td> <td>H25決算</td> <td>H26予算</td> </tr> <tr> <td>うち</td> <td>3,081</td> <td>13,695</td> <td>2,939</td> <td>2,787</td> <td>3,853</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>3,081</td> <td>3,695</td> <td>2,939</td> <td>2,787</td> <td>3,853</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	うち	3,081	13,695	2,939	2,787	3,853	一般財源	3,081	3,695	2,939	2,787	3,853	国費・県費						地方債						その他						受益者負担額			
総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算																																									
うち	3,081	13,695	2,939	2,787	3,853																																									
一般財源	3,081	3,695	2,939	2,787	3,853																																									
国費・県費																																														
地方債																																														
その他																																														
受益者負担額																																														

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価		
		4月~	7月~	10月~	1月~															事業規模	事業費
① 交通児童遊園運営事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	→	→	→	→	児童の交通安全の知識の向上及び自転車の練習など能力の開発ができる環境をつくる。	施設利用者数 15,627人	施設利用者数	15,665	15,627	16,000	人	これまでの推移から予想される数値	1,700	1,630	1,700	1,671	1,902	臨時職員賃金1,671	B	交通安全の啓発等、安心安全課と連携した事業を検討する必要がある。
② 交通児童遊園管理事業	交通児童遊園	→	→	→	→	施設を安全かつ快適に利用してもらう。	自転車点検年1回、遊具非破壊検査年2回、保守点検年10回等	施設維持管理上の重大な不具合件数	0	0	0	件	重大な不具合の発生がないことを目標。	1,381	2,065	1,239	1,116	1,951	除草・剪定等委託441、光熱水費179、消耗品費98、軒樋取替工事83、自転車修理代82	A	現行どおり実施していく。
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 交通児童遊園運営事業	交通安全の啓発などに有効活用するため、安心安全課と連携し事業内容を検討していく必要がある。			

長久手市行政評価票

事業番号	76	事業の名称	ファミリーサポートセンター事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	子育ての援助を受けたい人が、仕事と育児を両立したり、子どもを預けてリフレッシュすることで、安心して子育てができる環境をつくることを目的とする。 地域において育児の援助を行いたい者(援助会員)と援助を受けたい者(依頼会員)の会員登録を行い、保育所への送迎など相互援助活動の橋渡しを行う。また、援助会員向けのフォローアップ研修や会員同士の交流を図り、活動のサポートを行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県54市町村のうち、44市町村で設置(直営35か所 委託7か所 補助2か所) 近隣市町状況 ・瀬戸市 直営 ・尾張旭市 直営 ・日進市 委託 ・豊明市 直営 ・東郷町 直営						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	平成17年度		終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	小学生までの子どもを育てている家庭の保護者			総事業費	うち	一般財源	2,080	1,663	1,958	1,492	1,784
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	仕事と育児を両立し、安心して子育てができる環境をつくる					国費・県費	2,025	2,044	1,939	1,490	2,004
						地方債					
						その他					
						受益者負担額					

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		手段							H25目標値			H26予算							
①	ファミリーサポートセンター事業	子育ての援助を受けたい人					仕事と育児を両立し、安心して子育てができる	依頼件数 2,003件 活動件数 2,003件	活動件数/依頼件数	99.9 100.0 100.0	%	事業の目的を達成するためには、依頼件数を援助活動につなげることが必要のため	4,105 3,897 3,788	3,707 2,982	3,897 2,982	アドバイザー賃金 2,385、託児報償金 43、印刷製本費24、 損害保険料267	B 維持 維持	目標は達成しているが、依頼件数が平成24年度より、約300人減少しているため、依頼件数が増加するよう事業の改善を実施する。	
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	①	ファミリーサポートセンター事業		依頼会員、援助会員に対し、事業の満足度を調査する。	

長久手市行政評価票

事業番号	77	事業の名称	子育て支援センター事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	子育て支援センター設置状況 ・瀬戸市1か所設置(直営) ・尾張旭市5か所設置(直営2か所、委託3か所) ・日進市3か所設置(直営1か所、委託1か所、指定管理1か所)								
			総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算			
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度								
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の子ども及び子育て中の保護者			総事業費	うち	一般財源	1,551	1,369	1,324	1,228	1,346
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子ども達が健やかに育ち、幸せになれる。また、子育て中の保護者が、虐待をしない。				国費・県費	1,085	1,200	1,075	1,136	1,493	
					地方債						
					その他						
				受益者負担額							

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)				評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H25目標値
①	子育て支援センター	市内の子ども及び子育て中の保護者	子育て支援センターを運営し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進をすることで				入館者数 21,825人	市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	20,611	21,825	人	前年度実績からの増加	711	669	484	464	904	消耗品284、損害保険料91、清掃委託80	A	現行どおり実施していく。目標値は達成していないが、平成24年度より入館者数が増加したため、現行を維持し、目標達成を目指す。
②	育児講座	市内の子ども及び子育て中の保護者	支援センター等で遊びの講座や講習会等を実施することで				(参加者数) リズム遊び2,133人 おもちゃ作り238人 育児講座106人 親子で遊ぼう375人 赤ちゃんと遊ぼう144人	事業の参加人数	2,650	2,996	人	事業の定員数等からの数値	140	115	130	115	150	講座講師報償費90、託児報償費25	A	現行どおり実施していく。現行どおり、講座や講習会を実施することで、事業目標を達成する。
③	家庭児童相談室	市内の子ども及び子育て中の保護者	電話・来所・家庭訪問による相談を受けることで				相談延件数 (DV相談含む) 255人	相談件数	139	255	人	家庭児童相談室の新設に伴う相談件数の増加	1,785	1,785	1,785	1,785	1,785	嘱託員報酬1,785	A	現行どおり実施していく。
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	



長久手市行政評価票

事業番号	79	事業の名称	放課後児童クラブ事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	放課後に、保護者が就労等により、留守になる家庭の児童を保護者に替わって預かる。 児童クラブ6箇所(長久手南、下山、長久手、上郷、市が洞、西) 学童保育所3箇所(長久手、長久手長南、長久手北)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市 児童クラブ(市営9箇所)、学童クラブ(民営6箇所) 日進市 児童クラブ(市営5箇所)、学童保育所(民営9箇所) 瀬戸市 児童クラブ(民営12箇所)、せとっこモアスクール(8箇所)							
	事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	児童クラブ 市内に住所を有する小学校1年生から3年生までの児童 学童保育所 市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童				うち	一般財源		19,785	17,429	26,032	19,320	50,080	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。					国費・県費		20,999	21,324	21,703	23,128		
						地方債							
					その他								
					受益者負担額	10,133	9,664	12,164	12,699	12,164			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		H24実績 H25実績 H25目標値							単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25実績	H25予算				H25決算
① 児童クラブ運営事業	市内に住所を有する小学校1年生から3年生までの児童	児童クラブを運営し、児童を受け入れること、	入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。	入所児童数205人、待機12人	入所児童数/申込者数	97.0 94.5 100	%	待機児童ゼロが目標	23,020 29,403 31,206	21,258 25,508	嘱託員報酬12,552、 臨時職員賃金9,425、 賄材料費1,283	B 拡充 維持	入所希望者の増加により、平成25年度から南、下山、長久手、市が洞の4児童クラブの定員を増加し対応したが、平成25年4月1日現在12人が待機となった。(待機児童は、11月にすべて解消した。)			
② 児童クラブ事業委託(学童保育所)	市内に住所を有する小学校1年生から6年生までの児童	児童クラブ(学童保育所)を運営し、児童を受け入れること、	入所要件を満たす児童をすべて受け入れる。	入所児童数156人、待機0人	入所児童数/申込者数	100.0 100.0 100	%	待機児童ゼロが目標	17,764 18,332 18,874	17,495 16,940	児童クラブ事業委託16,940	A 維持 維持	現行どおり実施していく。			
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 児童クラブ運営事業	待機児童がゼロになるよう、引き続き待機児童対策を検討していく。		児童クラブ運営事業

長久手市行政評価票

事業番号	80	事業の名称	児童館運営事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、異年齢児、地域との交流の場とするを目的とする。 青少年児童センター、上郷児童館、下山児童館、長久手西児童館、長久手南児童館を運営する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	尾張旭市 9箇所(2箇所指定管理) 児童館こどもまつりは、みらい子育てネットの協力により各児童館で実施 日進市 6箇所(すべて複合施設) 東郷町 6箇所(1箇所指定管理)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
	評価の見方																						
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業期間	事業開始年度	昭和49年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算												
事業の対象 (だれ、何に対して)	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童					うち	一般財源	41,994	40,322	42,350	41,128	56,111											
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	児童の発達を増進し、地域住民、自治会、子ども会などと連携した活動を進め、活性化を図る。						国費・県費																
							地方債																
					その他																		
						受益者負担額																	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月~ 7月~ 10月~ 1月~				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠				H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明						
		H25目標値	件	このままの推移から 予想される数値	H25予算				H25決算	事業規模 事業費									
① 児童館施設管理事業	児童館	[Progress bar]				施設を安全かつ快適に利用してもらう。	床面・トイレ清掃年12回等、西・上郷児童館除草年2回、西・南・青少年児童センター自動扉保守	施設維持管理上の重大な不具合件数	0	0	0	0	40,514	39,392	40,945	40,461	54,989	B	当面は、現行どおり実施していく。地域住民、自治会、子ども会と連携を深め、地域に根ざした活動を進める。新設児童館の指定管理を検証し、民営化の検討を行う。
② 児童館活動事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	[Progress bar]				児童館が地域の子育ての拠点となり、発達の増進を図る。	料理教室年9回、人形劇公演154人参加、お楽しみ遠足35人参加	入館者数	66,635	69,374	68,000	410	174	569	235	453	B	当面は、現行どおり実施していく。地域住民、自治会、子ども会と連携を深め、地域に根ざした活動を進める。新設児童館の指定管理を検証し、民営化の検討を行う。	
③ 児童館まつり実施事業	乳幼児及びその保護者、小学生を中心とした児童	[Progress bar]				子どものボランティアの育成・援助を図る。	5回開催 こどもスタッフ数57人	児童館まつり参加者数	1,577	1,493	1,500	1,070	756	836	431	669	A	現行どおり実施していく。	
④		[Progress bar]																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 児童館施設管理事業	児童館が地域の子育て拠点となり、地域に根ざした活動が行えるような体制作りを進めていく。自治会や子ども会と児童館活動の連携を深め活性化していく。			
② 児童館活動事業	児童館が地域の子育て拠点となり、地域に根ざした活動が行えるような体制作りを進めていく。自治会や子ども会と児童館活動の連携を深め活性化していく。				

長久手市行政評価票

事業番号	81	事業の名称	出産祝金支給事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	子どもの誕生を祝うとともに子育てを支援することを目的とする。 ・第3子以降の出産に対し、1子あたり20万円の祝い金を支給する事業 ・平成26年1月1日生まれ以降は、10万円に改正				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	阿久比町 第3子以降に5万円を支給 南知多町、豊根村 出生児1人につき10万円を支給 飛島村 1人につき10万円を支給 設楽町 第2子に5万円、第3子に10万円、第4子以降に20万円を支給  小牧市 第3子以降に20万円を支給(平成26年3月31日で廃止) 愛西市 第3子以降に15万円を支給(平成27年3月31日で廃止予定)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
	評価の見方																							
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業期間	事業開始年度	平成19年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算													
事業の対象 (だれ、何に対して)	第3子以降の児童を出生した保護者					うち	一般財源	10,000	16,000	10,000	15,300	9,000												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。						国費・県費																	
							地方債																	
					その他																			
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算				H25決算	H26予算	
① 出産祝金支給事業	第3子以降の児童を出生した保護者					子どもの誕生を祝い、子育てを支援する。	支給対象児童数80人	支給対象児童数	80	80	人	これまでの推移から予想される数値(12月末まで45人、1月以降10人)	10,000	16,000	10,000	15,300	9,000	15,300	B	外部評価の意見を反映し、平成26年1月1日以降生まれから、支給額を減額して継続している。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 出産祝金支給事業	外部評価の意見を反映し、事業の実施目的の改正と平成26年1月1日以降生まれの子どもから支給額を減額して継続中。支給については引き続き検討していく。			

長久手市行政評価票

事業番号	82	事業の名称	保育園入所等事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童を保護者に代わりに保育する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	①保育所数及び運営形態別数 ②待機児童数(平成24年4月1日時点) ③家庭保育室制度実施状況											
			瀬戸市……①公営14園、公営以外9園、合計23園。 ②待機児童7名 ③家庭保育室制度は未実施。 尾張旭市……①公営9園、公営以外6園、合計15園。 ②待機児童0名 ③家庭保育室制度は未実施。 日進市……①公営9園、公営以外2園、合計11園。 ②待機児童1名 ③家庭保育室制度は未実施。 東郷町……①公営8園、公営以外1園、合計9園。 ②待機児童11名 ③家庭保育室制度は未実施。											
事業期間	事業開始年度	昭和43年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方		
事業の対象 (だれ、何に対して)	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童					うち	一般財源	1,047,306	979,280	1,247,263	1,216,700		1,144,530	A 現行どおり実施
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。					国費・県費	6,189	9,323	34,892	80,872	85,583		B 事業の改善	
						地方債							C 他事業と統合	
					その他						D 運営主体の見直し			
					受益者負担額	214,451	220,510	242,673	241,300	307,674	E 事業の廃止の検討			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H24実績 H25実績 H25目標値	単位			成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
									H25予算	H25決算		事業規模 事業費			
① 保育園運営事務	保護者の就労や疾病などにより、日中養育できない児童	4月~7月~10月~1月~	入所要件を満たす児童を全て保育園に受け入れ、児童の健全な育成に努める。	95.4 96.2 100	%	待機児童ゼロが目標	1,021,180 1,263,071 1,211,275	975,173 1,279,355	嘱託員報酬105,132 臨時職員賃金52,664	B 拡充 増加	平成25年7月から民設民営保育所(アスカ)1園開園、平成26年4月から公設民営による市が洞保育園の開園及び民設民営の2園(アイン・アート)開園し、待機児童の解消を図った。				
② 家庭保育室制度運営事務	待機児童	→定員に達するまで随時	待機している児童に保育を実施し、待機児童の減少を目指す。	10 10 10	人	家庭保育室入所者数	32,315 18,790 18,838	13,430 18,217	家庭保育室運営委託16,734	A 維持 維持	待機児童の年齢層が0~2歳児のため、家庭保育室事業を維持し、現行通り実施する。				
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	① 保育園運営事務	待機児童がゼロになるよう、引き続き待機児童対策を検討していく。		長湫北保育園移設新築事業

長久手市行政評価票

事業番号	83	事業の名称	私立保育所通所助成金事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	認可保育所の定員に空きが無いため入所できない児童が、認可外保育所に通所せざるを得ないケースが多く、認可外保育所へ通所する児童の保護者の負担軽減と児童福祉の向上を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得に応じて通所助成金を支給</li> <li>・助成額 所得に応じて月額1,000円～50,000円</li> </ul>				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	同様の事業としては、近隣市町は該当無し。																		
	事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	認可外保育所に通所している児童で、長久手市に居住している者を保護する者(以下「保護者」という。)				総事業費	うち	一般財源	2,222	2,717	2,222	1,719	1,778												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	認可外保護施設へ通う児童の保護者負担の軽減を行う。					国費・県費																		
						地方債																		
						その他																		
						受益者負担額																		

事業を構成する事務事業	対象 (だれ、何に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月～	7月～	10月～	1月～														
① 私立保育所通所助成金事務	保護者	●		●		保護者の負担を軽減させる。	助成事業申請者数57人	私立保育所通所助成利用者申請者数	48	57	人	今後、保育園開園数が増加することから予想される数値	2,222	2,717	2,222	1,719	私立保育所通所助成金1,719	B	補助対象の多数を占める階層を含め助成金額が、保護者の負担軽減の目的に見合う額であるか検討が必要である。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 私立保育所通所助成金事務	申請された保護者が多い階層の助成金額が、月1,000円～2,000円であり、保護者の負担の軽減という目的において、助成金額の妥当性を検討する必要がある。			

長久手市行政評価票

事業番号	84	事業の名称	私学助成事務	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	保護者の授業料負担を軽減し、また幼稚園の運営に係る経常費を補助することにより、幼稚園事業の助長促進を図る。 ①長久手市私立幼稚園助成 市内に設置されている私立幼稚園に対し、運営に係る経常費の補助を行う。 ②長久手市私立幼稚園通園助成金 市内私立幼稚園に通園し、就園奨励費の対象とならない幼児の保護者に対し、授業料等の補助を行う。 ③長久手市私立幼稚園就園奨励費補助金 市内在住幼児が在園する市内外の私立幼稚園が行う授業料減免に対し、幼児の属する世帯の市町村民税所得割額に応じた補助を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	①長久手市私立幼稚園助成 日進市、尾張旭市、豊明市、東郷町等、近隣市町でも同様の事業を実施。なお、東郷町は町内に私立幼稚園がないため、町内在住幼児が通園する町外の幼稚園に対して補助を行っている。 ②長久手市私立幼稚園通園助成金 日進、東郷町、豊明市、みよし市、名古屋市等で実施している。補助対象を市内私立幼稚園在園者に限っているのは本市のみ。瀬戸市、尾張旭市には現在制度がない。 ③長久手市私立幼稚園就園奨励費補助金 全国的に実施されている。近隣市町とも国の基準に準じて実施している。							
	事業期間	事業開始年度	①昭和53年度②51年度③一	終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	①市内私立幼稚園設置者 ②市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者(市内在住に限る) ③市内在住で私立幼稚園に在園する幼児の保護者(市町村民税所得割額に応じた額を幼稚園を通して補助)				総事業費	うち	一般財源	57,300	57,109	69,041	65,171		86,539
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	授業料軽減を要する世帯に公平性を図りつつ必要な補助を行い、私立幼稚園事業を助長促進する。					国費・県費	16,014	15,958	18,750	19,447	39,542		
						地方債							
						その他							
						受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		H24実績 H25実績 H25目標値							単 位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				H26予算
① 私立幼稚園助成	市内私立幼稚園設置者				私立幼稚園事業を助長促進する。	市内幼稚園3園に計3,612千円を補助(602人)	市内幼稚園在園児数に対する市内在住園児数	78	%	市内幼稚園在園児数に対する市内在住園児数の割合を事業実施の参考とするため。	3,612	3,612	3,612	A	現行どおり実施していく。幼児数全体が増加しているため、助成額の増加が見込まれており、事業費については増加とした。	
② 私立幼稚園通園助成金	市内私立幼稚園に通園し、③に該当しない幼児の保護者(市内在住に限る)				市内の私立幼稚園事業を助長促進し、保護者の負担軽減を図る。	243人に計2,820千円を補助	幼児人口に対する補助件数	51	%	幼児人口(3~5歳児)に対する通園助成金・就園奨励費の補助件数の割合を事業実施の参考とするため。	2,708	2,708	2,820	A	現行どおり実施していく。幼児数全体が増加しているため、助成額の増加が見込まれており、事業費については増加とした。	
③ 私立幼稚園就園奨励費補助金	市内在住で私立幼稚園に在園する幼児の保護者(市町村民税所得割額に応じた額を幼稚園を通して補助)				授業料軽減を要する世帯に必要な補助を行い、私立幼稚園事業を助長促進する。	790人に計77,451千円を補助		51	%		66,994	66,747	77,451	A	現行どおり実施していく。事業費については、幼児数全体が増加していること、また、平成26年度国庫補助単価が引き上げられるため、保護者負担軽減をさらに充実していくこととし、増加とした。	
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	85	事業の名称	放課後子ども教室事業	担当部署	部	課
					福祉部	子育て支援課

事業の概要	(目的) 子どもたちが安全・安心に集える居場所、家庭、地域の方々の協力を得ながらの様々な体験、自主学習、交流活動を行い児童が健全に育まれる環境づくりを図る。 (概要) 定員最大40人で給食開始日から3月末までの期間で、授業終了後から午後4時50分の間で開室。ただし、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始や学校の行事等の場合は休室。体験プログラムとして、ボランティアの講師を招いて、将棋体験、茶道体験、絵手紙体験、指導員による遊び体験などの事業を実施。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市…8小学校で実施 尾張旭市…実施なし 日進市…4小学校で実施 東郷町…5小学校で実施							
	事業期間	事業開始年度	平成21年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	放課後子ども教室登録者			総事業費	うち	一般財源	747	747	1,789	2,271	2,290	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	西及び南小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。					国費・県費	1,645	1,645	3,440	2,983	4,717	
						地方債						
						その他						
					受益者負担額	28	28	56	70	64		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25実績	H25実績				H25実績	H26予算		
① 放課後子ども教室	放課後子ども教室登録者	西及び南小学校での空き教室を利用して、放課後子ども教室を実施することで				西及び南小学校児童の放課後の安全な居場所づくりを推進する。	年間の参加人数5,740人	延べ参加者数/開室日数×定員	35	%	前年度実績からの増加	2,392	2,392	5,229	5,254	7,007	指導者賃金4,429、消耗品費357、備品184	B 維持 増加	参加率を向上させる。	
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 放課後子ども教室			申込方法や登録できる定員を検討して、参加率を増加させる。	

長久手市行政評価票

事業番号	86	事業の名称	子ども医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の概要	(目的) 子育て中の親の経済支援、子どもの受診機会の確保 (概要) 0歳から15歳の子どもにかかる医療費(保険診療の自己負担分)の助成			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づき補助金交付を受けている事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。 県内36市町村が中学校卒業まで、3市町が高校卒業までの入院・通院にかかる医療費自己負担分を助成。他に6市町が一部助成を行っている。							
	事業期間	事業開始年度	昭和48年度		終了(予定)年度	—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票のある0歳から15歳年度末までの子どもを持つ保護者			総事業費	一般財源	242,981		248,557	286,920	253,205	287,831	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	子育て中の親の経済支援、子どもの受診機会を確保する				国費・県費	106,865		86,760	95,287	79,987	95,373	
					地方債							
				その他								
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
①	子ども医療費支給事業	市内在住の 子どもの保 護者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	子育て中の親の経済 支援、子どもの受診 機会を確保する	受診件数 165,250件	医療費助成金額 (一人当たり)	34,547	円	前年実績(平成24年 度)からの増加	349,846	335,317	382,207	333,192	383,204	扶助費333,192千 円	A 維持 増加	現行どおり実施していく。 事業費は対象者の増加のため増加を 見込む。		
②																				
③																				
④																				

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	87	事業の名称	障害者医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の概要	障がい者(障害者手帳1～3級、療育手帳A、B所持者等)にかかる医療費の助成			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。																			
事業期間	事業開始年度	昭和48年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある障がい者			うち	一般財源	37,615	39,054	38,849	37,589	41,999														
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	障がい者の経済支援、受診機会の確保				国費・県費	37,965	33,041	38,848	27,470	41,999														
					地方債																			
				その他																				
				受益者負担額																				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価
		4月～	7月～	10月～	1月～														
① 障害者医療費支給事業	市内に住民票がある障がい者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	209,578.0	円	前年実績(平成24年度)からの増加	75,580	72,095	77,697	65,059	扶助費65,059千円	A	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。		
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	88	事業の名称	母子家庭等医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の概要	母子家庭等にかかる医療費の助成	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。									
事業期間	事業開始年度	昭和53年度	終了(予定)年度	—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある母子家庭等の親と子ども					一般財源	11,695	11,251	12,854	10,725	12,629	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	母子家庭等の経済支援、受診機会の確保					国費・県費	12,040	11,551	12,852	10,631	12,628	
						地方債						
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価								
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~																		
①	母子家庭等医療費 支給事業	市内に住民票がある母子家庭等の親と子ども	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	経済支援、受診機会の確保をする。	受診件数 7,568件	医療費助成金額 (一人当たり)	39,450	36,568	41,300	円	前年実績(平成24年度)からの増加	23,735	22,802	25,706	21,356	25,257	25,257	21,356	A	現行どおり実施していく。事業費は対象者の増加のため増加を見込む。		
②																							
③																							
④																							

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	89	事業の名称	後期高齢者福祉医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の概要	後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者にかかる医療費の助成	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。									
事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者					一般財源	32,730	30,402	32,993	31,443	33,056	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者の経済支援、受診機会の確保					国費・県費	33,243	25,607	32,991	27,687	33,056	
						地方債						
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 後期高齢者福祉医療費支給事業	市内に住民票がある後期高齢者医療加入者で福祉医療対象者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●		
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	90	事業の名称	精神障害者医療費事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療課

事業の概要	精神障害者(精神障害者保健福祉手帳1～2級、自立支援医療費受給者)にかかる医療費の助成			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	愛知県の補助金要綱に基づく事業であり、県内の市町村において同様の事業を実施している。																			
事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内に住民票がある精神障がい者			うち	一般財源	20,774	18,677	21,675	19,247	22,039														
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	精神障がい者の経済支援、受診機会の確保				国費・県費	3,955	3,497	4,494	3,688	4,681														
					地方債																			
					その他																			
					受益者負担額																			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月～	7月～	10月～	1月～															H25目標値
① 精神障害者医療費 支給事業	市内に住民 票がある精 神障がい者	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	54,083	56,490	50,700	円	前年実績(平成24年 度)からの増加	24,729	22,174	26,169	22,935	26,720	22,935	A	現行どおり実施していく。 事業費は対象者の増加のため増加を 見込む。
②																				
③																				
④																				

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	91	事業の名称	国民健康保険給付事業	担当部署	部	課
					福祉部	保険医療

事業の概要	国民健康保険の被保険者が医療機関等において診療を受けたときに、7割又は8割を負担する。療養費、高額療養費、出産一時金、葬祭費を審査し、支払を行う。また、医療費の適正化のため、医療費通知、ジェネリック薬品通知を送付し、特定健康診査を実施する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年度の保険給付費(予算ベース)の対前年度(予算ベース)伸び率 瀬戸市・・・0.9%増 尾張旭市・・・3.0%増 日進市・・・2.2%増 豊明市・・・2.5%増 長久手市・・・13.7%増							
	事業期間	事業開始年度	昭和34年		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	国民健康保険被保険者			うち	一般財源	624,574		602,803	661,410	631,288	653,849	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	被保険者が安心して医療を受けられる。				国費・県費	1,781,322		1,719,228	1,886,381	1,800,473	1,985,931	
					地方債							
				その他								
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~ 7月~ 10月~ 1月~							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H25目標値			H25予算	H25決算	H26予算			
① 被保険者給付事業	国民健康保険の被保険者	 (12回)				適正な給付を受けられるようにする	毎月給付を行っている。	被保険者1人当たりの給付額	219	229	千円	H24年度の1人当たりの給付額に過去3年度の伸び率の平均値(3%)を乗じた値を上限とした。	2,374,369	2,296,035	一般被保険者の療養給付費が全体の80%以上を占める。	A	現行どおり実施していく。事業費は高齢化に伴い増加を見込む。
		 国保連合会からの請求書、被保険者からの請求を審査し支払をすることで							222			2,518,986	2,404,778	1,984,150千円 その他給付 420,628千円	拡充 維持		
												2,607,827					
② 医療費通知、ジェネリック差額通知事業(医療費適正化)	国民健康保険の被保険者	 奇数月に被保険者に対し、「医療費通知」及び「ジェネリック薬品を使用した場合の差額通知」を行うことで				医療費の軽減を行う。	医療通知及びジェネリック差額通知を6回通知した。	被保険者1人当たりの給付額	219	229	千円	H24年度の1人当たりの給付額に過去3年度の伸び率の平均値(3%)を乗じた値を上限とした。	735	625	医療費通知及びジェネリック差額通知の作成委託 667千円 その他委託 7千円	A	現行どおり実施していく。
									222			735	674		維持 維持		
												729					
③ 特定健康診査事業(医療費適正化)	40~74歳の国民健康保険被保険者	 保健センター(集団)(6月から11月)と市内委託医療機関(個別)(5月から10月)にて、特定健康診査を実施することで				疾病の早期発見、早期治療、健康の維持を図り、医療費の抑制を行う。	集団は6月から11月、個別は5月から10月に実施した。	健診受診率	48.1%	47.3%(暫定)	%	第2期長久手市特定健診等実施計画の平成25年度の目標値とした	30,792	25,371	特定健診委託料 26,309千円	B	未受診者への受診勧奨を行う。
									50			28,070	26,309		維持 維持		
												31,224					
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	92	事業の名称	健康づくり計画推進事業	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の概要	平成15年度に策定した健康づくり計画の見直しを行い次期計画を策定することで、市民の健康増進を図る。健康づくり計画に基づき、ウォーキングイベント、小学校における防煙教室、元気マン体操の普及等を行い健康づくりを推進してきたが、平成25年度は計画の最終年度であるため、計画の最終評価を行い次期計画を策定する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、健康日本21市町村計画を策定し、健康づくり事業を実施。																		
	事業期間	事業開始年度	平成16年度	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民				総事業費	一般財源	1,654	620	3,101	2,392	2,410													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	健康づくりを推進する。					国費・県費					246													
						地方債																		
					その他																			
					受益者負担額	15	4.5	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 健康づくり計画推進 及び次期計画策定 事業	市民に	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●		
②																			
③																			
④																			

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	93	事業の名称	健康診査	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の概要	健康診査を受診することにより疾病の早期発見・早期治療を図ることを目的とする。胸部、胃、大腸、前立腺がん、肝炎ウイルス、眼底、喀痰、歯周疾患、子宮、乳腺検診を行い受診率の向上により、疾病の早期発見・早期治療を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、各種検診を実施。									
	事業期間	事業開始年度	昭和41年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			総事業費	うち	一般財源		78,364	75,833	83,088	84,453	86,496		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	疾病の早期発見・早期治療につなげる。				総事業費	うち		国費・県費	5,500	5,598	6,135	4,770		3,371
								地方債						
							その他							
受益者負担額		8,482		8,664		8,774		8,936		9,386				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算
① 健康診査事業	市民に	●●●●●●●●●●	各種健診を実施することで		疾病の早期発見・早期治療を図る。	各種検診の実施	受診率(国が目標値を示している子宮・乳腺・大腸検診について評価)	子宮44.2 乳腺52 大腸59.5 子宮44.6 乳腺53.9 大腸62.9	%	国が示した受診率の目標値。	83,864	81,431	89,223	89,223	検診委託料89,223	B	現行どおり実施していく。子宮検診について、受診率の向上を目指すため、事業規模を拡充とした。
②																	
③																	
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 健康診査事業	子宮検診の受診率の向上を目指し、勧奨方法等検討し実施する。			

長久手市行政評価票

事業番号	94	事業の名称	定期予防接種事業	担当部署	部	課
					福祉部	健康推進課

事業の概要	感染症の予防を図ることを目的とする。予防接種法に基づき、ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、三種混合、ポリオ、麻しん・風しん、日本脳炎、BCG、二種混合、子宮頸がん、インフルエンザ予防接種を実施し、感染症を予防する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、東郷町すべて、実施。							
	事業期間	事業開始年度	昭和34年度		終了(予定)年度	-	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民			一般財源	171,063	127,108		201,142	161,268	186,456		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	感染症を予防する。			国費・県費	171,063	127,108		201,142	161,268	186,456		
				地方債								
				その他								
				受益者負担額	4,041	3,922	4,041	4,187	4,171			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 定期予防接種事業	市民に	●●●●●●●●●●●●●●●●				予防接種の実施	接種率(国が接種率を示す麻しんについて評価)	1期98 2期93 1期94 2期95.4 95	%	国が示した接種率の目標値。	171,063 221,874 186,456	127,108 161,268	委託料161,268	B 拡充 維持	現行どおり実施していく。事業規模としては、接種率の向上を目指すため、拡充とした。	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業		改善内容(H26以降に実施する内容)		H26以降新規に実施する事務事業	事務事業		事業概要	
	①	定期予防接種事業	接種率向上を目指し、勧奨方法等検討し実施する。						

長久手市行政評価票

事業番号	95	事業の名称	砂防公園管理委託業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の概要	トイレ清掃、除草、樹木剪定を定期的実施し利用者が気持ちよく利用できる施設にする。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	砂防公園のある自治体では、実施されている。							
事業期間	事業開始年度	平成5年度	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	公園利用者			うち		一般財源	2,413	2,412	2,536	2,536	2,536	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	維持管理業務を定期的実施し利用者が気持ちよく利用できる施設にする。			国費・県費								
				地方債								
					その他							
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算			
① トイレ清掃	公園利用者	→				気持ちよくトイレを利用してもらおう。	26回	苦情件数	0	公園利用者が気持ちよく利用できるよう、苦情件数とする。	件	2,413	2,412	※公益社団法人シルバー人材センターに一括発注のため事業ごとの仕分けができない。	A	現行どおり実施していく	
		2週間に一回トイレ清掃を行うことで							0			2,536	2,536				維持
② 除草	公園利用者	→				気持ちよく公園を利用してもらおう。	2回	苦情件数	0	公園利用者が気持ちよく利用できるよう、苦情件数とする。	件	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	A	現行どおり実施していく	
		年2回除草を行うことで							0			※上記に含む	※上記に含む				維持
③ 樹木剪定	公園利用者	→				樹木の適正な管理を行い、気持ちよく公園を利用してもらおう。	1回	苦情件数	0	公園利用者が気持ちよく利用できるよう、苦情件数とする。	件	※上記に含む	※上記に含む	※上記に含む	A	現行どおり実施していく	
		年1回樹木剪定を行うことで							0			※上記に含む	※上記に含む				維持
④									0								
									0								維持

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)			H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	96	事業の名称	道路維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の概要	市道のパトロール、穴埋めをおこなうことで、道路の損傷を早期に処置するとともに、路面清掃・街路樹管理を行い、快適な通行を確保し、また、大規模に修繕が必要な舗装修繕、側溝修繕を計画的に行う。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。							
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路			総事業費	うち	一般財源	123,631	108,537	163,048	131,223		202,265
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路利用者の安全で快適な通行を確保する。				国費・県費	3,277	3,600	2,892	3,032	60,879		
					地方債							
					その他							
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠				H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明				
																H25目標値	H26予算		
① 道路維持管理業務	市の管理する道路					→	穴埋め、路面清掃、街路樹管理、大規模に修繕が必要な舗装修繕、側溝敷設を計画的に行った。	苦情件数	51	件	道路利用者が安全で快適な通行を確保できるよう苦情件数を指標とする。	126,908	112,137	165,940	134,255	263,144	穴埋め補修6,339 路面清掃委託3,252 橋梁補修11,445 環境整備工事(草刈・街路樹)90,442 側溝敷設工事3,308 舗装修繕工事15,962 路面性状委託3,507	A	現行どおり実施していく。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	97	事業の名称	交通安全施設設置業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の概要	市の管理する道路を、道路利用者が安全に通行できるよう、道路パトロール・地元要望に基づき、ガードレール、カーブミラー、街路灯、カラー舗装等を設置する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。							
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路			総事業費	うち	一般財源	21,394	20,629	33,700	32,330	15,000	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。				国費・県費							
					地方債							
					その他							
				受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
					H25実績				H25予算	H25決算				事業規模 事業費
① ガードパイプ設置	市の管理する道路	4月~7月~10月~1月~	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	-	50	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	21,394	20,629	※同一工事で発注しているため事業ごとの仕分けができない。	A	現行どおり実施していく		
		ガードパイプを設置することで			-			20,000	18,631				維持	
		100			15,000				維持					
② カーブミラー設置	市の管理する道路	4月~7月~10月~1月~	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	18基	100	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	①に含む	①に含む	①に含む	A	現行どおり実施していく		
		カーブミラーを設置することで			79			①に含む	①に含む				維持	
		100			①に含む				維持					
③ 照明灯設置	市の管理する道路	4月~7月~10月~1月~	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	-	100	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	①に含む	①に含む	①に含む	A	現行どおり実施していく		
		道路照明灯を設置することで			-			①に含む	①に含む				維持	
		100			①に含む				維持					
④ 区画線設置	市の管理する道路	4月~7月~10月~1月~	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	20,740m	87	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	①に含む	①に含む	①に含む	A	現行どおり実施していく		
		区画線を設置することで			72			①に含む	①に含む				維持	
		100			①に含む				維持					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	97	事業の名称	交通安全施設設置業務	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の概要	市の管理する道路を、道路利用者が安全に通行できるよう、道路パトロール・地元要望に基づき、ガードレール、カーブミラー、街路灯、カラー舗装等を設置する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。																			
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算														
事業の対象 (だれ、何に対して)	市の管理する道路			総事業費	うち	一般財源	21,394	20,629	33,700	32,330	15,000	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。			国費・県費																				
				地方債																				
				その他																				
				受益者負担額																				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25予算	H25決算			
⑤	カラー舗装設置	市の管理する道路	カラー舗装を設置することで	→	道路の交通安全環境が良好に整備され、道路利用者が安全に通行でき、交通事故の少ない道路とする。	374㎡	要望に対する実施率(長久手市交通安全施設設置基準等に適合するものに限る)	100	100	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	①に含む	①に含む	①に含む	A	維持 維持 現行どおり実施していく
⑥	連続照明設置	市の管理する道路	連続照明を設置することで	→	道路利用者に対して町並み景観の意識高揚を図るとともに夜間における防犯機能も高める。	24基	設置計画箇所数に対する実施箇所数	100	100	%	設置計画箇所数に対する実施箇所を指標とすることで整備率が把握できる。	0	0	0	A	維持 維持 現行どおり実施していく
⑦																
⑧																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	98	事業の名称	河川維持修繕事業	担当部署	部	課
					建設部	土木課

事業の概要	河川の機能を維持するため、通水断面に堆積した土砂を取り除き流下能力を保ち、適正な管理に努める。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村のほとんどが実施している。							
事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-						
事業の対象 (だれ、何に対して)	河川	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<b>評価の見方</b> <b>A</b> 現行どおり実施 <b>B</b> 事業の改善 <b>C</b> 他事業と統合 <b>D</b> 運営主体の見直し <b>E</b> 事業の廃止の検討	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	流下能力を保ち、河川災害を防止する。		うち	一般財源	11,850	11,811	2,770	2,499		5,000
				国費・県費						
				地方債						
			その他							
			受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算			H25決算の主な内訳 (単位:千円)		
													H25予算	H25決算				H26予算	
① 河川浚渫事業	河川	→				流下能力を保ち、河川災害を防止する。	神明川 0.24km 清水川 0.1km	要望に対する実施率	55	20	%	要望に対して実施率を指標とすることで要望対応度合いが把握できるため。	11,850	11,811	2,770	2,499	神明川2,153 清水川346	A	現行どおり実施していく。河川修繕を含めた予算であり、要望に対して予算的に出来る範囲が限られている。
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	99	事業の名称	都市計画街路新設改良事業	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の概要	交通集中による慢性的な渋滞を緩和させ、安全で快適な都市計画街路を整備するため、用地の確保、街路の新設改良を進める。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村においても、都市計画法及び道路法に基づき、同様に都市計画街路の整備を進めている。						
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	都市計画街路				一般財源	27,993		30,435	23,680	23,726	—	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	早期に道路整備率100%を達成させる。				国費・県費	27,992		25,000	23,680	23,650		
					地方債	0		0	0	0		
					その他	0	0	0	0			
						受益者負担額	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H25目標値	H25予算			
① 高針御嶽線街路新設改良工事	都市計画街路高針御嶽線	→				早期に道路整備率100%を達成させる。	工事施工実施	都市計画街路高針御嶽線の道路整備率	99	100	%	道路整備延長を集計し、総延長に対する割合を算出することにより進捗状況を把握することができる。	2,626	4,580	道路植栽工 一式 221千円	A	計画どおり実施できた。
② 高針御嶽線用地基金買戻	都市計画街路高針御嶽線	→				先行して基金で取得した用地を買戻す。	買戻し実施	土地開発基金からの買戻率	100	100	%	前年度までの先行取得額と本年度基金から買戻した額の割合を算出することにより進捗状況を把握することができる。	22,423	17,778	用地費 A=188.61㎡ 25,028千円	A	計画どおり実施できた。
③ 高針御嶽線補償金買戻	都市計画街路高針御嶽線	→				先行して基金で支払った補償金を買戻す。	買戻し実施	土地開発基金からの買戻率	100	100	%	前年度までの先行取得額と本年度基金から買戻した額の割合を算出することにより進捗状況を把握することができる。	30,936	33,077	補償費 3件 22,127千円	A	計画どおり実施できた。
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)		H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	100	事業の名称	都市計画公園等新設事業	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の概要	市民の憩いの場となる都市計画公園等を整備するため、設計・施工を進める。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市町村においても、都市計画法及び都市公園法に基づき、同様に都市計画公園等の整備を進めている。						
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	都市計画公園等			うち		一般財源			12,283	11,991	-
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	早期に都市計画公園等整備率100%を達成させる。					国費・県費			0	0	
						地方債			0	0	
					その他			0	0		
					受益者負担額			0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算	事業規模 事業費	
①	リニモ長久手古戦場 駅周辺公共施設トータル デザイン設計業務委託	長久手中央 土地区画整理事業地内 の都市計画公園、自転車 駐車場等					都市計画公園、自転車 駐車場等の整備の 準備を完了させる。	設計業務実施	都市計画公園、自転車 駐車場等の 詳細設計成果	-	100	%	都市計画公園、自転車 駐車場等の詳細設計 成果の納品を確認 することで目標を達成 することができる。	12,283	11,991	都市計画公園、自転車 駐車場、駅前広場 設計業務一式 11,991千円	A	平成25年度は予定どおり実施設計業務 を行った。平成26年度については整備 工事を予定している。	
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	101	事業の名称	屋外広告物に関する事業	担当部署	部	課
					建設部	都市計画課

事業の概要	屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件に対して、規制に適合しない広告物を排除し、良好な街並み景観を維持する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	県内の市町村で実施されている。							
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	規制に適合しない屋外広告物				総事業費	うち	0	0	0	0
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	良好な街並み景観を維持する					一般財源				
						国費・県費				
						地方債				
					その他					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~															H25目標値
①	屋外広告物の簡易除去作業	規制に適合しない屋外広告物	簡易除去を実施することで				良好な街並み景観を維持する。	簡易除去の実施(9月)	簡易除去件数	24	48	件	除去作業に充てられる限度として設定 2人×12月(2時間/月)×2件(除去1件につき1時間想定)	0	0	0	0	0	A	現行どおり実施していく。
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	

長久手市行政評価票

事業番号	102	事業の名称	木造住宅耐震事業	担当部署	部	課
					建設	都市計画

事業の概要	長久手市耐震改修促進計画により、市内の地震による被害(死者数や経済被害額)を軽減させるために、住宅の耐震化率を平成27年度までに9割にすることを目的とする。 地震発生時における木造住宅(在来軸組構法)の倒壊等による災害を誘発する建築物に対し補助制度を活用し改修工事を促進させることにより減少させる。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣のほとんどの市町村で実施されている。							
	事業期間	事業開始年度	平成15年度	終了(予定)年度		平成27年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)				うち	一般財源		9,900	7,737	10,800	3,132	10,800	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	建築物を「一応倒壊しない」(耐震性あり)レベルまで耐震補強をしてもらう。					国費・県費		2,475	1,935	2,700	785	2,700	
						地方債		7,425	5,802	8,100	2,347	8,100	
						その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H25実績	単位	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~														
① 木造住宅耐震診断事業	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)	耐震診断すること				旧基準建築物の安全性を確認し、耐震改修及び建替えの促進を図る。	耐震診断10件	耐震診断実施件数	40	10	件	過去の実績から推移した数値	900	1,800	45千円×10戸=450千円	A	耐震促進計画の目標を達成するための耐震改修費補助金の予算拡充が必要である。事業費については、平成24年度の実績を考慮し、40件分の事業費とした。		
② 木造住宅耐震改修費補助事業	木造住宅(在来軸組構法)で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修の案内をすることで				「耐震性なし」の建築物を改修工事により「耐震性あり」の状態に改善する。	耐震改修3件	耐震改修件数	7	3	件	過去の実績から推移した数値	9,000	5,937	900千円×2戸+882千円×1戸=2,682千円	A	耐震促進計画の目標を達成するための耐震改修費補助金の予算拡充が必要である。事業費については、平成24年度の実績を考慮し、維持とした。		
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 木造住宅耐震診断事業	住宅の耐震化率を平成27年までに9割にする目標を達成するために、事務処理能力の強化(職員の増員)を図る。さらに促進計画の内容の見直しを行う。			耐震促進計画見直し事業
② 木造住宅耐震改修費補助事業	住宅の耐震化率を平成27年までに9割にする目標を達成するために、事務処理能力の強化(職員の増員)を図る。さらに促進計画の内容の見直しを行う。				

長久手市行政評価票

事業番号	103	事業の名称	非木造共同住宅耐震事業	担当部署	部	課
					建設	都市計画

事業の概要	長久手市耐震改修促進計画により、市内の地震による被害(死者数や経済被害額)を軽減させるために、住宅の耐震化率を平成27年度までに9割にすることを目的とする。 地震発生時における非木造共同住宅の倒壊等による災害を誘発する建築物を補助制度を活用し、改修工事をさせることにより減少させる。なお、促進計画上の目標である9割以上の耐震化率は、確保されている。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	県内の25市町村が補助制度策定							
	事業期間	事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度		平成27年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	昭和56年5月31日以前に着工された非木造共同住宅				うち	一般財源		12,879	100	11,696	0	12,879	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	建築物を「耐震性あり」の状態まで耐震補強をしてもらう。					国費・県費		3,220	25	2,924	0	3,345	
						地方債		9,659	75	8,772	0	9,534	
						その他	0	0	0	0	0		
						受益者負担額	0	0	0	0	0		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24実績	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25実績	H25決算				H26予算		
①	非木造共同住宅耐震診断費補助事業	昭和56年5月31日以前に着工された非木造共同住宅	耐震診断することで				耐震診断0件	耐震診断実施件数	1	0	1	過去の実績から推移した数値	1,500	100	1,500	0	1,500	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、現在、94%達成しているため、現状維持とした。
②	非木造共同住宅耐震改修設計費補助事業	非木造共同住宅で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修の案内をすることで				耐震改修設計0件	建築物の耐震化率を平成27年度までに更に高める	0	0	1	過去の実績から推移した数値	500	0	500	0	500	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、現在、94%達成しているため、現状維持とした。
③	非木造共同住宅耐震改修費補助事業	非木造共同住宅で耐震診断結果が「耐震性なし」の建築物	耐震改修の案内をすることで				耐震改修0件	建築物の耐震化率を平成27年度までに更に高める	0	0	1	過去の実績から推移した数値	10,879	0	9,696	0	10,879	A	現行どおり実施していく。耐震化率については、現在、94%達成しているため、現状維持とした。
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	104	事業の名称	公園西駅周辺土地区画整理事業	担当部署	部	課
					建設部	区画整理課

事業の概要	地域住民の利便性の向上のため、駅への交通結節機能の強化や公共交通の利便性を活かし、民間活力を活用した商業施設を誘致し、周辺レクリエーション施設と連携したにぎわい機能の導入を図るため、環境に配慮した土地区画整理事業による基盤整備を行い、市東部地域の活性化とリノモ利用促進を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	土地区画整理事業は近隣市町でも同様な事業を多く実施しているが、市施行による事業実施は例が少ない。県内でも減価地区での行政施行の例は多くあるが、保留地が取れる地区での施行は、本地区のように市の施策のために行われている。							
	事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度		平成35年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	公園西駅周辺土地区画整理事業区域内における地権者。				うち	一般財源							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	地権者の合意形成を図り、環境に配慮した優良なまちをつくる。					国費・県費							
						地方債							
					その他								
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の 説明				
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算			H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 建物補償調査業務	事業区域内の建物所有者に	[手段: 4月~7月, 7月~10月, 10月~1月]				補償算定額を積算する。	11件の建物調査を実施し、補償概算額を算出した。	建物調査件数		11	件								A	当初の計画どおり土地区画整理事業地内にある建物11件を全て調査することができ、補償物件の補償額算定をすることができた。
② 仮換地指定業務	事業区域内の土地所有者に	[手段: 4月~7月, 7月~10月, 10月~1月]				土地の再配置を行う仮換地指定をする。	121権利地に対し仮換地指定通知を発送した。	仮換地指定に向けた理解度		100	%								A	平成24年度に換地意向調査を実施し、動向を把握していたが、仮換地指定をするにあたり換地の申し出を受けることにより、個々の土地利用方針を明確に把握し、地権者合意を図ったり、仮換地指定通知書を全て受領された。
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			建物移転補償業務	土地区画整理事業地内において事業に支障となる建物について移転補償をして移転を行う。
			街区整備事業	土地区画整理事業地内において宅地造成工事等を行い、使用収益の開始をする。
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	105	事業の名称	組合施行区画整理事業	担当部署	部	課
					建設部	区画整理課

事業の概要	市内には設立準備中の組合を含め4か所の土地区画整理事業を施行していることから、それぞれの地区特性を生かした魅力あるまちづくりを行えるようにするため、土地区画整理組合への指導・助言及び国庫補助金の確保、市助成金の交付を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	土地区画整理事業への補助金交付は近隣市町でも多く実施している。						
	事業期間	事業開始年度	昭和56年度	終了(予定)年度		平成31年度	総事業費 うち	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	土地区画整理組合				一般財源	192,592		61,948	783,500	743,500	541,675	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	土地区画整理事業により、面的整備による良好な宅地整備が行えるようにする。				国費・県費	197,625		197,625	139,500	139,500	126,325	
					地方債	0			0			
					その他	0		0				
					受益者負担額	0		0				

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				
①	長久手市内土地区画整理事業(長湫中部、長湫南部、長久手中央、下山)	土地区画整理組合(長湫中部、長湫南部、長久手中央、下山)に	市による指導・助言及び補助金を交付することによって				公共施設整備を進めた。	宅地全体に対する公共施設整備度	89 91 91	%	宅地供給の前提となる区画整理事業の公共施設整備(道路・水路・公園)の進捗割合	390,217 923,000 668,000	259,573 883,000	国庫負担金 357,000千円(中央)(国5.5/10、県2.25/10、市2.25/10)市助成金 526,000千円(中央)、40,000千円(下山H26へ繰越)	A 拡充 増加	区画整理事業の公共施設整備を推進することにより宅地供給の促進が図られ、まちづくり、税収等に寄与する。事業費は、区画整理の進捗に伴い増加。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	106	事業の名称	長久手浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出され、一部中継ポンプ場・マンホールポンプを経由して浄化センターへ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人							
	事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				うち	一般財源		131,521	116,889	135,647	127,932	149,098	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					国費・県費							
						地方債							
						その他							
						受益者負担額	131,521	116,889	135,647	127,932	149,098		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H25目標値			H26予算				事業規模 事業費			
① 維持管理業務委託事業	長久手浄化センター・長久手中継ポンプ場・マンホールポンプ	[Progress Bar]				適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:日祝日年末年始を除く毎日(保守点検・運転操作監視・脱水機運転・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	29,747	29,747	60,412	56,635	56,635	A	現行どおり維持管理していく。平成25年度事業費については長期契約の更新に伴い、内容を見直したため増加となった。
② 脱水ケーキ処分委託事業	長久手浄化センターにて排水処理に伴い発生した汚泥	[Progress Bar]				適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	汚泥の搬出:日祝日年末年始を除く毎日	悪臭等の苦情件数	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	76,863	65,807	53,770	50,166	50,166	A	現行どおり実施していく。平成25年度事業費については、長久手南部浄化センター供用開始による移動により、対象区域分が減少したため減額となった。
③ 重金属・悪臭・除害施設水質分析委託事業	長久手浄化センターからの放流水等	[Progress Bar]				環境保全の基準に沿った排水、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(重金属等)分析項目により月2回~年1回(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	0		法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	3,041	2,248	1,960	1,884	1,884	A	現行どおり維持管理していく。平成25年度事業費については、南部処理区域分の委託を新規科目で予算要求するため減額となった。
④ 計装機器・自家発電設備保守点検委託事業	長久手浄化センター・中継ポンプ場の主要な計測機器である計装機器及び自家発電設備	[Progress Bar]				正常に稼働させる。	保守点検1回	事故、故障の回数	0	0	回	必要な保守点検を行い汚水処理に必要な機器、処理データを正常に計測・監視できるようにする。	15,631	14,228	13,440	13,650	13,650	A	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	106	事業の名称	長久手浄化センター・中継ポンプ場・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出され、一部中継ポンプ場・マンホールポンプを経由して浄化センターへ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人						評価の見方	
	事業期間	事業開始年度	平成8年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民			総事業費	うち	一般財源	131,521	116,889	135,647	127,932	149,098	B 事業の改善
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。				国費・県費							
					地方債							D 運営主体の見直し
					その他							E 事業の廃止の検討
					受益者負担額	131,521	116,889	135,647	127,932	149,098		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
					H25実績				H25予算	H25決算				事業規模
⑤ 廃棄物処理委託事業	長久手浄化センターにて排水処理に伴い発生した流入異物等	4月~7月~10月~1月~	適切・安全に運搬・処理する。	悪臭等の苦情件数	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	1,197	683	廃棄物処理委託1,117	A	現行どおり実施していく。		
	廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督することで		適切に維持管理する。	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	1,072	1,117	中継ポンプ場維持管理委託 警備委託176 消防用設備保守点検11 電気保安業務委託194	維持			
					0			1,105			維持			
⑥ 中継ポンプ場維持管理委託事業	長久手中継ポンプ場	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理する。	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	386	381	長久手浄化センター施設維持管理委託 定期清掃313、警備委託504、 消防用設備保守点検202、電気保安業務741、空調設備保守点検147、除草芝刈563、衛生害虫防除205他	A	現行どおり実施していく。		
	施設管理に必要な各業務を業者に委託し、その業務を監督することで				0			386	381		維持			
					0			393			維持			
⑦ 長久手浄化センター施設維持管理委託事業	長久手浄化センター・マンホールポンプ	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理する。	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	4,656	3,795		A	現行どおり実施していく。		
	施設管理に必要な各業務を業者に委託し、その業務を監督することで				0			4,607	4,099		維持			
					0			4,718			維持			
⑧														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	107	事業の名称	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して長久手南部浄化センターへ集められた汚水を、水処理して植田川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人							
	事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				うち	一般財源				40,074	29,339	35,970	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					国費・県費				40,074	29,339	35,970	
						地方債							
						その他							
						受益者負担額			40,074	29,339	35,970		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		H25目標値							H25目標値	件							事業規模 事業費			
① 維持管理業務委託事業	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ	[進捗表]				適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:巡回点検週3日以上(保守点検・運転操作監視・脱水機運転・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	0	回	法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	13,482	12,847	13,215	維持管理業務委託 12,847	A 維持 維持	現行どおり維持管理していく。		
② 脱水ケーキ処分委託事業	長久手南部浄化センターにて排水処理に伴い発生した汚泥	[進捗表]				適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	汚泥の搬出:日祝日年末年始を除き随時(おおむね週2回)	悪臭等の苦情件数	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	18,957	9,443	9,812	脱水ケーキ処分委託 9,443	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
③ 重金属・悪臭・除害施設水質分析委託事業	長久手南部浄化センターからの放流水等	[進捗表]				環境保全の基準に沿った排水、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(重金属等)分析項目により月2回~年1回(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	0		法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	1,749	1,652	1,802	重金属・悪臭・除害施設水質分析委託 1,652	A 維持 維持	現行どおり維持管理していく。		
④ 廃棄物処理委託事業	長久手南部浄化センターにて排水処理に伴い発生した流入異物等	[進捗表]				適切・安全に運搬・処理する。	運搬10回	悪臭等の苦情件数	0	0	件	適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	731	98	520	廃棄物処理委託 98	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	107	事業の名称	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の概要	市街地の水質保全と生活環境の改善のため、下水処理地区から排出されマンホールポンプを経由して長久手南部浄化センターへ集められた汚水を、水処理して植田川へ放流し、発生した汚泥は濃縮、脱水して搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行うことができるよう管理する。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 2処理場(基本計画)処理人口122,500人 処理能力61,000m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口59,726人 尾張旭市 2処理場 (基本計画)処理人口88,000人 処理能力35,900m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口47,320人 日進市 2処理場(基本計画)処理人口98,600人 処理能力44,100m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口45,991人 長久手市 2処理場 (基本計画)処理人口56,500人 処理能力27,300m <sup>3</sup> /日 (H24現況)水洗化人口38,764人								
	事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度		-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民				うち	一般財源				40,074	29,339	35,970		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。					国費・県費					40,074	29,339		35,970
						地方債								
						その他								
						受益者負担額			40,074	29,339	35,970			

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
⑤	長久手南部浄化センター施設維持管理委託事業	長久手南部浄化センター・マンホールポンプ					警備委託 電気保安業務委託 他	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	回	適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	—	—	5,155	5,299	10,621	長久手南部浄化センター施設維持管理委託 定期清掃91、警備委託504、消防用設備保守点検21、電気保安業務348、植栽管理4,073、衛生害虫防除105他	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
⑥																					
⑦																					
⑧																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	108	事業の名称	管渠整備事業(公共下水道事業)	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の概要	公共下水道整備に伴う事業計画、実施計画及び工事の施工を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市 下水道普及率 53.2%、行政人口 132,100人、処理人口 70,200人 春日井市 下水道普及率 66.2%、行政人口 309,100人、処理人口 204,700人 尾張旭市 下水道普及率 63.7%、行政人口 81,800人、処理人口 52,100人 日進市 下水道普及率 65.4%、行政人口 85,400人、処理人口 55,800人 長久手市 下水道普及率 87.6%、行政人口 51,800人、処理人口 45,400人 (平成24年度末状況)												
事業期間	事業開始年度	平成3年度	終了(予定)年度	-		総事業費 (単位:千円)		H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討		
事業の対象 (だれ、何に対して)	公共下水道計画区域(市街化区域及び周辺市街化調整区域)の市民						総事業費	うち	一般財源	60,968	152,074	4,982		70,844	42,830
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる							国費・県費	876,963	856,100	47,030	34,600		71,593	
								地方債	480,000	471,000	42,000	0		13,000	
								その他	548,565	370,000	202,343	109,005		133,370	
								受益者負担額	8,350	25,428	4,981	10,576	20,400		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H24実績	H25実績		単位	H24予算	H24決算			H25予算	H25決算	H26予算
① 公共下水道事業	公共下水道計画区域の市民		公共下水道に接続できる環境を整える。 必要な技術を持つ業者等で公共下水道事業を実施することで	10.96haの面整備と2,791mの管渠整備を行った。	下水道普及率	88	%	行政人口中の公共下水道を使用できる人口の割合	1,966,496	1,849,174	296,355	214,449	260,793	A 維持 維持	公共下水道の事業計画に従い事業が遂行されたので現行どおり実施していく。事業費については、その年の事業計画にしたがい予算を計上していく。	
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	109	事業の名称	熊張苑・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部	課
					建設部	下水道課

事業の概要	農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、排水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して熊張苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は前熊苑へ圧送して処理・搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人						評価の見方	
	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算		H25予算	H25決算	H26予算	A 現行どおり実施				
事業期間	事業開始年度	昭和56年度	終了(予定)年度	-	うち	一般財源	3,770	3,687	3,527	2,693	2,910	B 事業の改善
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民			国費・県費								C 他事業と統合
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。			地方債								D 運営主体の見直し
				その他								E 事業の廃止の検討
					受益者負担額	3,770	3,687	3,527	2,693	2,910		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
					H25実績				H25予算	H25決算				事業規模
① 熊張苑維持管理業務委託事業	熊張苑・マンホールポンプ	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理し、重大な事故等が起こらないようにする。	作業:巡回管理週2回以上(保守点検・運転操作監視・水質検査)	0	回	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	2,950	2,949	熊張苑維持管理業務委託1,977	A	現行どおり実施していく。		
			専門知識・資格を持つ業者に管理を委託し、その業務を監督することで		0		法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	2,670	1,977		維持			
					0			2,033			維持			
② 悪臭・除害施設水質分析委託事業	熊張苑の悪臭、除害施設の水質	4月~7月~10月~1月~	環境保全の基準に沿った悪臭、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(悪臭)年1回(除害施設)年1回	0	回	基準に適合しない水質の排水放流回数	292	169	悪臭・除害施設水質分析委託170	A	現行どおり実施していく。		
			専門業者に委託し、関係法に基づいた測定、水質分析等を行うことで		0		法令等水質基準を遵守し事故のないようにする。	226	170		維持			
					0			233			維持			
③ 汚泥処分委託事業	熊張苑にて排水処理に伴い発生した沈砂等	4月~7月~10月~1月~	適切・安全に運搬・処理する。	運搬1回	0	件	悪臭等の苦情件数	200	255	汚泥処分委託219	A	現行どおり実施していく。		
			廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督することで		0		適切に処理し、周辺住民等から苦情のないようにする。	250	219		維持			
					0			257			維持			
④ 熊張苑施設維持管理委託事業	熊張苑	4月~7月~10月~1月~	適切に維持管理する。	電気保安業務委託 植栽管理委託 消防用設備 保守点検委託	0	回	維持管理の不足による不具合の発生回数	328	314	熊張苑施設維持管理委託 電気保安業務委託165 植栽管理委託93 消防用設備保守点検委託7 他	A	現行どおり実施していく。		
			施設管理に必要な各業務を業者に委託し、その業務を監督することで		0		適切に維持管理し、施設運営に支障のないようにする。	381	327		維持			
					0			387			維持			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	110	事業の名称	前熊苑・マンホールポンプ維持管理業務	担当部署	部 建設部	課 下水道課
------	-----	-------	--------------------	------	----------	-----------

事業の概要	農業用排水の水質保全及び生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全のため、排水処理地区から排出され、一部マンホールポンプを経由して熊張苑へ集められた汚水を、水処理して香流川へ放流し、発生した汚泥は前熊苑へ圧送して処理・搬出し肥料化するという一連の機能を滞りなく行えるよう管理する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	豊川市 5農業集落排水施設 整備対象人口2,767人 (H24現況)水洗化人口2,929人 豊明市 1農業集落排水施設 整備対象人口4,929人 (H24現況)水洗化人口4,479人 日進市 1農業集落排水施設 整備対象人口190人 (H24現況)水洗化人口 226人 みよし市 7農業集落排水施設 整備対象人口10,017人 (H24現況)水洗化人口9,299人 長久手市 2農業集落排水施設 整備対象人口2,690人 (H24現況)水洗化人口2,821人									
事業期間	事業開始年度	平成8年度	終了(予定)年度	-								
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内の住民			総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	汚水処理に下水道を利用し、清潔で快適な生活環境を享受してもらう。				うち	一般財源	15,693	16,092	14,873	12,823		14,133
						国費・県費						
					地方債							
					その他							
					受益者負担額	15,693	16,092	14,873	12,823	14,133		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)				評価								
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	事業規模	事業費	評価の説明							
		4月~	7月~	10月~	1月~												H25実績	H25予算	H25決算	H26予算			
① 前熊苑維持管理業務委託事業	前熊苑	[Progress Bar]				作業:巡回管理週1回以上(保守点検・運転操作監視・汚泥搬出・水質検査)	基準に適合しない排水流出などの事故の回数	0	0	0	0	0	7,585	7,584	5,726	4,561	4,692	前熊苑維持管理業務委託4,561	A	維持	維持	現行どおり実施していく。	
② 汚泥処分委託事業	前熊苑にて排水処理に伴い発生した汚泥	[Progress Bar]				廃棄物運搬・処分の許可を受け市の処分条件に合った業者に委託し、その業務を監督することで	適切・安全に運搬・処理し、肥料化する。	悪臭等の苦情件数	0	0	0	0	6,668	7,166	7,596	6,694	7,824	汚泥処分委託6,694	A	維持	維持	現行どおり実施していく。	
③ 悪臭・除害施設水質分析委託事業	前熊苑の悪臭、除害施設の水質	[Progress Bar]				環境保全の基準に沿った悪臭、河川の水質等を維持するよう管理する。	採取・分析・報告:(悪臭)年1回(除害施設)年1回	基準に適合しない水質の排水放流回数	0	0	0	0	296	189	241	201	249	悪臭・除害施設水質分析委託201	A	維持	維持	現行どおり実施していく。	
④ 前熊苑施設維持管理委託事業	前熊苑	[Progress Bar]				施設管理に必要な各業務を業者に委託し、その業務を監督することで	適切に維持管理する。	電気保安業務委託 植栽管理委託 消防用設備 保守点検委託	維持管理の不足による不具合の発生回数	0	0	0	0	1,144	1,153	1,310	1,367	1,368	前熊苑施設維持管理委託 電気保安業務委託188 植栽管理委託1,108 消防用設備保守点検委託9 他	A	維持	維持	現行どおり実施していく。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	111	事業の名称	職員教育関係業務	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の概要	(目的) 社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応し、住民から期待される水準を充たす消防に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できるよう愛知県消防学校等における教育訓練を受ける。 (概要) 1 愛知県消防学校消防職員教育(初任科3名、救急科3名、救助科1名、警防科1名、指揮隊科1名、外傷講習2名、災害対応講習1名) 2 消防大学校総合教育(新任消防長科1名)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	消防学校入校者予定数 瀬戸市消防本部 ……12人 尾張旭市消防本部 ……15人 豊明市消防本部 ……9人 尾三消防本部 ……20人							
	事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度		—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	消防職員				うち	一般財源		1,574	1,569	1,487	1,008	2,258	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	消防に関する知識、技術を向上させる。					国費・県費							
						地方債							
						その他							
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~											
① 消防学校等教育訓練	消防職員に	 愛知県消防学校等の初任、専科等の教育課程を受講させることで				消防に関する知識、技術を向上をさせる。	初任科2名 救急科2名 救助科1名 警防科1名 指揮隊科1名 外傷講習2名 災害対応講習1名 消大1名 合計11名	愛知県消防学校等入校課程修了者数	11 11 13	人	教育訓練計画に基づく入校予定者全員の修了	1,574 1,487 2,258	1,569 1,008	初任科725、救急科119、救助科59、警防科34、指揮隊科17、災害対応講習3、消大50 外傷講習は無料	A 拡充 増加	平成25年度は概ね計画どおり実施できた。次年度以降も積極的に各種課程をバランス良く修了し、職員スキルの適性向上を図る。
②																
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	112	事業の名称	防火管理指導事業	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の概要	防火対象物の実態を把握し、火災予防上適切な管理を防火対象物の関係者に促すために、現在、防火対象物の立入検査、文書による消防用設備等点検結果報告の通知指導、防火管理者の選任解任についての通知指導、さらには防火管理者を育成するため講習会を開催することにより防火対象物における防火管理業務の適正化を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの消防機関においても同一若しくは類似した事業を実施している。								
	事業期間	事業開始年度	—		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算
事業の対象 (だれ、何に対して)	防火対象物の関係者(所有者、管理者又は占有者)			うち	一般財源	19		19	19	19	20		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	防火対象物の防火管理上必要な業務が適切に遂行されること。				国費・県費								
					地方債								
				その他									
				受益者負担額									

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H25目標値			H26予算							
① 立入検査実施業務	防火対象物の関係者に	長久手市火災予防査察規程第10条に規定する査察事項を把握することで				防火対象物の位置、構造、設備及び管理について良好な状況を確保する。	第1種防火対象物立入検査数126件	実施件数に占める指導事項の割合	51.5 71.4 50.0	%	昨年実績より50%以下を目標とする。(防火対象物の用途により指導事項の占める割合が大きく異なります。)	0 0 0	0 0 0	0 0 0	A 維持 -	現行どおり実施 防火対象物の用途により指導事項の割合が大きく異なるものの、より効果的な立入検査を行うための手法を検討します。			
② 文書通知業務	防火対象物の関係者に	翌2月分(12月のみ3月分)通消防法第17条の3の3に規定する消防用設備等の点検結果を報告するよう文書により通知することで				当該消防用設備等の技術基準に従った設置及び維持のため必要な措置が図られる。	0回通知通知件数0件	消防用設備等の点検報告期限が迫る防火対象物から届出率	86.5 — 90.0	%	届出を必要とする防火対象物の届出率を段階的に引き上げ100パーセントとするため年3パーセントの増加	0 0 0	0 0 0	0 0 0	A 維持 -	現行どおり実施 通知件数に対する届出状況を数値化し、効果的に指導します。			
③ 防火管理講習業務	防火管理者の選任を必要とする防火対象物の関係者に	甲種防火管理新規講習及び乙種防火管理講習を行うことで				防火管理者未選任と違反状態であった防火対象物の改善が図られる。	開催回数1回 甲種 54人 乙種 6人	防火管理者の選任率	93.1 93.2 92.5	%	届出を必要とする防火対象物の選任率を段階的に引き上げ100パーセントとするため年2.5パーセントの増加を目標とする。	19 19 20	19 19 19	19 19 19	参加者傷害保険 11 地震体験車 9	A 維持 維持	現行どおり実施		
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	113	事業の名称	予防広報事業	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の概要	長久手市が刊行する広報ながくて及び市ホームページ等の様々な媒体を活用し、市民へ火災予防の普及を図ること、火災予防組織を設置し、育成指導を行い幼年期及び少年期の火災予防思想の動機付けを図ることで、市民が生涯に亘り火災の予防を学び啓発していくことで、市民の安心で安全な暮らしの推進を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。																																					
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—																																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市に居住する市民はもとより出入りする市民																																							
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民等の火災に対する意識の高揚を図り、火災発生の抑止につなげる。																																							
総事業費																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>総事業費 (単位:千円)</th> <th>H24予算</th> <th>H24決算</th> <th>H25予算</th> <th>H25決算</th> <th>H26予算</th> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>361</td> <td>313</td> <td>342</td> <td>325</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>国費・県費</td> <td>361</td> <td>313</td> <td>342</td> <td>325</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	一般財源	361	313	342	325	330	国費・県費	361	313	342	325	330	地方債						その他						受益者負担額					
総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算																																			
一般財源	361	313	342	325	330																																			
国費・県費	361	313	342	325	330																																			
地方債																																								
その他																																								
受益者負担額																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>					評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討																								
評価の見方																																								
A	現行どおり実施																																							
B	事業の改善																																							
C	他事業と統合																																							
D	運営主体の見直し																																							
E	事業の廃止の検討																																							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25予算	H25決算				H26予算
① 広報活動事業	市内外の住民に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	延広報掲載回数 11回 全戸回覧数 1回	市広報誌延配布 世帯数	168,000 230,000 180,000	世帯	世帯数の増加に伴い 前年実績(平成24年 度)からの増加	274 249 249	268 275	小冊子 125 ポスター仕訳 113 看板貼替 37	B 拡充 維持	掲載内容について、前年度から引き続き火災予防及び住宅用火災警報器の設置促進だけでなく、新たな切り口と時代に適した記事を市民に提供できるようにする。	
② 育成指導事業1	市内小学5・6年生に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	少年消防クラブを設置し、愛知県消防学校へ一日体験入校、防火作品展の実施することで	5小学校 延応募者数 388人	全対象児童のうち、応募した児童の割合	%	新規事業のため、対象児童の3分の1以上を目標	33.0 31.9 35.0	30 36 67	38 37	審査謝礼 15 ロール紙 13 副賞 4 負担金 1 傷害保険 34	A 拡充 増加	平成24年度から新規事業として立ち上げ、学校等からは好感触を得ており、次年度はさらに多くの児童が火災予防に関心が持てるよう事業を詰める必要がある。
③ 育成指導事業2	市内保育園及び幼稚園に通園する園児に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	防火啓発キャラバンを組織し、アトラクションや防火講話等を実施することで	7保育園 参加者数 972人	防火講話に参加した園児数	人	市内保育園及び幼稚園へ通園する園児数	887 972 1,541	0 0 0	0 0 0	0	A 維持 維持	愛知県のキャラバン事業が廃止されたことで、新たに本市独自に企画した事業を展開するため所要の準備に多大な時間を要したことから計画する幼稚園での実施が出来なかったものの、長久手市危険物安全協会の協力を得て、これまでどおり事業費を掛けずに実施する。
④ 住宅用火災警報器設置促進事業	住宅の所有者、管理者又は占有者(住宅の用に供される防火対象物を含む)に	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●	警報器の設置状況を把握するアンケートを行う傍ら設置の促進及び設置後の維持管理について説明を行うことで	市民まつり調査者数 380人 広報掲載回数 4回	「住宅用火災警報器設置推進基本方針」に基づく住宅用火災警報器の普及率	%	前年実績(平成23年度)から3%の増加	79.8 84.0 82.0	57 57 14	7 14	チラシ 14	A 維持 維持	アンケートを中心に市民と対面し、住宅用火災警報器の設置及び維持管理等だけに止まらず住宅用防災機器等の設置についても普及促進に努める。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
	参考	住宅用火災警報器設置促進事業		平成23年度事業は単独で事業展開していたものの、業務内容が重複することやこれまでの普及啓発業務に一定の成果があったとして「予防広報業務」と一元化し、住宅防火等の中で普及啓発を図ることとした。

長久手市行政評価票

事業番号	114	事業の名称	消防団関係事務	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の概要	消防団員としての知識・技術の習得による個人能力の向上を図ることにより、組織の充実強化に繋げ、災害発生時の被害軽減を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他市町のほとんどが同様の事業を実施している。							
	事業期間	事業開始年度	終了(予定)年度		総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	消防団員・市民			うち		一般財源	3,078	3,392	6,466	6,396	6,389	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	団員の育成及び組織の活性化を図り、地域防災の中核として活動できるようにする。					国費・県費						
						地方債						
					その他							
					受益者負担額							

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)				評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24実績	H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25目標値	H25予算				H25決算	事業規模 事業費
① 消防団員教育訓練 事業	消防団員	[進捗表]				警防技術の向上を図り、大規模災害時の対応技術対を習得させ、地域の安全を確保する。	定期訓練、操法訓練、幹部研修会、署・団合同訓練等の実施	年間の訓練実施回数	回	昨年度実績回数を維持する。	190	216	193	1,665	1,843	4,600	A	現行どおり実施していく。訓練回数が増加し、警防技術の向上に繋がった。
		消防団員に対する教育訓練の実施及び団の定期訓練等を実施することで									3,556	4,600	各種訓練216回実施。延べ2,300人参加。参加人員×2,000円(訓練指導を除く)(訓練のみ、災害出動を除く)	維持				
											4,600			増加				
② 消防団員防火啓発 事業	市民	[進捗表]				火災予防及び初期消火技術の向上を図り、地域の防災力を強化する	防火点検、防火広報、各種	年間の啓発事業実施回数	回	例年の実施実績の平均的な回数	166	138	170	1,181	1,307	1,516	B	昨年度実績を下回ったので、事業の実施時期、方法等の検討が必要。
		各地区での防災講習会等を通じ、消火器や40ミリ消火栓を使用した初期消火指導及び女性団員による防火点検、防火広報を実施することで									2,522	1,516	各種事業140回実施。延べ758人参加。参加人員×2,000円(訓練のみ、災害出動を除く)	拡充				
											1,500			削減				
③ 消防団員入団促進 事業	市民	[進捗表]				団員が不足している現状を理解してもらうとともに、消防団の役割及び必要性について理解してもらう。	入団促進事業の実施	新入団員数	人	現団員数の10%増加を目指す。	139	132	153	182	201	280	B	団員数が昨年の総数より下回った。団員確保に向けた勧誘方法等検討が必要。
		各催事で活動内容の紹介、ポスター掲示、リーフレット配布、活動新聞の配布などを実施。また、応援事業所を制定することで									388	280	各種事業のべ140人参加。参加人員×2,000円	拡充				
											289			削減				
④ 長久手市消防団応援 事業	市民	[進捗表]				市民に消防団をアピールし、認知度を高めつつ、団員確保に繋げ、結果として消防団の活性化を図る。	登録事業所の数	応援事業所登録数	事業所	長久手市商工会員で市内の事業所数の10%	29	35	50	50	41	0	A	目標値には届かなかったが、登録事業所数は増加した。
		市内の事業所が、応援事業所として団員に各種サービスや割引等の提供を行ったり、募集ポスターを事業所内に掲出するなど、様々な形で消防団を応援していたこと									0	0	平成24年度購入物品を配布することで対応したため、平成25年度決算は0円とする。	維持				
											0			維持				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	③ 消防団員入団促進事業	団員確保に向け、勧誘の実施場所や方法、時期等も含めて検討する。			





長久手市行政評価票

事業番号	117	事業の名称	適応指導教室事務	担当部署	部	課
					教育部	教育総務課

事業の概要	不登校児童生徒を対象に、集団生活への適応を促し、学校への復帰を支援するとともに、相談活動等を行う。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	ほとんどの自治体で実施																			
事業期間	事業開始年度	平成13年度	終了(予定)年度	――																		
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の学校に通学する小中学生																					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	不登校の児童生徒に学校へ復帰してもらう。																					
総事業費				総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
				評価の見方																		
				A	現行どおり実施																	
				B	事業の改善																	
				C	他事業と統合																	
D	運営主体の見直し																					
E	事業の廃止の検討																					
うち	一般財源	5,498	5,014	5,332	4,774	5,469																
	国費・県費	0	0	0	0	0																
	地方債	0	0	0	0	0																
	その他	0	0	0	0	0																
	受益者負担額	0	0	0	0	0																

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果指標	成果		事業費(単位:千円)			評価										
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)			H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明								
									H25予算	H25決算		事業規模 事業費									
① 適応指導教室事務	長久手市立の学校に通学する小中学生に	<table border="1"> <tr> <td>4月~</td><td>7月~</td><td>10月~</td><td>1月~</td> </tr> <tr> <td>随時</td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	4月~	7月~	10月~	1月~	随時				不登校の児童生徒に学校へ復帰してもらう。	不登校児童生徒の学校復帰	学校への復帰人数	3 1 1	人	不登校児童生徒の学校への復帰が事業の最大の目的であるため。 H25 入級者-12名	5,498 5,332 5,469	5,014 4,774	適応指導教室指導員報酬 4,023 相談報奨金 380 消耗品費 173 通信運搬費 124	A 維持 維持	不登校の児童生徒の指導のために必要であり、現行どおり実施していく
4月~	7月~	10月~	1月~																		
随時																					
②																					
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	118	事業の名称	市が洞小学校増築事業	担当部署	部	課
					教育部	教育総務課

事業の概要	土地区画整理事業等により児童生徒数が増加し、平成26年度には教室の不足が予想される。このため、校舎を増築し教育施設の充実を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)																			
事業期間	事業開始年度	平成23年度	終了(予定)年度	平成25年度	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市が洞小学校区の児童				うち	一般財源	188,856	50,000	80,415	194,058	—													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する児童数に対応した増築校舎を設置し、教育環境の充実を図る。					国費・県費	0	0	189,867	189,867	—													
						地方債	102,000	0	166,000	268,000	—													
						その他	0	0	0	0	—													
						受益者負担額	0	0	0	0	—													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~															
① 建設工事業	市が洞小学校区の児童	 毎週1回の工程会議を開催し、工事の進捗を確認することで				増加する児童数に対応した増築校舎を設置し、教育環境の充実を図る。	増築校舎の竣工	建設工事の進捗率	7	93	100	%	290,856	50,000	436,282	651,925	校舎増築工事費 635,440千円 監理業務委託費 16,485千円	A	平成26年3月竣工。 平成26年4月から使用を開始していく。	
②																				
③																				
④																				

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	119	事業の名称	学校トイレ改修事業	担当部署	部	課
					教育部	教育総務課

事業の概要	校舎老朽化に伴う学校トイレの悪臭を解消するため、配管の改修や便器の洋式化などトイレ環境を全面的に改修し、学校施設の衛生環境の向上を図る。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	総事業費 (単位:千円)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
	評価の見方																							
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業期間	事業開始年度	平成24年度	終了(予定)年度	平成27年度	総事業費	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算													
事業の対象 (だれ、何に対して)	小中学校の児童生徒と教職員					うち	一般財源	14,694	7,130	264,160	260,799	225,383												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	トイレ環境の改善を図ることで、児童生徒と教職員が安心して、落ち着いてトイレを利用できる状態にしたい。						国費・県費	0	0	63,968	61,302	35,869												
							地方債	0	0	150,000	150,000	81,000												
							その他	0	0	0														
					受益者負担額	0	0	0																

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25実績	H25実績			
① 改修計画事業	小中学校の児童生徒と教職員					トイレ環境の改善を図ることで、児童生徒と教職員が安心して、落ち着いてトイレを利用できる状態にしたい。	北小・南小・南中の改修内容の決定	改修内容の決定	57	%	改修設計業務の進捗	14,694	7,130	設計業務委託費 北小:1,886千円 南小:1,886千円 南中:2,791千円	A	実施予定トイレの改修内容が決定された。
② 改修工事業	小中学校の児童生徒と教職員					トイレ環境の改善を図ることで、児童生徒と教職員が安心して、落ち着いてトイレを利用できる状態にしたい。	長小・西小・東小・長中(I期)で改修工事を実施	改修工事の進捗率	0	%	全体工程に対する進捗割合	0	0	トイレ改修工事費 長小:75,297千円 西小:67,753千円 東小:64,336千円 長中:40,058千円 監理業務委託費 6,792千円	A	平成25年度実施予定箇所は全て完了済。 平成26年度以降も継続して実施していきます、平成27年度完了を目指す。
③																
④																

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新規に実施する事務事業	

長久手市行政評価票

事業番号	120	事業の名称	東小学校増築事業	担当部署	部	課
					教育部	教育総務課

事業の概要	リコモ公園西駅周辺土地区画整理事業や民間住宅開発により児童生徒数が増加し、平成28年度には東小学校の教室の不足が予想される。 このため、校舎を増築し教育施設の充実を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)																			
事業期間	事業開始年度 平成25年度 終了(予定)年度 平成27年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																					
A	現行どおり実施																				
B	事業の改善																				
C	他事業と統合																				
D	運営主体の見直し																				
E	事業の廃止の検討																				
事業の対象 (だれ、何に対して)	東小学校区の児童	うち	一般財源	0	0	17,556	14,153	-													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	増加する児童数に対応した増築校舎を設置し、教育環境の充実を図る。		国費・県費	0	0	0	0	-													
			地方債	0	0	0	0	-													
			その他	0	0	0	0	-													
			受益者負担額	0	0	0	0	-													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果		成果指標の目標値 設定の根拠	事業費(単位:千円)			評価 事業規模 事業費	評価の説明
		意図 (対象をどのような状態にしたいか)						H24実績	単位		H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)		
								H25実績			H25予算	H25決算			
① 施設計画事業	東小学校区の児童	4月~	7月~	10月~	1月~	増加する児童数に対応した増築校舎を設置し、教育環境の充実を図る。	増築規模の決定	0	%	増築設計業務の進捗	0	0	基本実施設計業務委託14,153	A	増加する児童数に対応できる増築規模・仕様を決定した。
②															
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
				建設工事業	リコモ公園西駅周辺土地区画整理事業や民間住宅開発により児童生徒数が増加し、平成28年度には東小学校の教室の不足が予想される。 このため、校舎を増築し教育施設の充実を図る。

長久手市行政評価票

事業番号	121	事業の名称	屋内運動場非構造部材耐震化事業	担当部署	部	課
					教育部	教育総務課

事業の概要	小中学校において、大規模な地震に備え体育館の非構造部材の耐震化を行うことを目的とする。学校生活における児童生徒の安全確保並びに災害時に地域住民の避難施設となっている小中学校体育館の天井等の落下防止対策を行う。				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全市町村で実施																		
	事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度		平成27年度	総事業費 (単位:千円)	総事業費	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	小中学校の児童生徒と教職員、地域住民				総事業費	うち	一般財源	0	0	20,696	20,895	13,789												
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	災害時の避難施設となっている小中学校体育館の天井等の落下防止対策を行うことで、児童生徒及び地域住民が安全に安心して学校生活や避難生活が送れるように防災機能の強化を図る。						国費・県費	0	0	0	0	0	0											
							地方債	0	0	0	0	0	0											
							その他	0	0	0	0	0	0											
					受益者負担額	0	0	0	0	0	0													

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25目標値	H25予算			
① 耐震調査業務	小中学校の児童生徒と教職員、地域住民	体育館の非構造部材の耐震調査を実施することで				市内6小学校の体育館、長中・南中の体育館及び武道場の非構造部材の状況調査	耐震対策の決定	0 100 100	%	耐震調査業務の進捗	0 20,696 0	0 8,400	屋内運動場非構造部材耐震調査業務委託 8,400	A - -	調査結果に基づき、必要な対策について実施設計を行った。
② 耐震設計業務	小中学校の児童生徒と教職員、地域住民	体育館の非構造部材の耐震設計を実施することで				平成26年度に工事を実施する長小・西小・東小・長中の体育館の非構造部材の耐震化の実施設計	耐震対策の実施設計の策定	0 44 44	%	耐震化設計業務の進捗	0 13,789	0 12,495	屋内運動場非構造部材耐震化工事実施設計業務委託 12,495	A 維持 維持	設計に基づき工事を実施していく。平成26年度は、残りの学校について実施設計を行う。
③															
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要	
					改修工事業	

長久手市行政評価票

事業番号	122	事業の名称	給食調理事業	担当部署	部	課
					教育	給食センター

事業の概要	衛生面に配慮し献立・調理法を工夫した安全でおいしい給食の提供を目指す。地元産の食材を使用し地産地消の推進を図り、旬の食材や郷土料理等を取り入れた献立で食育の推進を図る。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校1校・中学校8校 3877食、(自校調理の学校を除く)給食費1食あたり 小学校240円・中学校280円 尾張旭市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校3校 7896食、給食費1食あたり 小学校230円・中学校260円 豊明市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校9校・中学校3校 6453食、給食費1食あたり 小学校225円・中学校255円 日進市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校10校・中学校5校 8861食、給食費1食あたり 小学校220円・中学校250円 東郷町・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校6校・中学校3校 4786食、(保育園9園1287食を除く)給食費1食あたり小学校220円・中学校250円 長久手市・・・共同調理場(センター)での実施食数:小学校6校・中学校3校 5602食、(保育園6園1017食を除く)給食費1食あたり小学校220円(市補助21円)・中学校260円(市補助21円)							
	事業期間	事業開始年度	昭和47年度		終了(予定)年度	—	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算
事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市立の小中学校に通う児童、生徒、保育園に通う園児、教職員等			うち	一般財源	393,132		379,450	415,992	405,081	442,251	
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	安心して安全な給食の提供を目指し、子どもの健全な育成、食育の推進を図る。				国費・県費	0		0	0	0	0	
					地方債	0		0	0	0	0	
					その他	0	0	0	0	0		
					受益者負担額	256,766	249,225	281,231	274,903	292,577		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	H24実績 H25実績 H25目標値	単位			成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
									4月~	7月~		10月~		1月~	H25予算
① 献立作成・給食物資 選定事業	長久手市立 の小中学校 に通う児童、 生徒、保育 園に通う園 児、教職員 等		給食をとおして地元産の食材、旬の食材、年中行事食、地元で伝わる伝統食について知り、「食」についての関心を持ってもらう。(食育の推進)	献立委員会 ・小中学校 年11回開催 ・保育園 年12回開催 物資選定委員 会 月1回開催	地場産物(愛知県産)の使用割合	38.2 47.3 40	%	愛知県教育委員会が例年実施する学校給食地域産物の活用に関する調査の数値。	282,410 308,903 319,790	274,204 304,256	賄材料費 304,256	A 維持 維持	現行どおり実施していく。近年の食材の高騰により使用する食材が限られ献立作成に苦慮していたが、平成25年度から給食費の見直しを行い、多種類の食材の使用が可能となった。給食1食当り小学校205円から220円(市補助21円)中学校235円から260円(市補助21円)		
② 給食調理事業	長久手市立 の小中学校 に通う児童、 生徒、保育 園に通う園 児、教職員 等		安全な食材を衛生面に配慮した調理機器、食器及び食缶で提供する。	・残留農薬等検査27回 52品目 ・食器、食缶、調理機器等検査11回	不適格とされた検査・検体の数	0 0 0	回	適切な衛生管理を行い、安全な食材で給食を提供する。	67,918 64,649 73,461	65,764 64,649	消耗品費12,316 光熱水費50,581 食器等検査手数料680 一般廃棄物処理委託 1,072	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
③ 調理作業員雇用	臨職調理員		日々の調理作業において正職員の経験・技術を受け継ぎ、個々の経験・技術の向上を図る。	新規に雇用し衛生研修等行ったが、自己都合等による退職者が出た。	調理員の人数	39 39 40	人	調理に必要な調理員40人の確保。	42,804 42,440 49,000	39,482 36,176	調理作業員賃金 36,176	B 維持 維持	募集、採用条件の見直し。		
④															

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	給食調理事業	運営方法の検討(直営継続か民間委託か)			
		(平成28年度末 正職員1名退職により正職員3名となる。)			

長久手市行政評価票

事業番号	123	事業の名称	給食センター管理業務	担当部署	部	課
					教育	給食センター

事業の概要	給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	昭和47年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備			総事業費	うち	一般財源	61,633	59,323	65,553	65,553	71,455
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。				国費・県費	0	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0	0

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績		H25実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
					4月~		7月~	10月~	1月~	H25目標値				
① 厨房排水除害施設 保守点検委託事業	長久手給食 センター厨房排水除害 施設	4月~7月~10月~1月~	給食調理により発生 する排水を油脂分除 去等を行い、水質の 安定した排水を下水 道に放流する。	施設の保全に関 する業務、施設の 点検・調整に関す る業務、技術管理 年24回、水質検 査(原水4項目)年1 回、水質検査(処 理水4項目)年12 回、リアクターろ材 補充年1回	0	0	回	法令等の水質基準を 順守し、基準値を超 えた排水の放流をし ないようにする。	1,588	1,588	1,588	A	現行どおり実施していく。	
② 害虫駆除委託事業	長久手給食 センター調理場内・事 務室等	4月~7月~10月~1月~	衛生害虫、ねずみの 発生・侵入を防除し、 施設の衛生を保つ。	衛生害虫防除 施工 年3回、 衛生害虫生息 調査及び点検 年9回、ねずみ 生息調査及び 点検施工 年 12回	1	0	件	衛生害虫、ねずみ の発生・侵入を防除し、 施設を衛生的に管理 する。	488	488	473	A	現行どおり実施していく。 施設が造成した土地に建設されている ため、衛生害虫等が発生しやすい状況 である。引き続き衛生害虫の防除に努め ていく。	
③ 電気保安設備保守 点検委託事業	長久手給食 センター電 気保安設備	4月~7月~10月~1月~	適切な維持管理状態 に保つ。	定期点検 月次点検 年5回 年次点検 年1回	0	0	箇所	改修・修繕等が 必要と指摘され た箇所	1,079	1,079	1,079	A	現行どおり実施していく。	
④ 清掃業務委託事業	長久手給食 センター床 面及び窓ガ ラス清掃	4月~7月~10月~1月~	施設の環境美化及び 適切な維持管理状態 を保つ。	床面清掃 年3回 ガラス清掃 年3回	0	0	箇所	より専門的な作 業を必要とする 汚れ等の清掃箇 所	447	446	452	A	現行どおり実施していく。 食品を扱う施設であるので、今後も環境 美化に努めていく。	

事務事業の改 善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	123	事業の名称	給食センター管理業務	担当部署	部	課
					教育	給食センター

事業の概要	給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	昭和47年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備			総事業費	うち	一般財源	61,633	59,323	65,553	65,553	71,455
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。				国費・県費	0	0	0	0	0	0
					地方債	0	0	0	0	0	0
					その他	0	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0	0

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
					H25実績				H25予算	H25決算				
⑤ 消防用設備保守点検委託事業	長久手給食センター消防用設備	4月~7月~10月~1月~	適切な維持管理状態に保つ。	機械点検1回 総合点検1回	0	箇所	関係法令に基づき適切な維持管理を行い設備・機器が支障のないようにする。	415	254	消防用設備保守点検委託 273	A	現行どおり実施していく。		
⑥ 警備委託事業	長久手給食センター警備	4月~7月~10月~1月~	適切な維持管理状態に保つ。	毎日16時45分から翌日8時まで 施設の休日は終日	5	回	人為的ミスによる異常時に速やかに適切な対応を行い施設・設備・機器に支障がないようにする。	328	328	警備委託 328	A	現行どおり実施していく。		
⑦ 空調設備等点検委託事業	長久手給食センター空調設備等	4月~7月~10月~1月~	調理場内を良好な状態にし、厨房設備等を適切な維持管理状態に保つ。	マルチエアコン保守点検2回、パッケージエアコン保守点検2回、空気清浄システム保守管理1式、厨房排気フィルター保守点検2回、送排風機ファン点検1回	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	1,552	1,552	空調設備等点検委託 3,444	A	現行どおり実施していく。		
⑧ 給湯給水給蒸設備保守点検委託事業	長久手給食センター給湯給水給蒸設備	4月~7月~10月~1月~	常に運転状態にある設備を適切に維持管理し、必要な湯・水・蒸気を安定的に供給する。	CO2給湯ヒートポンプ保守点検5台年1回 受水槽清掃年1回 飲料水水质検査年2回 貯湯槽清掃年1回 飲料水水质検査年1回 レジオネラ菌検査年1回 消防用水槽清掃年1回 消防用水補給タンク清掃年1回 電気式ボイラ保守点検6基年3回	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	3,465	3,465	給湯給水給蒸設備保守点検委託 3,465	A	現行どおり実施していく。		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	123	事業の名称	給食センター管理業務	担当部署	部	課
					教育	給食センター

事業の概要	給食調理業務が円滑に行えるよう法定点検を始め施設、設備及び機器類の定期的な保守点検を行う。給食センターはHACCP対応のドライシステム・オール電化の施設となったため、調理場内の温度・湿度管理のための空調機器保守点検、細菌等の拡散を防ぐための自動扉保守管理、夜間電力を利用した給湯設備、電気式ボイラによる蒸気発生設備等の保守点検、野菜くずや残菜を処理する生ごみ処理機の保守点検等が施設・設備管理の主要なものとなる。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	平成25年5月調査資料 瀬戸市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 尾張旭市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 豊明市・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 日進市・・・施設・設備の形態:ドライシステム 東郷町・・・施設・設備の形態:ウエットシステム(ドライ運用) 長久手市・・・施設・設備の形態:ドライシステム、オール電化 *施設の規模・設備は市町ごとに異なり比較が難しい						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	昭和47年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	給食センター施設及び設備			総事業費	うち	一般財源	61,633	59,323	65,553	65,553	71,455
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	施設及び設備を安定的に稼働させ、不具合のない状態に保ち給食調理を行う。					国費・県費	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0
						受益者負担額	0	0	0	0	0

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的				事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)	意図 (対象をどのような状態にしたいか)	成果指標	H24実績 H25実績 H25目標値		単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算 H25予算 H26予算	H24決算 H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明	
														4月~
⑨ エレベータ保守管理委託事業	長久手給食センターエレベータ	→	適切な維持管理状態に保つ。	ロープ式エレベータ点検 定期1回/3月 遠隔1回/1月 小荷物専用昇降機点検 定期1回/3月 建築基準法に基づく定期検査代行 1回/1年	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	765	762	エレベータ保守管理委託 762	A	現行どおり実施していく。		
⑩ 生ゴミ処理機維持管理業務委託事業	長久手給食センター生ゴミ処理機	→	適切な維持管理状態に保つ。	保守点検 月1回	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	189	189	生ゴミ処理機維持管理業務委託 756	A	現行どおり実施していく。		
⑪ 給食センター自動扉保守委託	長久手給食センター自動扉	→	適切な維持管理状態に保つ。	保守点検 年4回	0	回	適切な維持管理を行い施設管理に支障のないようにする。	0	0	自動扉保守委託 2,352	A	現行どおり実施していく。		
⑫ 給食センターオール電化設備の運用	長久手給食センター熱源の経費	→	良好な環境で調理作業を行うため、深夜電力の有効活用により経費を必要最小限にする。	電力の有効活用	30	円	適切な施設の維持管理を行い定期的に契約金額を見直し、電気代削減に努める。	51,317	49,172	電気代 37,262	A	現行どおり実施していく。		

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

長久手市行政評価票

事業番号	124	事業の名称	図書館運営業務	担当部署	部	課
					教育部	中央図書館

事業の概要	図書館資料の貸出、予約等の図書貸出事業及び、購入、受入等の図書整理事業。利用に係る調査、統計業務。地域の図書館との連携。図書館見学、職場体験、実習生受入。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国のほとんどの市町村にて実施。 全国の公共図書館設置率(市区)98.4%「図書館年鑑2012より」								
	事業期間	事業開始年度	平成4年度		終了(予定)年度	—	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者			総事業費	うち	一般財源	80,780	80,745	83,959	87,542	89,819		
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。					国費・県費							
						地方債							
						その他							
					受益者負担額								

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段							成果指標の目標値 設定の根拠	単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 事業規模 事業費	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~																
① 個人貸出	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。	年間個人貸出点数 438,201点	市民一人当たり 貸出点数	8.8	点	愛知県平均値よりも高い実績のため、前年度並みを目標とする。	60,482	60,485	63,959	67,457	69,819	職員人件費 48,972 一般事務嘱託員報酬(5人) 10,847 中央図書館長報酬 3,743 図書貸出・整理事務賃金 3,895	B 維持 増加	現行どおり実施していく。 事業費については、25年度に学校連携嘱託員1名増となり、中央図書館との連携事業が推進されたため増加とした。		
② 図書館資料の購入	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。	年間購入点数 10,694点	予約件数	14,259	件	予約件数を満足度の指標と考え、前年実績からの増加を目標とする。 (増加率については、過去3年間の伸び率の平均3.7%)	20,298	20,260	20,000	20,085	20,000	図書資料費 20,000 施設管理用備品(ブックトラック)85	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
③																					
④																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	125	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育部	中央図書館

事業の概要	乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回) 図書館講座(年1回)、現代美術展(年1回11月頃開催)、中学生美術展(年1回12月開催) 大学等連携事業、閲覧室企画展示(年16回程開催) H25年度から新規事業としてブックスタートを実施(月2回。絵本に親しみふれあう機会を提供するため、主に0歳児を対象におはなし会にて読み聞かせを行い、絵本とバッグをセットにしたブックスタートバッグを配布する。長久手市子ども読書活動推進計画施策の一つ。)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	おはなし会、児童書講演会、図書館講座は全国の公共図書館のほとんどで実施されている。 美術展は長久手市中央図書館がギャラリーを併設するため、実施が可能となり、特色ある事業となっている。 ブックスタートは、H24年度現在、全国の48%の自治体にて実施。						
	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討				
事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—	うち	一般財源	745		554	1,447	1,674	1,783
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者				うち	国費・県費	745		554	1,447	1,674	1,783
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。				うち	地方債						
					うち	その他						
						受益者負担額						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H24実績	H25実績	H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
																	事業規模 事業費				
① おはなし会	全ての市民 と図書館利用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	読書活動の推進を図る。	延参加者数 3,245人	参加者数	3,351	3,245	3,300	人	前年実績が最大値となった。会場の収容能力から判断し前年度並みを目標とする。	17	15	19	16	19	ボランティア保険料	A	現行どおり実施していく。
② 児童書講演会	全ての市民 と図書館利用者	●	●	●	●	読書活動の推進を図る。	年1回開催 延参加者数 110人	参加者へのアンケート調査による 満足度	76	94	85	%	高い評価を受けていることから過去の実績並みを目標とする。 (過去2年間の平均値が85%)	300	256	285	285	317	児童書講演会委託	A	現行どおり実施していく。
③ 図書館講座	全ての市民 と図書館利用者	●●	●●	●●	●●	読書及びボランティア活動の推進を図る。	年1講座(4回) うち初心者向3回、 中級者向1回	参加者へのアンケート調査による ボランティア参加を希望した人の割合	0	27	30	%	過去の実績並みを目標とする。 (H25年度は講師都合により講座中止)	100	0	100	60	100	図書館講座講師謝礼	A	現行どおり実施していく。
④ 現代美術展	全ての市民 と図書館利用者	●	●	●	●	図書館に親しみ、市民の教養、レクリエーション等に寄与する。	年1回開催	来場者数	145	63	145	人	来場者数に減少傾向があるため、前年度並みを目標とする。	300	259	163	98	165	ギャラリー企画展監修等報償金 20 ギャラリー企画展出品協力者報償金 60 印刷製本費 16 損害保険料 2	A	現行どおり実施していく。 H25年度は開催回数をH24年度より1回減らし、内容の充実を図った。今後も事業費をかけない方向で維持する。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要

事業番号	125	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育部	中央図書館

事業の概要	乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回) 図書館講座(年1回)、現代美術展(年1回11月頃開催)、中学生美術展(年1回12月開催) 大学等連携事業、閲覧室企画展示(年16回程開催) H25年度から新規事業としてブックスタートを実施(月2回。絵本に親しみふれあう機会を提供するため、主に0歳児を対象におはなし会にて読み聞かせを行い、絵本とバッグをセットにしたブックスタートパックを配布する。長久手市子ども読書活動推進計画施策の一つ。)				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	おはなし会、児童書講演会、図書館講座は全国の公共図書館のほとんどで実施されている。 美術展は長久手市中央図書館がギャラリーを併設するため、実施が可能となり、特色ある事業となっている。 ブックスタートは、H24年度現在、全国の48%の自治体にて実施。						
	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算		H25決算	H26予算	評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討				
事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—	うち 総事業費	一般財源	745		554	1,447	1,674	1,783
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者					国費・県費	745		554	1,447	1,674	1,783
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。					地方債						
						その他						
					受益者負担額							

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価	
		H24実績							単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明	
		4月~	7月~	10月~	1月~						H25実績	H25予算				H25決算
⑤ 中学生美術展	全ての市民 と図書館利用 者	●				図書館に親しみ、市 民の教養、レクリエー ション等に寄与する。	年1回開催 延参加者数 49人	来場者へのアン ケート調査による 美術展への満足 度	94	%	過去から高い評価を 受けているため、前 年度並みを目標とす る。	28	24	監修者用図書券 15 参加賞 27	A	現行どおり実施していく。 事業費については、H25年度に北中 学校新設に伴い、展示作品も増え、事業 内容が充実した。
⑥ ブックスタート	0歳から2歳 までの乳幼 児(市民の み)	●●●●●●●●●●				中央図書館おはなし会にて絵 本の読み聞かせを行い、絵本 とバッグをセットにしたブック スタートパックを配布すること で	年17回開催 延参加者数 86人	参加者数	86	人	H25.4以降出生の0歳児を対象 とする。おはなし会参加は生後 6か月頃から推奨するため、 生後6か月以降をおはなし会 参加者対象とした。(H25年度 からの新規事業/1か月平均出 生数50人×7か月(9~3月)= 350人)	—	—	配布用パンフレット 205 配布用絵本 687 エプロン他 76	A	現行どおり実施していく。
⑦ 児童館連携	市内児童館 利用の市民	●●●●●●●●●●				児童館図書室の環境整備を行 い、中央図書館の蔵書を1児 童館につき、180日間、500冊 までの団体貸出を行うこと で	年間団体貸 出冊数 119冊(児 童館1か所)	団体貸出数	119	冊	貸出数を読書活動推 進の指標とする。25 年度からの新事業の ため各児童館の今後 の要望に応じ対応す る。	—	—	団体貸出用図書購 入費	A	現行どおり実施していく。 H26年度は司書資格を持つ中央図 書館嘱託職員が2名増となった。対象と する児童館を増やし、子ども読書活動推 進計画の推進を図る。
⑧																

事務事 業の改 善内 容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要



長久手市行政評価票

事業番号	127	事業の名称	会議録、ビデオ放映等事業	担当部署	部	課
					議会事務局	

事業の概要	議会活動を広く住民に知ってもらうため、本会議の会議録を作成し、議会ホームページに掲載する。また、一般質問映像を市役所ロビー及び西庁舎会議室で生中継し、併せて議会ホームページにおいても配信する。			他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣市議会ホームページ掲載状況(①会議録、②録画映像配信) 瀬戸市……①本会議、②本会議 尾張旭市…①本会議、②本会議 日進市……①本会議、②本会議 みよし市……①本会議、②開会(市長あいさつ)、一般質問 豊田市……①本会議、②一般質問 豊明市……①本会議、②一般質問(試行中)						評価の見方 A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討
	事業期間	事業開始年度	H15年度		終了(予定)年度	-	総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民			総事業費	うち	一般財源	5,291	5,101	5,669	5,153	6,072
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	議会ホームページへのアクセスにより、議会活動を知ってもらう。				国費・県費						
					地方債						
					その他						
					受益者負担額						

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価									
		4月~		7月~				10月~		1月~		成果指標	H24実績	H25実績	H25目標値	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~			単位	H24実績	H25実績	H25目標値	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	事業規模 事業費							
① 会議録検索	市内外の住民に	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	議会活動を知らう。 会議録を作成することで	会議録年5 回作成	議会ホームページ (会議録)への 年間のアクセス 数	2,185	2,170	2,290	件	平成24年度目標値 ※平成24年度実績が 目標値を下回った ため	3,807	3,356	3,807	3,411	4,225	会議録作成委託 2,876 会議録配信委託156 会議録検索使用料 378	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
② ビデオ放映事業	市内外の住民に	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	●●●●●●●●	議会活動を知らう。 一般質問を放映することで	一般質問年 4回放映	議会ホームページ (ビデオ放映) への年間のアクセ ス数	20,228	17,440	20,780	件	平成24年度目標値 ※平成24年度実績が 目標値を下回った ため	1,484	1,745	1,862	1,742	1,847	撮影委託798 録画配信委託188 録画配信使用料756	A 維持 維持	現行どおり実施していく。		
③																							
④																							

事務事業の 改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	事務事業	事業概要
			H26以降新 規に実施す る事務事業	



事業番号	128	事業の名称	内部監査事業	担当部署	部	課
					—	監査委員事務局

事業の概要	地方自治法の規定に基づき、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、監査、検査、審査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	地方自治法に基づき、全自治体において実施されている。									
			総事業費 (単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算				
事業期間	事業開始年度	—	終了(予定)年度	—				<b>評価の見方</b> A 現行どおり実施 B 事業の改善 C 他事業と統合 D 運営主体の見直し E 事業の廃止の検討				
事業の対象 (だれ、何に対して)	行政で実施されている全事業				うち	一般財源	1,288		1,282	1,882	1,822	2,198
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	公正な行財政運営を確保する。					国費・県費	0		0	0	0	0
						地方債	0		0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	
						受益者負担額	0	0	0	0	0	

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H24実績 H25実績 H25目標値	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H24予算	H24決算	H25決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明					
		4月~	7月~	10月~	1月~							H25予算	H25決算				H26予算				
⑤	決算審査(地方自治法第233条第2項)	全課等	全課等の決算状況につき審査する(7月中の7日間で実施)ことで、				1回実施	指摘事項件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	A	維持	維持	現行どおり実施していく。
⑥	健全化判断比率等審査(地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条)	財政課	前年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率につき、両率の算定に係る書類を審査する(決算審査と同時に実施する)ことで、				1回実施(財政課の決算審査と同時に実施。)	指摘事項件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	A	維持	維持	現行どおり実施していく。
⑦	行政監査(地方自治法第199条第2項)	全課等	団体又は個人に対して補助金を交付している課等に対し、根拠となる要綱等を提出依頼することによって監査を実施する。				1回実施	指摘事項件数	31	7	0	0	0	0	0	0	0	A	維持	維持	現行どおり実施していく。
⑧																					

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要